

四十七年

14.4

14.4-1075



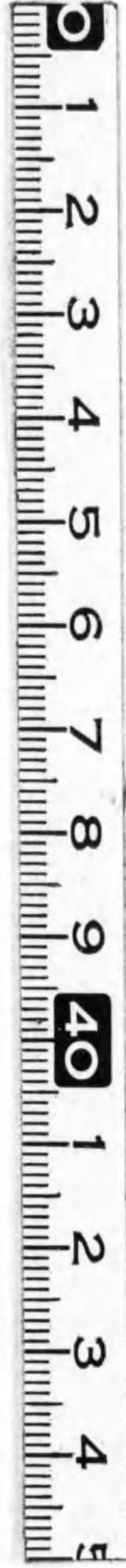
1200501209941

75

同業

銀行

合新同業銀行



始



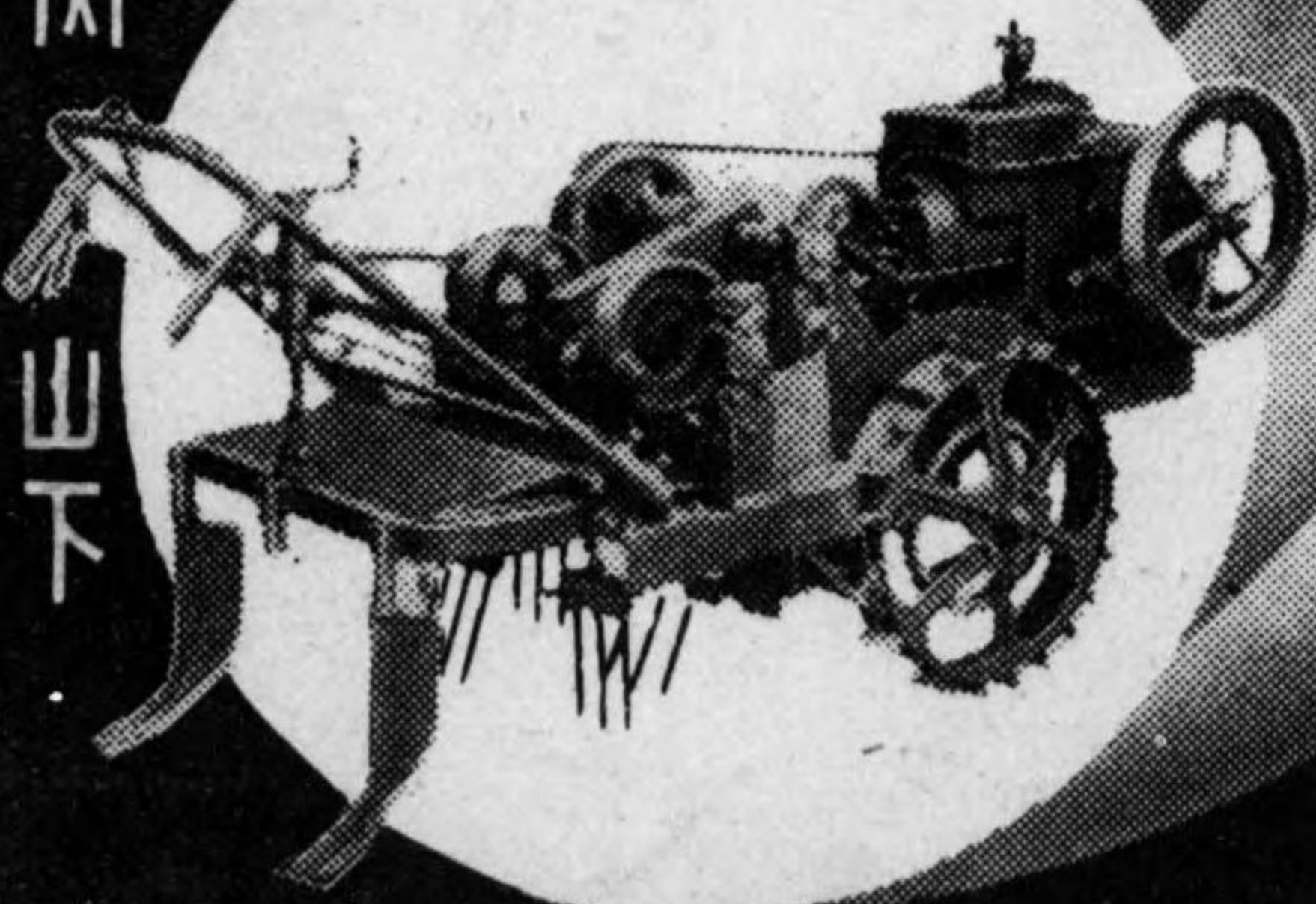
優秀

スピ

製作品目

スラング式自動耕耘機
スピ石油機
スピ米摺機
スピウ麥摺機
スピゴムロール
ス

農機



岡山市内 山下
佐藤農具部

出張所：京城・秋田・新潟



フタバ印純良薬品
製造發賣元

藥品全般
醫療器械
家庭衛生器具
度量衡器

林源十郎藥店

本店 岡山市紙屋町

電話

二〇二六番
二三二六番
五三〇三番

支店 倉敷市本町

電話

二六八番
七〇八番

林第二藥局 岡山郵便局東隣 電話四七一一番

製藥工場 岡山市北方 電話四三五〇番

脚氣にグラベリン

積極的強壯劑 ビクアラ

667



乃木將軍
學生服

(各種織物既製服卸)
乃木商事株式會社

岡山市巖井 富

備前川倉織株式會社

営業部・巖井・電話 2548
 乃木工場・巖井・電話 2666
 本二工場・本町通・電話 3515
 本三工場・高砂町・電話 2508

42^{ワット}の料金で
50^{燭光}の明るさ!

國を護つた傷兵護水

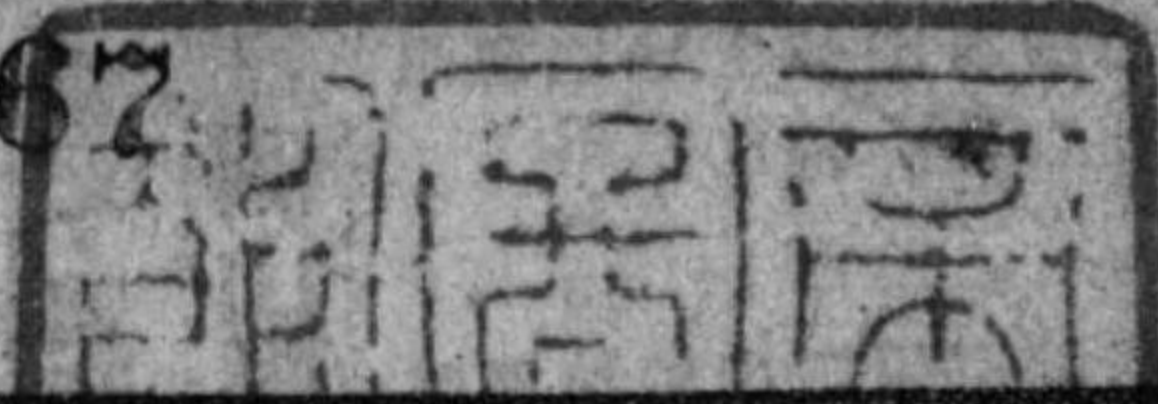


新燭光割
新マツダランプ



岡山マツダ會聯盟

662



合 同 年 鑑

合 同 新 聞 社 編



め 得 此 忘

力 殊



最高級の皮膚を美しくする佛蘭西化粧料

天 美 化 粧 料

白粉・后験化粧水・クリーム・粉物類等

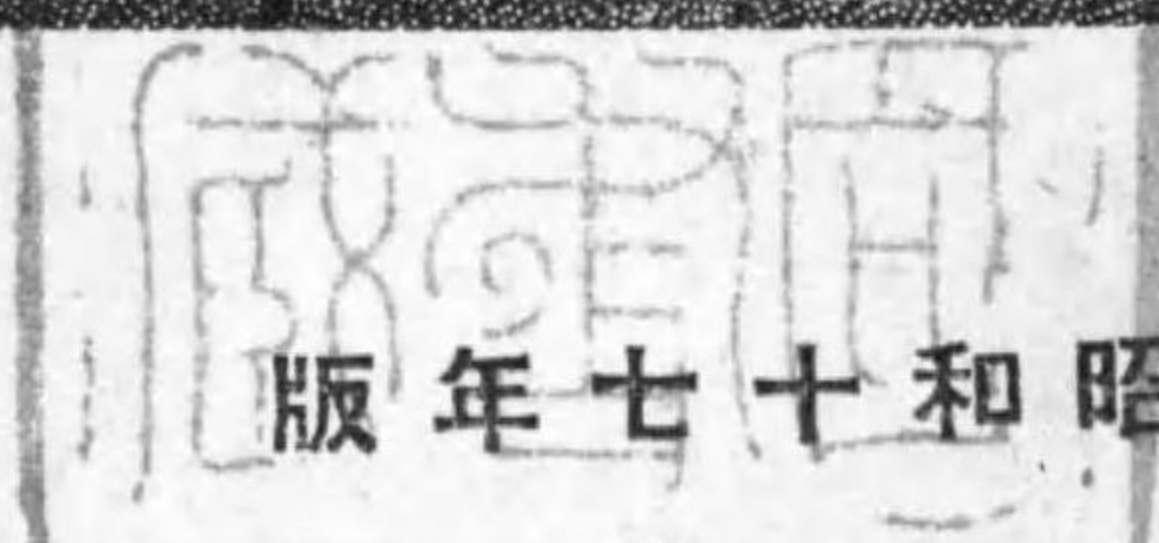
發賣二十二周年

三九美容化粧品株式會社

社 長 村 川 春 子

電 話 2 5 1 6 番
3 0 4 1

662



昭和十七年

合 同 年 鑑

合 同 新 聞 社 編



忘れ得ぬ
魅力



最も合理的に皮膚を美しくする佛蘭西式化粧料

天美化粧料

白粉・后飯・化粧水・クリーム・粉餅・其他化粧品

發賣二十二周年

三九美容化粧品株式會社

社長 村川春子

電話 2516 番
3041

各種團體	濱田市	德島市	高知市	今治市	新居濱市
松江商工會議所	市役所及市會	市役所及市會	市役所及市會	市役所及市會	市役所及市會
各種團體	各種團體	各種團體	各種團體	各種團體	各種團體
觀光、名産	觀光、名産	觀光、名産	觀光、名産	觀光、名産	觀光、名産
頁	頁	頁	頁	頁	頁
五	五	五	五	五	五

各種團體	松山市	西條市	宇和島市	銀行會社要録	倉支岡防鐵電銀
神社、名産	市役所及市會	市役所及市會	市役所及市會	宇和島商工會議所	行、信託
各種團體	各種團體	各種團體	各種團體	各種團體	瓦、軌道
名産	名産	名産	名産	各種團體	氣、瓦斯
頁	頁	頁	頁	各種團體	鐵道、軌道
六	六	六	六	各種團體	鐵道、軌道

津野山	御氣津	和氣郡	色道郡	上島郡	赤松郡	御津郡	御氣津郡	赤松郡	和氣郡	色道郡	上島郡	久米郡	英田郡	勝田郡	眞庭郡	阿蘇郡	川上郡	上房郡	吉備郡	後月郡	小田郡	淺口郡	都窪郡	兒島郡	上島郡	色道郡	和氣郡	御氣津郡	津野山	
市	市	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	市
頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

學校職員録	岡山醫科大學	第六高等學校	中等學校
三朝溫泉療養所	附屬醫院	醫學專門部	岡山縣師範學校
岡山縣女子師範學校	第一岡山中學校	第二岡山中學校	第一岡山中學校
頁	頁	頁	頁
四	四	四	四

急性・慢性淋疾
扁桃腺炎
中耳炎
化膿性婦人科疾患
急性肺炎
その他全花膿症に

トリアソール

新鋭・高性能のスルファピリヂン劑

田邊發賣品

津山中學校	岡山中學校	第一岡山商業學校	第二岡山商業學校	第一岡山商業學校	第二岡山商業學校	津山商業學校	倉敷商業學校	兒島商業學校	高松商業學校	關西商業學校	關西商業學校	玉野商業學校	西大寺商業學校	勝山中學校	天谷商業學校	矢野商業學校	高梁商業學校	津山中學校							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
成羽高等女學校	觀音高等女學校	勝山高等女學校	山陽高等女學校	廣心高等女學校	生石高等女學校	美作高等女學校	香島高等女學校	玉野高等女學校	津和實科高等女學校	福田實科高等女學校	高梁實科高等女學校	岡山商業學校	岡山女子商業學校	岡山工業學校	岡除實業學校	倉敷市立商業學校	井原實業學校	後月實業學校	岡山實科女學校	津山淑德女學校	縣立農民道場三福塾	岡山縣成德學校	青年學校國民學校	岡山市	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
倉山	津野	玉津	御津	赤津	和氣	赤氣	上道	兒島	郡口	淺田	小月	後月	上房	川上	阿庭	眞庭	苦庭	勝庭	久田	米田	郡	郡	郡	郡	郡
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

官公署職員錄

本省直轄機關

岡山倉庫事務所

農地開發局岡山事務所	岡山貯穀支局	專賣局岡山試驗場	農林省水產試驗場岡山分館	兒島海員養成所	旭川改修事務所	岡山國道改良事務所	宇野港修築事務所	玉國道改良事務所	長島愛生園	邑久光明園	岡山監獄所(學生之直轄)	岡山縣廳	知事官廳	總務課	文書課	總務課	入事課	統計課	庶務課	地方課	地務課	稅務課	學務課	學務課	社會教育課	社寺兵事課	社會課		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職業課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課	農務課
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金川警察署	味野警察署	宇野警察署	西大寺警察署	牛窓警察署	瀬戶警察署	和氣警察署	玉島警察署	笠岡警察署	矢野警察署	井原警察署	總社警察署	新見警察署	高梁警察署	成羽警察署	倉敷警察署	津山警察署	勝山警察署	加美警察署	林野警察署	岡山市立圖書館	岡山市立圖書館	岡山市立圖書館	岡山市立圖書館	岡山市立圖書館	岡山市立圖書館	岡山市立圖書館	岡山市立圖書館	岡山市立圖書館	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
買易軒旋所	縣水產試驗場	農務取所	林產物檢査所	宇野港事務所	岡山港事務所	中島病院	早島風園	機關訓練所	救員保養所	官國幣社	廣島通信局	岡山郵便局	岡山電話局	津山郵便局	倉敷郵便局	縣下特定局	美作特定局長會	岡山下務出張所	下津井無線電信局	海軍部玉出出張所	簡易保險相談所	鐵道	廣島鐵道局	岡山倉庫事務所	岡山倉庫事務所	岡山倉庫事務所	岡山倉庫事務所	岡山倉庫事務所	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

三	三石耐火煉瓦會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	伊豆附香油	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	品川煉瓦岡山工場	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	津山製紙會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	イタミ石材店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	石灰佐久間産業	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	大衆食堂・ハルミ	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	森永キャンデーストア	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	三井株式會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	福井電話機商會	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	漢屋製菓部	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	旅館・中村	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	三石製煉瓦會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	兒童雜物會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	藤原京商店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	黒住種苗園	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	武田長兵衛商店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	兩備バス株式會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	カモキのキリメツ	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡山合同運送會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	日本被服會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	和氣製材園院	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	食糧雜貨株式會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡山廣告社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡文館印刷所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	交通報國八交通會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	アサヒ商事株式會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	林源十郎藥店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	由良婦人子供百貨店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	野崎クレー製造所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	柘原鐵山事務所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	森永キャンデーストア	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	株式會社日下商店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	日産生命岡山支部	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	濱酒・吉備正宗	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡山官報販賣所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	下山内科醫院	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	三毛とら醬油	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	吉田果物店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	明治製菓賣店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	カモキのハイトリ紙	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	日興・野村・藤本・山一證券會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	イタミ石材店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	第一印刷所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	大日本製糖工場	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	重本國産商店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	山形洋服店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡山市地倉庫會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡山織布株式會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	淡路株式會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	三石製業會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	中野電話機商會	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	輝谷工業所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	高松特許事務所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	中國タクシー	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	母岡織寸小箱工場	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	龜井看板店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	森永キャンデーストア	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	日下部醫院	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	ライオン齒磨	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	三毛とら醬油	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	大日本製糖會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	中國製業會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	金剛	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	阿部省三	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	廣珍軒	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	藤原製本所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	カモキのハイトリ紙	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	禁酒會館	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	小寺洋家具店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	山陽飲料會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	三石耐火煉瓦會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	イタミ石材店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	竹本藥局	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	黒住種苗園	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	飯田木履工場	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	大下富三郎商店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	福田茶商會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	由良婦人子供百貨店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	一柳製本所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	正雲堂	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	備作十地會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	森永キャンデーストア	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	北川クレー製造所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	太田耐火煉瓦會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	旺門藥商會	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	丹頂チツク	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	松原策一クレー工場	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	吉備正宗	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡山酒造株式會社	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡文館印刷所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	カモキのキリメツ	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	清酒吉野鶴	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	岡山官報販賣所	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	旅館・中村	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	尾川廻酒店	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所
三	ユニオンビール	三	三井物產岡山出張所	三	三井物產岡山出張所

住宅報國

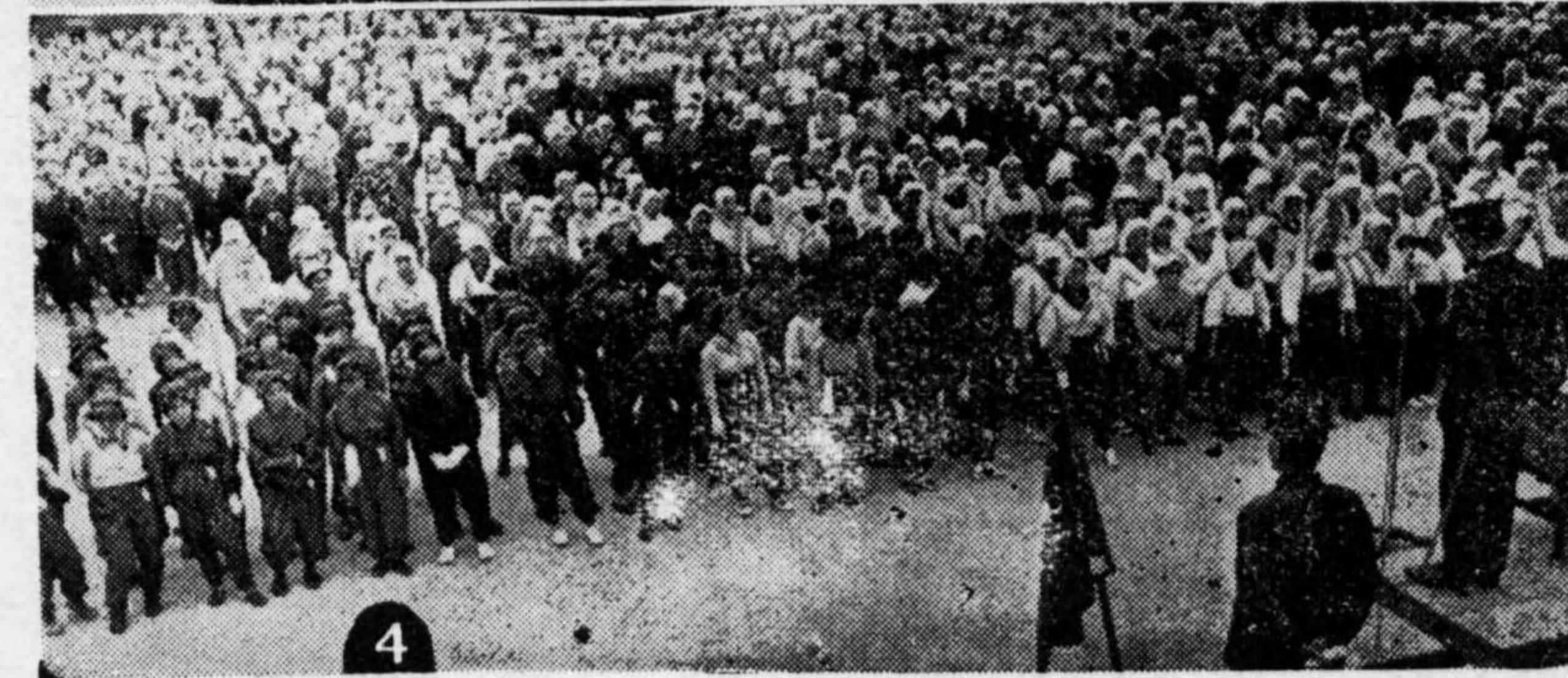
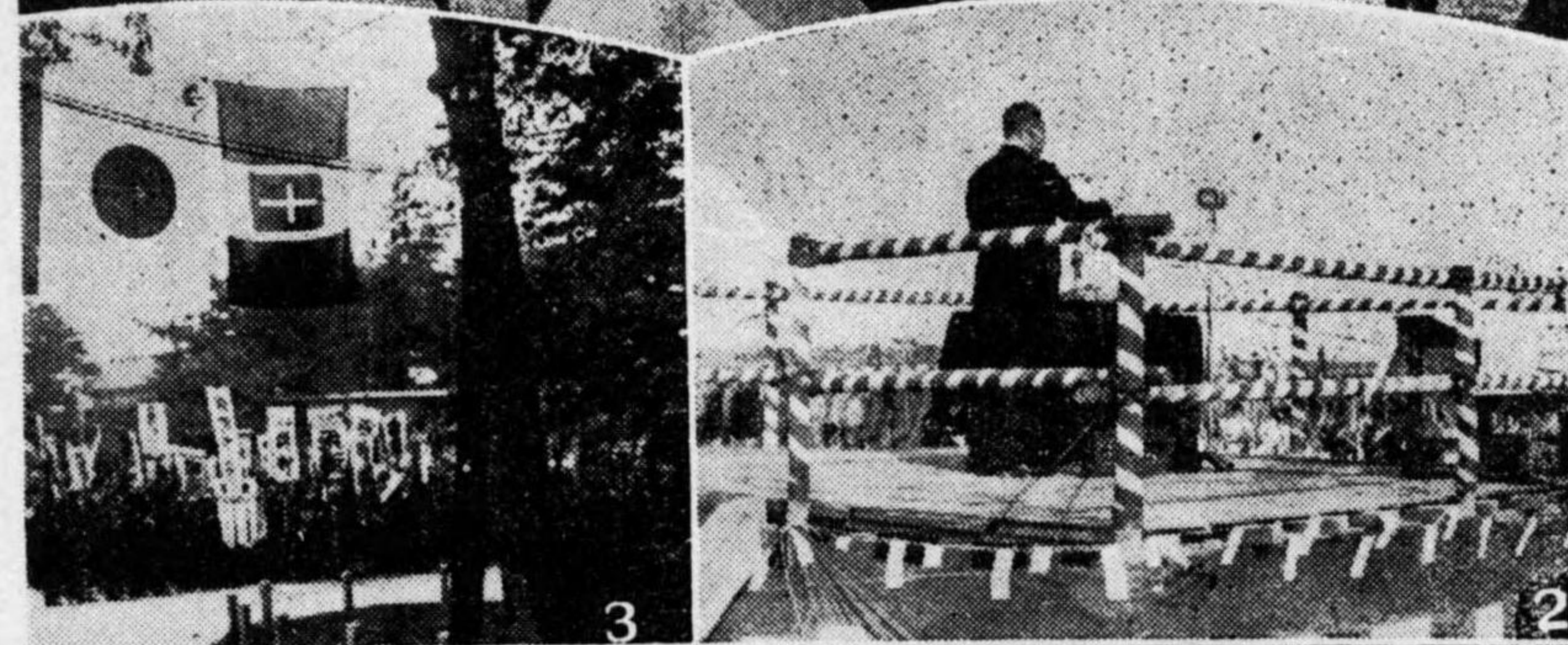
第一相互住宅株式會社岡山出張所

岡山市内山下相生町三〇ノ一二
電話七九二番 振替岡山三二二一三番

社長 木澤正清

本社 大阪市東區今橋丁自

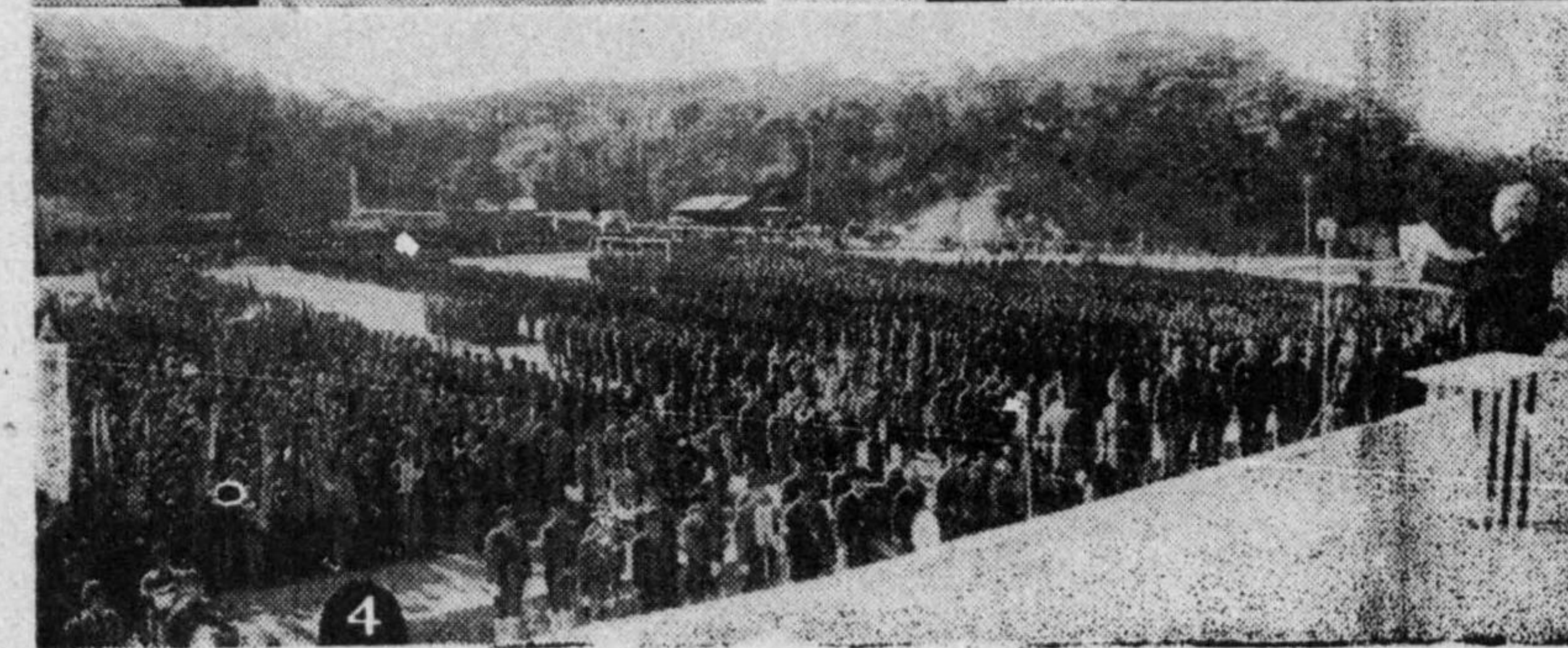
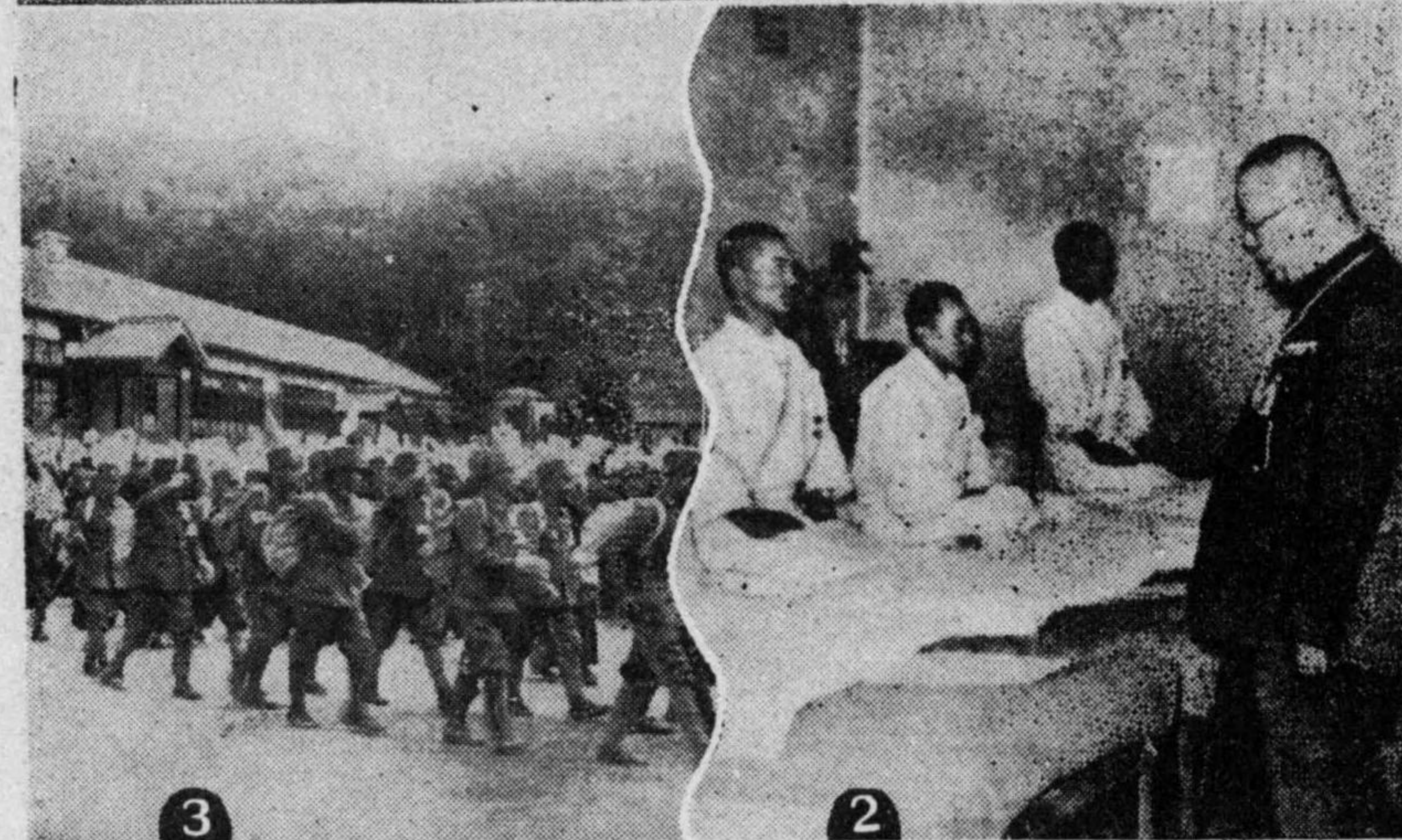
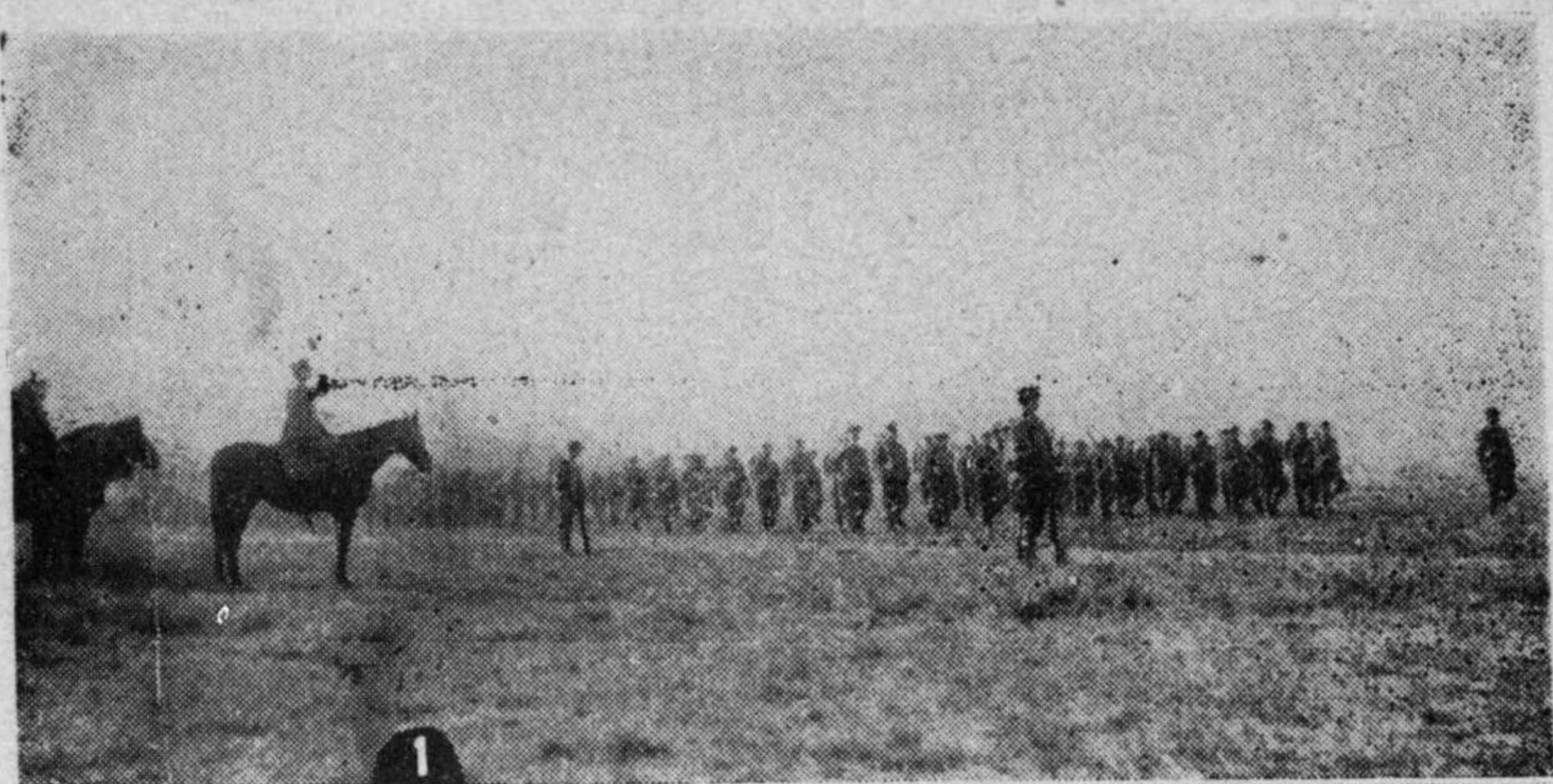
年一のラメカ



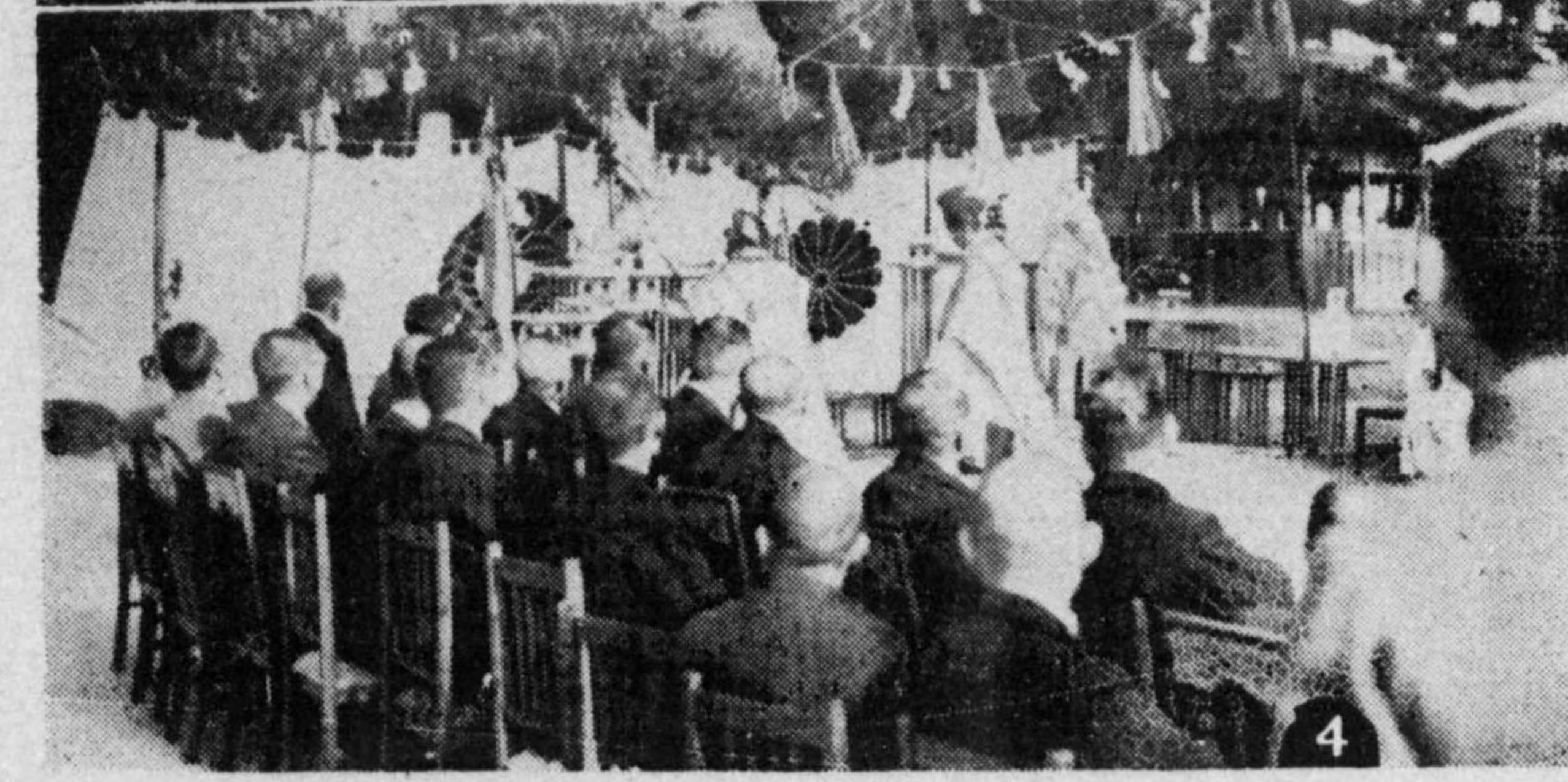
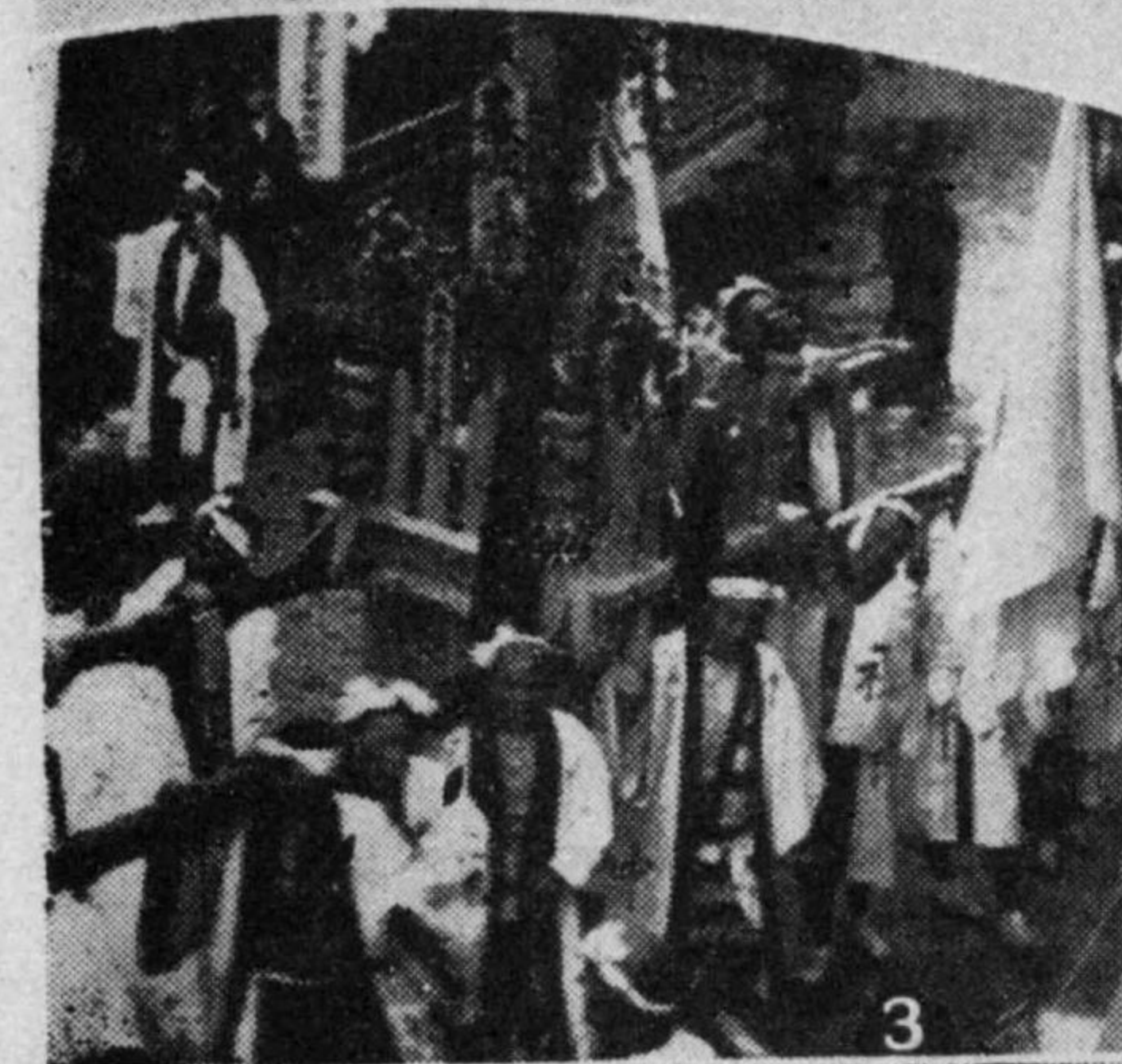
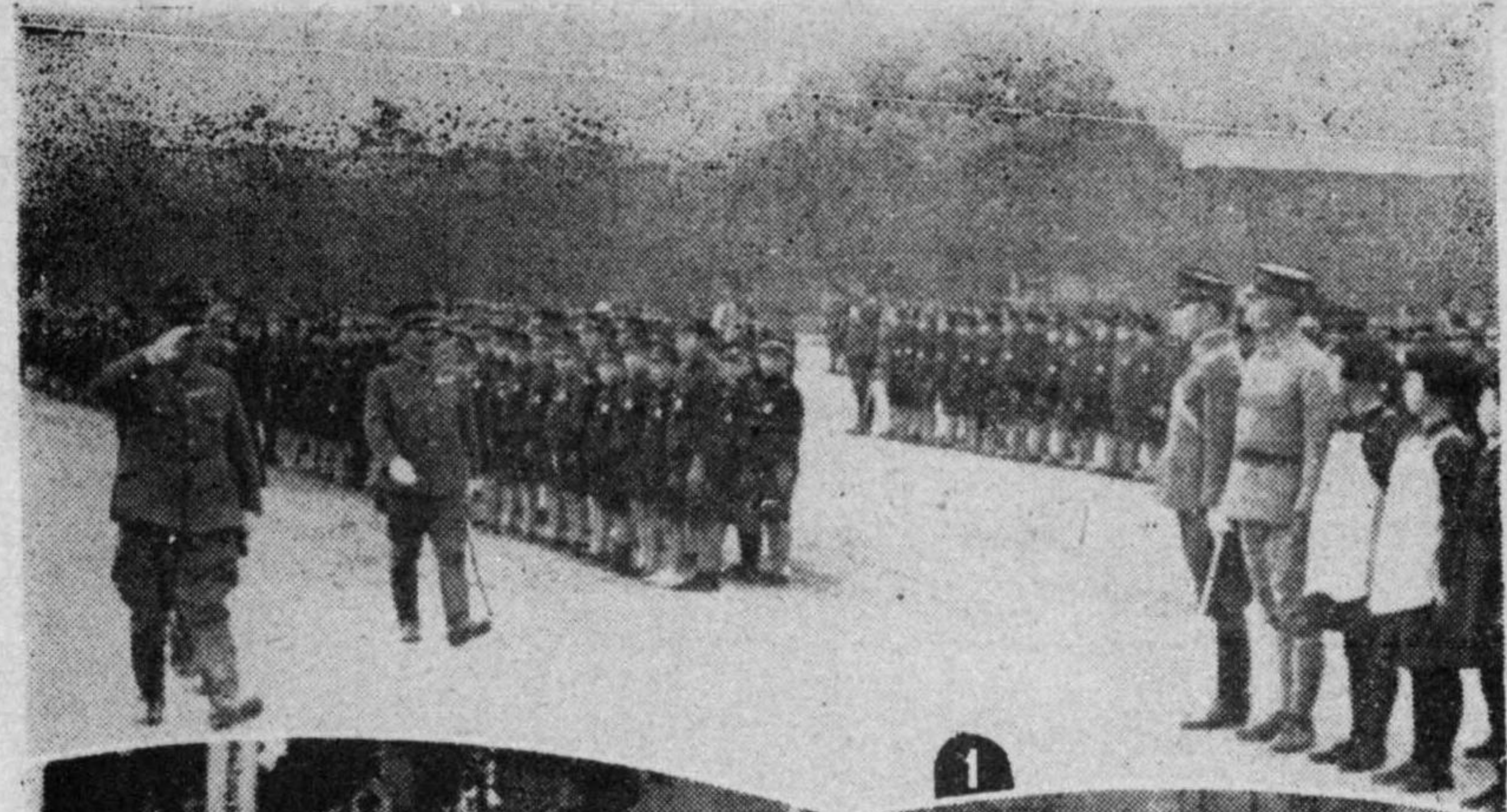
市山岡日三十月十年五十和昭) 會大民市山岡盟結國三、資翼政大①
 縣島廣同③ (場廣市松高日同) 會大民縣川香同② (場動運合綜市奥
 捕勢の隊部ベンモ破突局時④ (園公山福市山福日同) 會大民市山福
 (員合組空防庭家區學西弘市山岡日九廿月九) ひ

目次

正 雲 堂	三	サントリーウキスキー	三	由良婦人子供百貨店	三	杉金旅館 食堂	三
日清製粉岡山工場	三	岡山縣農産物聯合會	三	川邊礦山會社	三	森永キヤンデーストアー	三
備前織物會社	三	岡山廣告社	三	黒住種苗園	三	小西ラジオ	三
立花 醫院	三	大阪石炭賣社	三	黒田製鐵所	三	カモキのハイトリ紙	三
三和土地會社	三	倉敷ホンプ會社	三	ガラス紡織物工場	三	千代田生命保險會社	三
倉敷瓦斯會社	三	倉敷中央病院	三	山陽飲料水會社	三	黒住種苗園	三
三宅とら醬油	三	イタミ石材店	三	丸善石油會社	三	大同生命保險會社	三
小野田廻禮店	三	木村兵次商店	三	片山寫眞場	三	大平礦山株式會社	三
山形屋洋服店	三	片山寫眞場	三	山形屋洋服店	三	くらや菓子店	三
山陽配電岡山支社	三	三和銀行	三	山形洋行	三	三石高級耐火工場	三
森永キヤンデーストアー	三	片山寫眞場	三	岡山交通會社	三	十 牛 會	三
瀧田茂三郎クレート	三	志保屋酒造場	三	金 剛 莊	三	内山コルク工業所	三
松 籬 園	三	山中製本所	三	藤井看板店	三	國 定 藥	三
イタミ石材店	三	吉備正宗	三	イタミ石材店	三	日本音楽大道派本部	三
瀧浦紡織場	三	天 生 堂	三	食敷防蝕會社	三	立花 醫院	三
岡山商業會館	三	ミヤケラジオ電器會外四	三	カモキのキリメツ	三	岡山縣自動車學校	三
中野 商 會	三	カモキのハイトリ紙	三	朝研パイプ	三	岡山クラブ	三
三村廣藏クレート	三	明治製菓會社	三	北川輝雄クレート	三	イタミ石材店	三
清水 商 會	三	中國輪業會	三	岡山興信所	三	津山用運會	三
日清製粉岡山工場	三	岡山官報販賣所	三	由良婦人子供百貨店	三	中國輪業會	三
カモキのハイトリ紙	三	高松特許事務所	三	第一印刷所	三	藤井看板店	三
山陽木製會社	三	三宅とら醬油	三	多胡酒造場	三	森永製菓株式會社	三
黒住種苗園	三	吉水運送店	三	備前土地會社	三	三和自動車株式會社	三
中村窯業所	三	岡山瓦斯會社	三	三宅とら醬油	三	一粒金丹徳山藥林社	三
第一印刷所	三	森永キヤンデーストアー	三	岡文館印刷所	三	中國銀行	三
興 樂 園	三	第一獸兵保險會社	三	藤井電話機商會	三	荒手茶寮	三
吉田果物店	三			妙 布	三	天 備 屋	三



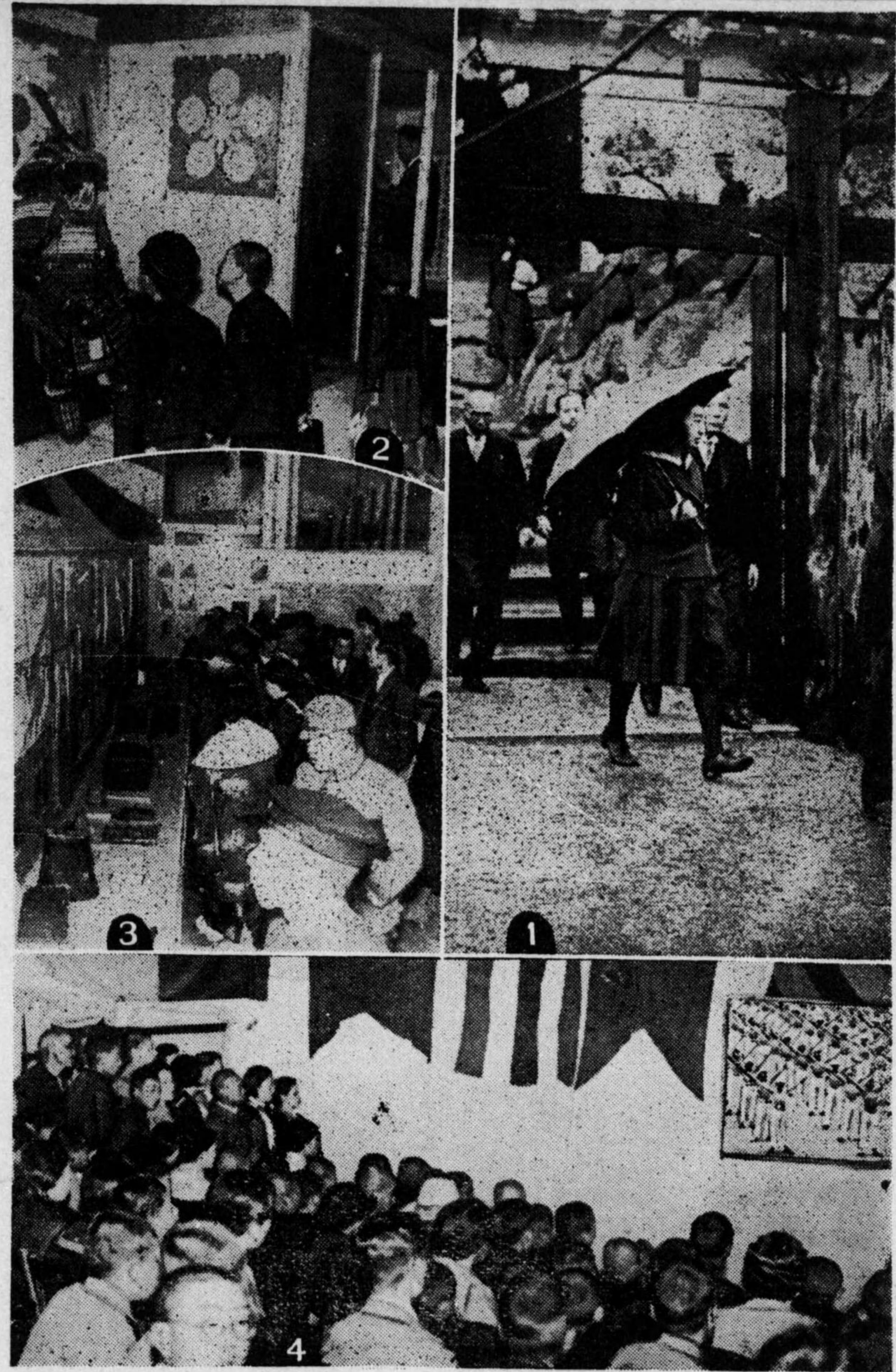
〇〇② (場兵練山岡日八月一年六十和昭) 式兵觀始軍陸隊部岡在①
 齋村島大郡口淺縣山岡くつに途壯③ 使大國洲滿李の間慰院病軍陸
 二) 典式祭國建市山岡④ (校學民國島大日六廿月一) 隊遣先村分洲
 (場動運合綜市奥日一十月)



同日四廿月一十) 兵閣長隊部村山 營入日一童兒 催主會の生學小山岡①
 (館鳴鶴園樂後日卅月一十) 會大成結部支縣山岡會贊翼政大② (庭營隊部
 聖皇天武神④ (日一十月一十) ぎ昇輿神賀祝市島廣祝奉年百六千二元紀③
 (嶺聖島高備吉沖蟠三外市山岡日七十月二十) 祭鎮地設建碑彰顯宮島高嶺



厚人業産催主社本②(前鐘の恵日二十月五)下殿宮香朝の成御園生愛島長①
 月五)演公の團問慰線前遣派社本③(園樂借市山岡日卅月八)夕の踊舞生
 新⑤(日一十月三)城山松中備たれさ定指に寶國④(隊部黒石濱爾哈日七
 (日六廿月七)氏胤攝光金長管新教光金たし選當りよに度制



宮照のり成御閣守天城烏場會一第會覽展防國度高催主社聞新同合①
 場會一第同③(園樂借山東)場會二第展防國ふ賑②(日四月四)様
 室畫映る依に幕寫映室明の内場會④

大日本帝國皇室

天皇陛下

御名裕仁 大正天皇第一皇男子、明治三十四年四月二十九日御誕生、五月五日御宮と稱せらる、明治四十一年四月十一日皇宮院初等科に御入學、大正元年九月九日陸軍少尉に御任官、同三年四月皇宮院初等科御卒業、新設の東宮御學問所にて御修學、同年十月三十一日陸軍中尉に、同五年十月三十一日陸軍大尉に御任官、同年十一月三日立太子に御任官、同八年五月七日御成年式御舉行、同九年十月三十一日陸軍少佐に御任官、同十年二月十八日皇宮御學問所御卒業、同年三月三日御外遊五月三日御歸朝十一月二十五日攝政御就任、同十三年十月三十一日陸軍中佐に御任官、同十三年一月二十六日御成婚、同十四年十月三十一日陸軍大佐に御任官、同十五年十二月二十五日御降参、人皇百二十四代の皇位を継ぎ、昭和元年十二月二十八日御見の御慶を舉げせらる、同三年十二月十日即位御禮舉行

皇后陛下

御名良子 故久邇宮邦彦王第一王女子、明治三十六年三月六日御誕生、同年三月十二日御命名、同四十二年四月十一日皇宮院女學部初等科御入學、大正四年三月同部中等科に御進級、大正七年二月十七日東宮妃册立の御沙汰あり、二月四日女學部御卒業、四月十三日より宮邸に新設の御學問所にて御修學、同十一年六月二十日御婚約御許、同九月二十八日御納采、御勤二等、同十三年一月二十六日御入對皇太子妃とならせらる、昭和元年十二月二十五日皇后とならせらる

皇太后陛下

御名節子 故從二位大勳位公卿九條道孝第四女子、明治十七年六月二十五日御誕生、同二十三年

皇太子殿下

御名明仁 今上天皇第一皇男子、昭和八年十二月二十三日御誕生、同月二十九日御宮と稱し明仁と御命名せらる、昭和十五年四月皇宮院御入學、初等科第二學年に御在學中

正仁親王

御稱敬親宮 今上天皇第二皇男子、御誕生昭和十年十二月二十八日

成子内親王

御稱順宮 今上天皇第一皇女子、御誕生大正十四年十二月六日、昭和七年四月女子學宮院御入學、中等科第四學年に御在學中

和子内親王

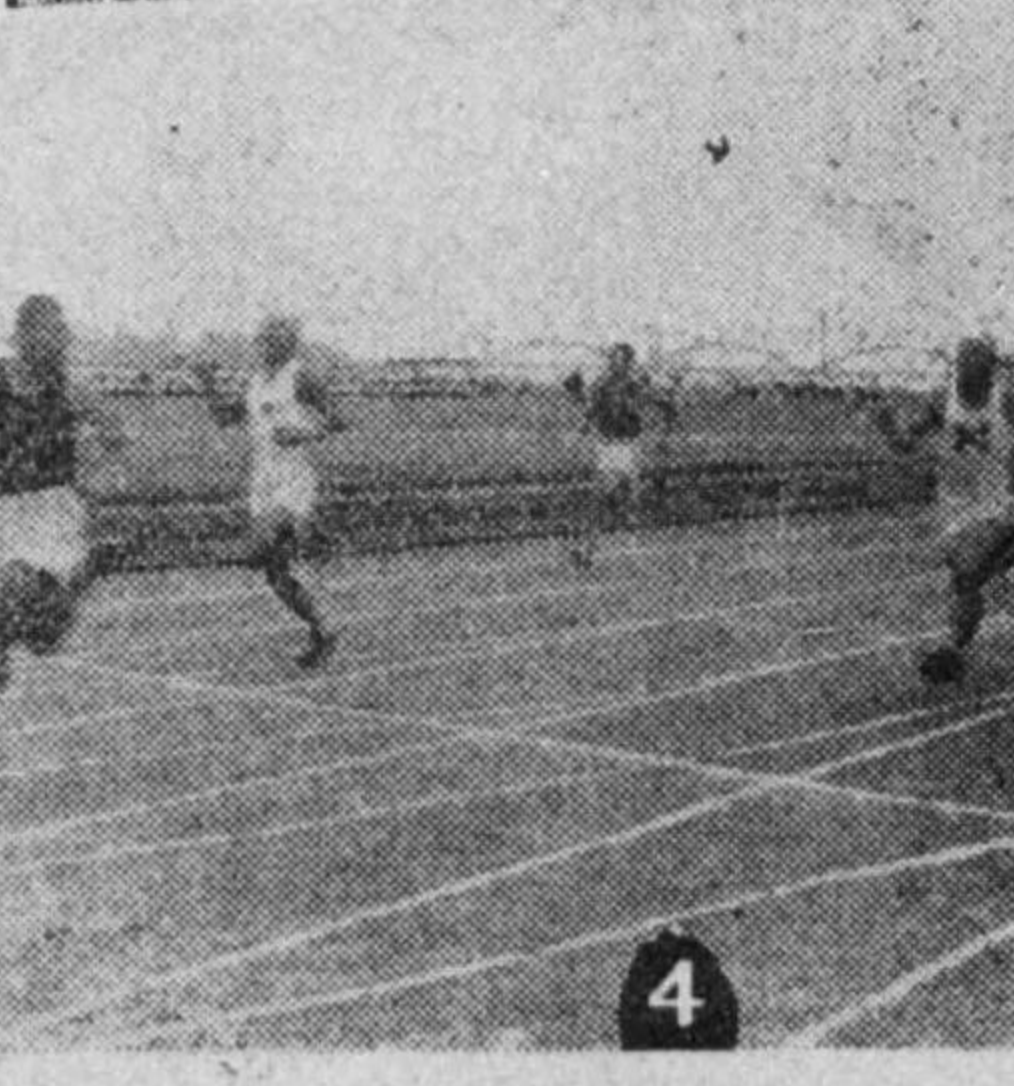
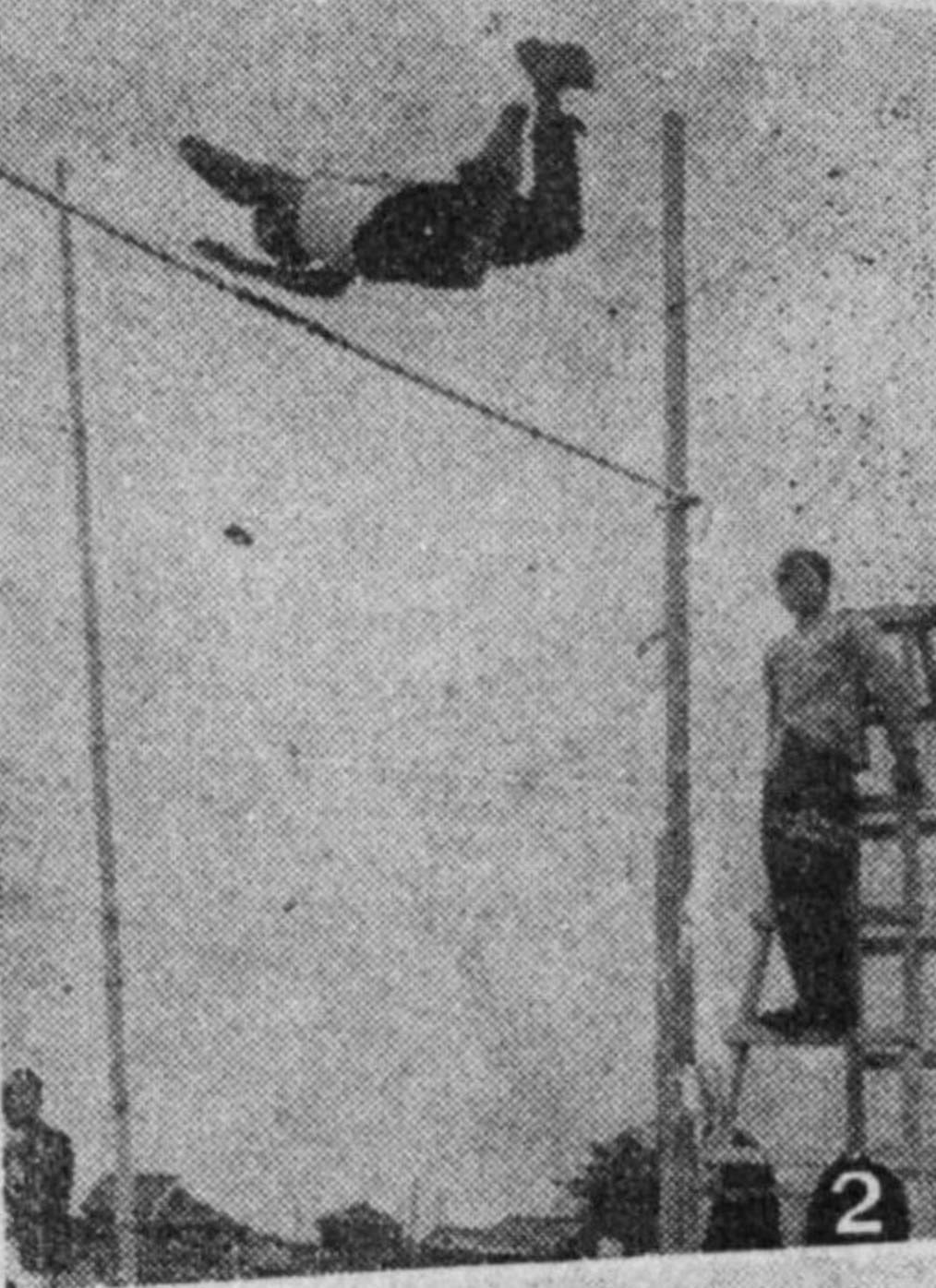
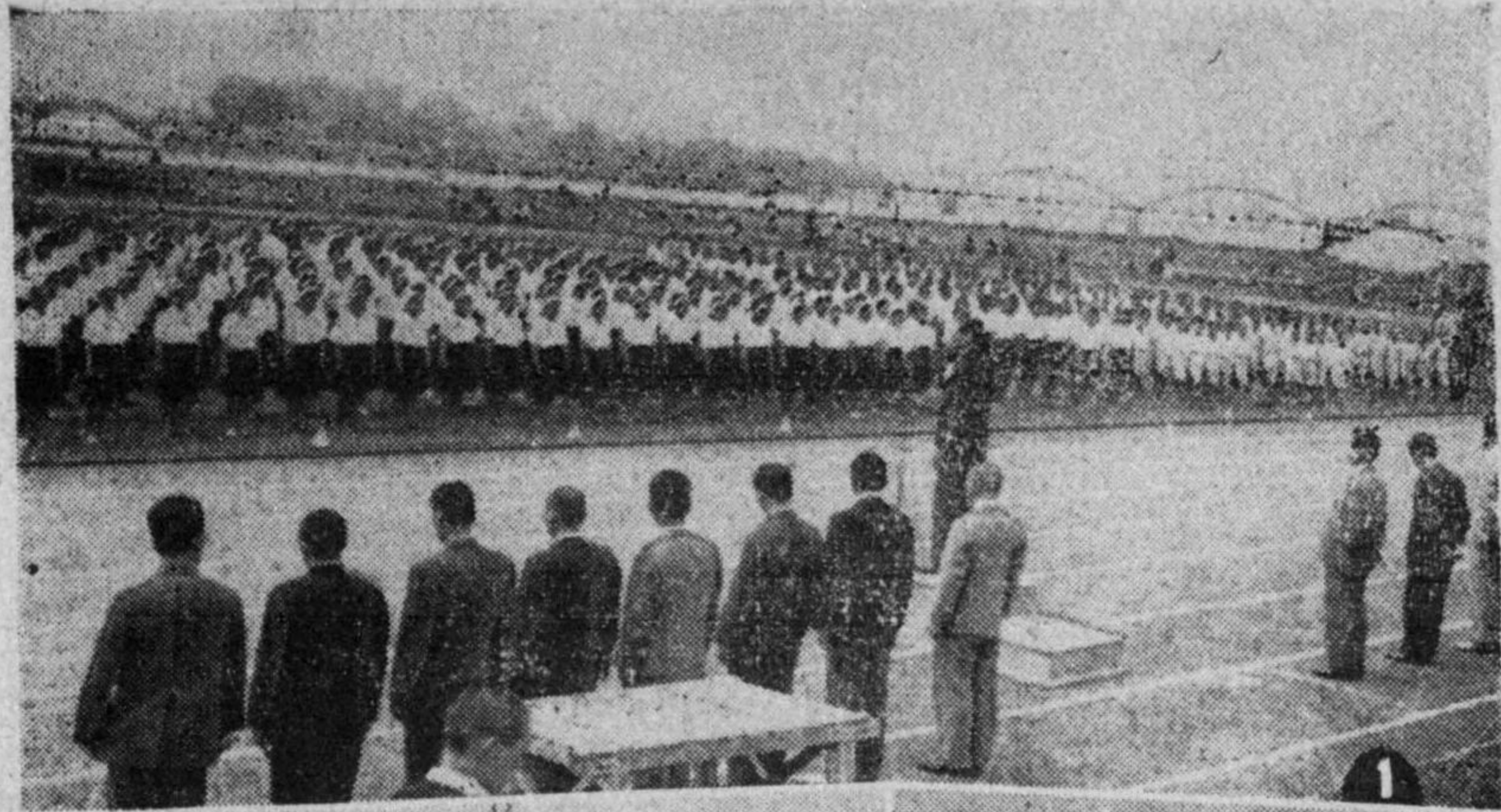
御稱孝宮 今上天皇第三皇女子、御誕生昭和四年九月二十日、同十一年四月女子學宮院前庭一年に御入學、初等科第六學年に御在學中

厚子内親王

御稱順宮 今上天皇第四皇女子、御誕生昭和六年二月七日、同十二年四月女子學宮院前庭一年に御入學、初等科第五學年に御在學中

貴子内親王

御稱德儀宮 今上天皇第五皇女子、御誕生昭和十四年三月二日



日二廿月六) 式會開技競上陸會大育體合綜本日西催主社聞新同合①
の勝優に跳高走子女同③ 跳高棒會大同② (場技競認公立町寺大西
(君井向諭教中津は着一) 勝決米百子男同④ 嬢崎岡女高寺大西
(嬢林若女高久邑) 操體械器會大同⑤

大日本帝國皇室

天皇陛下

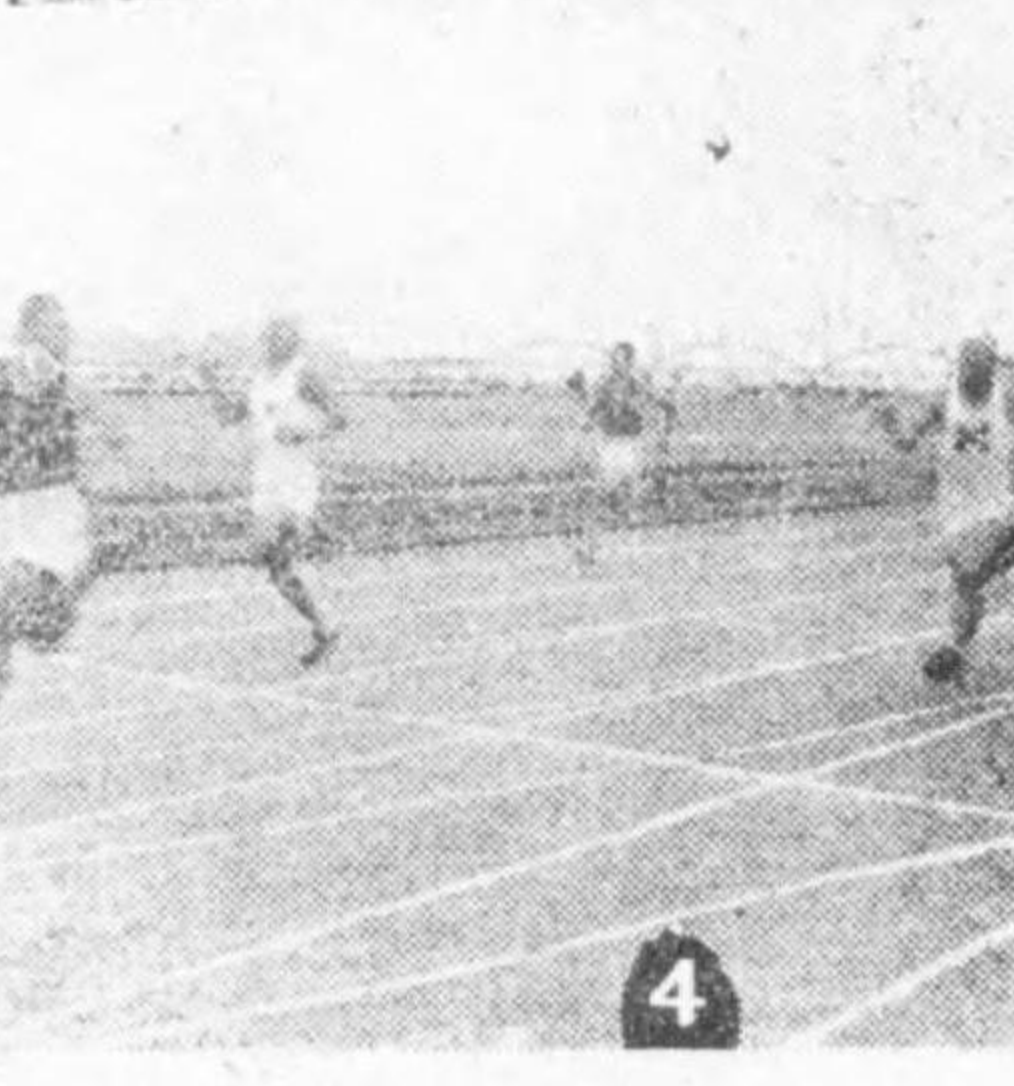
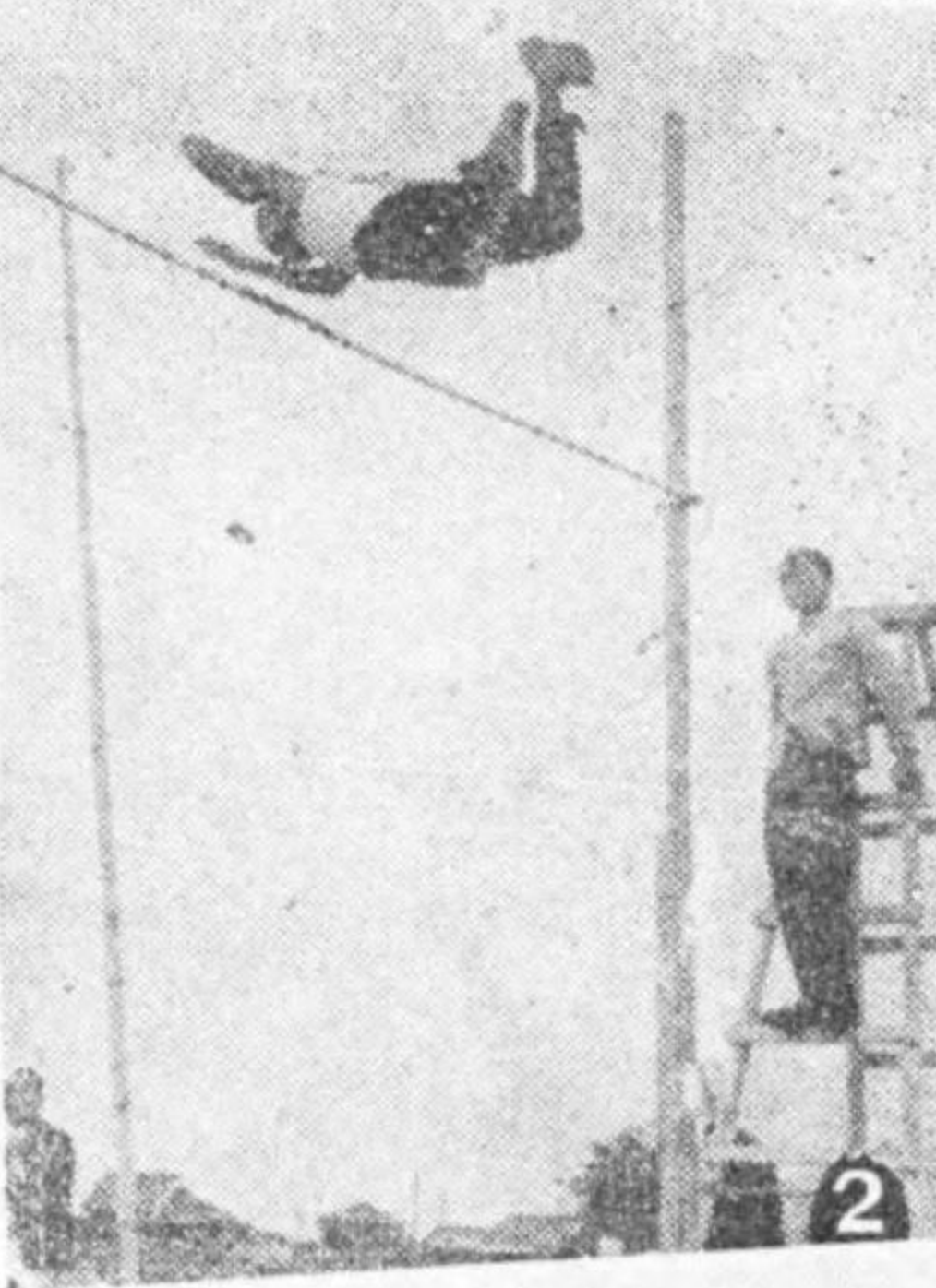
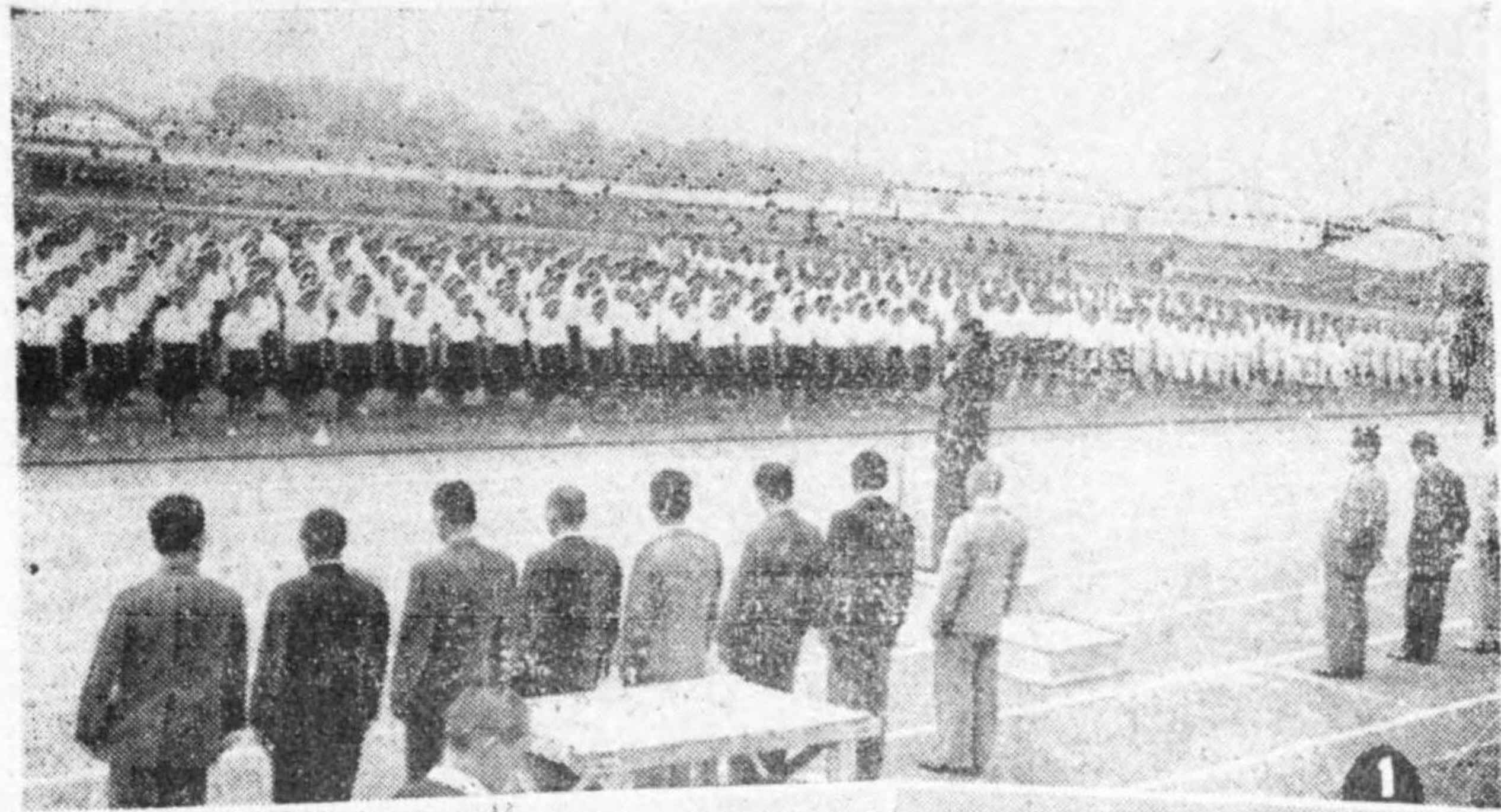
御名裕仁 大正天皇第一皇男子、明治三十四年四月二十九日御降誕、五月五日迪宮と稱せらる、明治四十一年四月十一日皇宮院初等科に御入學、大正元年九月九日陸海軍少尉に御任官、同三年四月皇宮院初等科御卒業、新設の東宮御學問所にて御修學、同年十月三十一日陸海軍中尉に、同五年十月三十一日陸海軍大尉に御昇任、同年十一月三日立太子禮御舉行、同八年五月七日御成年式御舉行、同九年十月三十一日陸海軍少佐に御昇任、同十年二月十八日東宮御學問所御卒業、同年三月三日御外遊九月三日御歸朝十一月二十五日攝政御就任、同十二年十月三十一日陸海軍中佐に御昇任、同十三年一月二十六日御成婚、同十四年七月三十一日陸海軍大佐に御昇任、同十五年十二月二十五日御踐祚、天皇百二十四代の皇位を継ぎませらる、昭和元年十二月二十八日朝見の御座を擧げさせらる、同三年十一月十日即位禮御舉行

皇后陛下

御名良子 故久邇宮邦彥王第一王女子 明治三十六年三月六日御降誕、同年三月十二日御命名、同四十二年四月十一日皇宮院女學部初等科御入學、大正四年三月同部中等科に御進級、大正七年二月十七日東宮妃册立の御沙汰あり二月四日女學部御退學、四月十三日より宮邸に新設の御學問所にて御修學、同十一年六月二十日御婚約御許、同九月二十八日御納采、御勳二等、同十三年一月二十六日御入廟皇太子妃とならせらる、昭和元年十二月二十五日皇后とならせらる

皇太后陛下

御名節子 故從一位大勳位公爵九條道孝第四女子、明治十七年六月二十五日御降誕、同二十三年



① 合同新聞社主催西日本綜合體育大會陸上競技會式(六月廿二日)の勝者に同女子走高跳② 西大寺町公立認技場(同日) 同男子百子米決勝(着は津中教向井君) 同女子高嶋若林(同日) ③ 同女子走高跳の勝者 ④ 同男子百子米決勝の勝者 ⑤ 同大會器械體操

皇太子殿下

御名明仁 今上天皇第一皇男子 昭和八年十二月二十三日御降誕、同月二十九日繼宮と稱し明仁と御命名せらる、昭和十五年四月皇宮院御入學、初等科第二學年に御在學中

正仁親王

御稱號親宮 今上天皇第二皇男子、御誕生昭和七年十二月二十八日

成子内親王

御稱號親宮 今上天皇第一皇女子、御誕生大正十四年十二月六日、昭和七年四月女子學宮院御入學、中等科第四學年に御在學中

和子内親王

御稱號親宮 今上天皇第三皇女子、御誕生昭和四年九月二十日、同十一年四月女子學宮院前期一年に御入學、初等科第六學年に御在學中

厚子内親王

御稱號親宮 今上天皇第四皇女子、御誕生昭和六年二月七日、同十二年四月女子學宮院前期一年に御入學、初等科第五學年に御在學中

貴子内親王

御稱號親宮 今上天皇第五皇女子、御誕生昭和十四年三月二日

皇 室

大日本帝國皇族

秩 父 宮

東京市赤坂區一番ノ一表町御殿

雍仁親王 大勳位陸軍大佐 大正天皇第二皇太子 明治三五・六・二五御誕生
 昭和三・九・二八御結婚
 妃 勢津子 勳 一 等 千歲松平保男婚、松平 明治四二・九・九御誕生

御略歴 初め淳宮と稱せらる。大正六年三月皇宮院中等科第二學年御終了、同年四月陸軍中央幼年學校豫科御入學、同九年三月同校本科御卒業、同年三月十會候補生として歩兵第三聯隊へ御入隊、同年十月陸軍士官學校本科御入學、大正十一年六月二十五日秩父宮の御稱號を賜はり宮稱創立、同年十月二十五日叙大勳位、授勳化大綬章、任陸軍歩兵少尉、補歩兵第三聯隊附、大正十四年五月任陸軍歩兵中尉、同年五月二十四日海外御留學のため御渡歐、大正十五年五月三十一日英國皇帝陛下より「ビクトリア」大綬章を賜せらる。昭和二年一月十七日御歸朝、同五年三月六日任陸軍歩兵大尉、同六年十一月陸軍大學校御卒業、同月歩兵第三聯隊中隊長、同七年九月一日補歩兵第三聯隊附、參謀本部御勤務、同九年六月二日天皇陛下御名代として滿洲國帝制實施御慶祝のため御渡滿、同十年八月一日任陸軍歩兵少佐、補歩兵第三十二聯隊大隊長、同十二年十月十九日英國へ如同伴被差遣、同十一年十二月一日補參謀本部附、同十三年三月一日任陸軍歩兵中佐、同十四年八月一日任陸軍歩兵大佐、昭和十五年九月十四日陸軍武官の官等新制により陸軍大佐とならせらる。

高 松 宮

東京市芝區高輪西臺町一番

宣仁親王 大勳位海軍中佐 大正天皇第三皇太子 明治三八・一・二御誕生
 昭和五・二・四御結婚
 妃 喜久子 勳 一 等 故公爵德川慶久第二女子 明治四四・二・二六御誕生

御略歴 初め光宮と稱せらる。明治四十四年四月皇宮院初等科御入學、大正二年七月六日高松宮の御稱號を賜はり宮稱創立、廢絶せる有栖川宮の御寮記を司せらる。同九年五月海軍兵學校御入學、同十三年七月同校御卒業、同十四年十二月任海軍少尉、叙大勳位、授勳化大綬章、昭和二年十二月任海軍中尉、同五年四月ガーター勳章御受給便として妃殿下と共に御渡英、歐米各國御巡遊、同年十二月一日任海軍大尉、同六年六月十一日御歸朝、同年十二月一日海軍砲術學校高等科學生被仰付、同七年十二月一日同校學生被免、補軍艦高雄分隊長、同八年十一月十五日補秩父分隊長、同九年十一月一日海軍大學校甲種學生被仰付、同十年十二月十五日任海軍少佐、同十二年十一月二十六日海軍大學校甲種學生被免、同十二年十二月一日軍部出仕 參謀部員、同十五年七月三日補比叻砲術長、昭和十五年十一月十五日任海軍中佐

三 笠 宮

東京市赤坂區一番ノ一青山東御殿

崇仁親王 大勳位陸軍大尉 大正天皇第四皇太子 大正 四・二・二 二御誕生
御略歴 初め澄宮と稱せらる。大正十一年四月皇宮院初等科御入學、昭和三年四月御卒業、同中等科に進ませられ、同七年三月第四學年御修了、同四月陸軍士官學校へ御入學、同九年三月同校豫科御卒業、同月十會候補生として習志野陸軍第十五聯隊へ御配屬七月軍曹に御進級、九月陸軍士官學校本科に御入學、同十年十二月御成年式を擧げさせられ三笠宮の御稱號を賜り宮稱創立、昭和十一年六月二十九日陸軍士官學校本科御卒業、同六月三十日習志野陸軍第十五聯隊に御歸隊、同日曹長の階級に進ませらる。同十二年十月一日叙大勳位、授勳化大綬章、任陸軍騎兵少尉、補騎兵第十五聯隊附、同十二年十二月一日任陸軍騎兵中尉、同十三年八月一日騎兵第十五聯隊中隊長職務心得仰付らる。同十四年十二月十三日陸軍大學校御入校、同月二十八日補騎兵第十五聯隊附、同十五年八月一日任陸軍騎兵大尉、補陸軍大學校附、昭和十五年九月十四日陸軍武官の官等新制により陸軍大尉とならせらる。

閑 院 宮

東京市麹町區永田町二丁目二十番地

毅仁親王 大勳位功二級元帥陸軍大將 慶應 元・一・一〇御誕生 明治四四・二・二・一九御結婚
 妃 習惠子 勳 一 等 故公爵三條實美第二女子 明治 五・六・三〇御誕生
 春仁王 大勳位陸軍中佐 毅仁親王第二男子 明治三五・八・三御誕生 大正二五・七・一四御結婚
 妃 直子 勳 一 等 故公爵一條實輝第四女子 明治四一・一・一・七御誕生

東 伏 見 宮

東京市藤谷區葛粉町百一番地

故仁親王和國子 勳 一 等 故公爵岩倉基定第一女子 明治 九・八・二九御誕生 明治三一・二・二〇御結婚

伏 見 宮

東京市麩町區尾井町四番地

博 恭 王 大勳位功四級元帥海軍大將 故皇愛親王第一男子 明治 八・一〇・一六御誕生 明治二〇・一・九御結婚
 故博義王妃朝子 勳 一 等 故公爵一條實輝第三女子 明治五五・六・二〇御誕生 大正 八・二二・二三御結婚
 博 明 王 故博義王第一男子 昭和 七・一・二六御誕生
 光子女王 故博義王第一女子 昭和 四・七・二八御誕生
 章子女王 故博義王第三女子 昭和 九・二・二一御誕生

山 階 宮

武彦王 勳一等海軍少佐

故菊彦王第一男子

明治三二・二・三御誕生

大正一一・七・一九御結婚

賀 陽 宮

故邦憲王妃皇子 勳 一 等

恒憲王 大勳位陸軍少將

故德川慶親第一女子

慶應 元・二・七御誕生

明治三五・一一・二六御結婚

妃敏子 勳 一 等

故公卿九條道實第五女子

明治三六・五・一六御誕生

大正二〇・五・三御結婚

邦憲王

恒憲王第一男子

大正一一・四・二二御誕生

大正二一・七・三御誕生

治憲王

恒憲王第二男子

大正一五・七・三御誕生

昭和四・八・一七御誕生

章憲王

恒憲王第三男子

昭和四・八・一七御誕生

昭和六・七・二二御誕生

文憲王

恒憲王第四男子

昭和六・七・二二御誕生

昭和一一・二・二四御誕生

宗憲王

恒憲王第五男子

昭和一一・二・二四御誕生

大正二二・七・二九御誕生

美智子女王

恒憲王第一女子

大正二二・七・二九御誕生

久 邇 宮

故邦彦王妃皇子 勳 一 等

朝融王 大勳位海軍大佐

故公卿島津重豪第七女子

明治二二・一〇・一九御誕生

明治三三・一一・二三御結婚

妃知子女王 勳 一 等

故邦彦王第一男子

明治三四・二・二御誕生

大正二四・一・二六御結婚

邦昭王

朝融王第三女子

明治四〇・五・一八御誕生

昭和四・三・二五御誕生

朝建王

朝融王第一男子

昭和四・三・二五御誕生

昭和一一・五・一一御誕生

正子女王

朝融王第二男子

昭和一一・五・一一御誕生

大正二五・二・二八御誕生

朝子女王

朝融王第一女子

昭和二・二・二〇御誕生

昭和二・二・二〇御結婚

通子女王

朝融王第三女子

昭和八・九・四御誕生

明治四〇・三・九御結婚

英子女王

朝融王第四女子

昭和一一・七・二二御誕生

明治二七・九・二五御誕生

故多羅王妃皇子

故多羅王第一男子

明治二七・九・二五御誕生

大正九・三・一七御誕生

家彦王

故多羅王第二男子

大正九・三・一七御誕生

大正一一・一一・一九御誕生

德彦王

故多羅王第三男子

大正一一・一一・一九御誕生

梨 本 宮

守正王 大勳位四等元帥陸軍大將

故朝彦親王第四男子

明治七・三・九御誕生

明治三三・一一・二八御結婚

妃伊都子 勳 一 等

故侯爵島貞第二女子

明治一五・二・二御誕生

朝 香 宮

鳩彦王 大勳位陸軍大將

故朝彦親王第八男子

明治一〇・一〇・二御誕生

明治四三・五・六御結婚

宇彦王 勳 一 等 陸軍大尉

鳩彦王第一男子

大正元・一〇・八御誕生

昭和二三・一一・一六御結婚

北千賀子 勳 二 等

伯耆守高松第五女子

大正一〇・五・三御誕生

大正八・八・二御誕生

濱子女王

鳩彦王第二女子

大正八・八・二御誕生

東 久 邇 宮

裕彦王 大勳位陸軍大將

故朝彦親王第九男子

明治二〇・一一・三御誕生

大正四・五・一八御結婚

紀子內親王 勳 一 等 御稱號奉還

明治天皇第九皇女

明治二九・五・一一御誕生

大正五・五・六御誕生

慶彦王 勳 一 等 陸軍大尉

裕彦王第一男子

大正五・五・六御誕生

昭和四・三・二四御誕生

俊彦王

裕彦王第四男子

昭和四・三・二四御誕生

皇族・王族・公族

北白川宮

故成公王妃厚子内親王 勳一等 御階親開宮
 故永公王妃睦子 勳二等
 置久王
 暉子女王

東京市芝區高輪南町十七番地

竹田宮

恒德王 大勳位 陸軍少佐
 恒光子 勳二等
 恒正王

東京市芝區高輪南町十七番地

王族及公族

昌德宮

李王 娘 大勳位 陸軍中將
 妃方子女王 勳一等
 李 秋
 故李王后妃芳氏 勳一等

京城府秋葉町一番地(御本邸) 東京市芝區高輪南町十七番地(御本邸)

故李太王第七皇子 明治三〇・一〇・二〇御誕生
 守正王第一女子 明治三四・一一・四御誕生
 李王第二男子 昭和六・一二・二九御誕生
 故侯爵井澤第一女子 明治二七・九・一九御誕生

大正九・四・二八御結婚

明治四〇・一・二四御結婚

李鍵公

李鍵公 大勳位 陸軍少佐
 妃誠子 勳二等
 李 泮
 李 沂
 李 沃子
 李 瑞子
 李 金氏 勳一等

京城府東町百九十二番地(御別邸) 東京市芝區高輪南町百一十番地(御本邸)

李瑞第一男子 明治四二・一〇・二八御誕生
 松平祥第一女子 明治四四・一〇・六御誕生
 李鍵公第一男子 昭和七・八・二四御誕生
 李鍵公第二男子 昭和一〇・三・四御誕生
 李鍵公第一女子 昭和一三・一一・一九御誕生
 故李太王第五皇子 明治一〇・三・三〇御誕生
 故男爵金澤第一女子 明治二三・一一・二二御誕生

昭和六・一〇・五御結婚

明治二六・一一・六御結婚

李銀公

李銀公 勳一等 陸軍大尉
 妃黃珠 勳二等
 李 清
 李 深
 故李憲公妃李氏 勳一等
 故李球公妃李氏 勳一等
 故李球公妃李氏 勳一等

京城府芝區高輪南町百一十番地(御別邸) 東京市芝區高輪南町百一十番地(御本邸)

李瑞第二男子 大正元・一一・一五御誕生
 故侯爵朴泳孝孫 大正三・一一・二一御誕生
 李銀公第一男子 昭和一一・四・二三御誕生
 李銀公第二男子 昭和一五・一一・九御誕生
 故李銀九第一女子 明治一六・七・一〇御誕生
 故金在鼎第一女子 明治一一・七・一八御誕生

昭和一〇・五・三御結婚

明治三四・一〇・一〇御結婚

明治二八・一・二〇御結婚

臣籍に降下せられたる皇族

(臣籍)
 小松輝久 侯爵 故北白川宮能久親王
 山階芳麿 侯爵 故山階宮菊麿王
 華頂博信 侯爵 伏見宮博恭王

(御降下年月日)

明治三〇・七・三〇
 大正九・七・三〇
 同 三・三・七

京波 侯爵 故山階宮菊麿王 昭和 三・三・三〇
 葛城 侯爵 同 昭和 三・三・三〇
 東伏見 侯爵 故久邇宮邦彥王 同 三・三・三〇
 伏見 侯爵 伏見宮博恭王 同 三・三・三〇
 晋羽 侯爵 朝香宮鳩彦王 同 三・三・三〇
 粟田 侯爵 東久邇宮稔彦王 同 三・三・三〇

王族・公族・臣籍御降下の皇族

華族に降嫁せられた皇族及王族

(固色)	(御父君)	(御配偶)	(御降嫁年月)
皇子 女	故伏見宮 親王	侯 山内 豊景	明治 四
皇子 女	故山階宮 親王	侯 遠野 長武	大正 九
皇子 女	故廣幡宮 親王	侯 町尻 重基	同 四
皇子 女	故久遠宮 親王	侯 竹内 惟忠	明治 三
皇子 女	同	侯 栗山 基俊	同 三
皇子 女	同	侯 大谷 光朝	大正 三
皇子 女	同	侯 三條 西公正	同 三
皇子 女	同	侯 廣橋 寛光	同 三
皇子 女	同	侯 有馬 綱繁	同 三
皇子 女	同	侯 甘藷 芳隆	明治 三
皇子 女	同	侯 保科 正昭	同 三
皇子 女	同	侯 黒田 長徳	大正 三
皇子 女	同	侯 安藤 信昭	同 三
皇子 女	同	侯 宗 武志	同 三
皇子 女	同	侯 立花 頼朝	同 三
皇子 女	同	侯 佐野 常光	同 三
皇子 女	同	侯 東園 基文	同 三
皇子 女	同	侯 尹 源 善	同 三
皇子 女	同	侯 二條 基	同 三
皇子 女	同	侯 徳川 宗徳	同 三
皇子 女	同	侯 朝香宮 鳩彦王	同 三
皇子 女	同	侯 朝香宮 成久王	同 三
皇子 女	同	侯 故竹田宮 恒久王	同 三
皇子 女	同	侯 故北白川宮 成久王	同 三
皇子 女	同	侯 故李 峻 公	同 三
皇子 女	同	侯 故久遠宮 多羅王	同 三
皇子 女	同	侯 故北白川宮 成久王	同 三

宮城
 慶正二年丙子、後花園天皇の御宇、鎌倉幕府上杉正家の家宰太田持資入道源朝武、關東郡江戸の地で工を起し、長慶元年十月五日竣工、

江戸城と稱す、天正年間徳川家康遷居して居城とし、徳川秀忠修築外観を繕ふ、慶長十一年火災ありて修築を加ふ、明治元年四月二十一日東征大將軍有精川宮備仁親王皇弟を奉りて江戸城に入らせられ、同年七月十七日東京親臨の詔下り、江戸を改めて「東京」と稱し、同年十月十三日明治天皇東京に御着遊、江戸城を以て皇居と定め東京城と御改稱、その後同六年五月五日皇居災上、兩陛下赤坂離宮に幸啓せまし、ここに假皇居と定めらる、現在の宮殿は明治十五年五月御遷居の御宇、同二十一年十月竣工、同年十月二十七日「宮城」と御改稱、翌二十二年一月十二日兩陛下還幸遊はざる、その後昭和二、三兩年にわたり大改修を行ひ、奥宮殿内は大部分洋風とせられ、御書庫、御御書等吹上御苑内には御馬場、御運動場、水田、畑等を設けられた、また大震災の破損箇所二重橋、各御門の復舊を行ひ、舊本丸の一部には園藝寮を新築した

岡山縣勢概要

縣政

昭和十六年の岡山縣政は時局の進展による國策の如き反映してあらゆる部門、あらゆる段階に整備がなされた。しかもそれ等の各種施設は何れも大局的な國土計畫に則る高度國防國家の建設を旨として個々の施設案件のうちから一脈相通する脈絡の發見されることは頗る力強いこと、しなぐてはならない、その第一に舉げらるべきものに旭川河水統制事業計がある、岡山縣百年の大計として農業用水、水道用水、工業用水を確保し、附帯事業として出力餘二萬キロの發電事業を起しこれを生産力擴充方面に振り向けようといふのである、六ヶ年計畫三千萬圓に近い巨額を投じて旭川上流久米郡田村の峡谷地帯に大規模な築壩し、それから上流眞庭郡田村に至る間を一大人工湖とし

岡山縣勢概要

ようといふ計畫の目下設計は大體出来上り、八月一日から現編附近に本格的な調査事務所が設置され目下諸種の基本準備中である一方發電事業は政府の電力統制計畫のため今後發給設備所が果して認可となるかどうかといふ疑問に閉ざされてゐるが、先づ是等の案件が確實に見送らされた上でいふと本格的な事業着手を見ることとなるもので、縣當局は頗る慎重なる態度をもつてこれに臨んでゐる

岡山縣をして生産工業縣たらしめる爲めには全力を擧げて工業建設に乗り出さなくてはならないといふ觀點から縣では盡くこの方面に對する有力な機關を設けし八方に着手を促し相乗の成果を収めてゐるが、新たに本年度において後口郡津島町および京島郡田村沖合百萬坪の海面を墾立て、これに特殊工業地帯を設定すること、

なり、可成急進的工事を進捗する目的のもとに即刻埋立工事着手せられてゐる、こゝには某々大工場が建設されるのであつてこれに伴ひ既に津島、福田兩町村地帯をもつて都市計畫の指定地域として内務省から指定されてゐる、文字通り瀬戸内海工業時代が岡山縣沿岸地帯にも訪れて来た譯で、恐らく機業開始は可成急進的なものとならう

専賣特許
二大殺菌劑配合



清掃力が極め強い

薬用

クラブ歯磨

歯疾防止の徹底に!



★ムシ歯一本でも健康生活には許されません。朝晩、清掃力強い薬用クラブ歯磨で化学的にムシ歯を防ぐ一方、カルシウムやビタミンDの補給をお忘れなく!

河川

龍山(高野、美和1)	三坂山(高野、久世2)	上野山(高野、新庄1)	中野山(高野、八束1)	下野山(高野、八束1)	大狹野(高野、八束1)	三平山(高野、川上1)	三平山(高野、川上1)	毛無山(高野、新庄1)	四曲山(高野、新庄1)	牛甲山(高野、中和2)	矢倉山(久米、大井原)	尾子山(高野、高野1)	上松山(高野、中和1)	津山(高野、中和3)	天ヶ山(高野、富1)	入道山(高野、美和2)	神樂山(高野、一宮2)	花知山(高野、豊後3)	大野山(高野、豊後3)	泉山(高野、美和1)	百軒山(高野、果1)	扇山(高野、富1)	乘幸山(高野、富1)	
一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三
石原山(高野、羽田)	辰巳山(高野、上野原1)	入道山(高野、富1)	山乘山(高野、羽田1)	右野山(高野、高野1)	黒野山(高野、高野1)	赤野山(高野、高野1)	龍野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	那岐山(高野、高野1)	日名山(高野、高野1)	黒野山(高野、高野1)	若杉山(高野、高野1)	若杉山(高野、高野1)	二上山(高野、高野1)	二上山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)	高野山(高野、高野1)
一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三
支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支
旭川(高野、川上)	水原地(高野、川上)	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支
一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三
通谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)	龍谷川(久米)
一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三

岡山縣教育

Table with columns for school type (Public/Private), gender (Male/Female), and total count. Includes categories like '青年學校' and '中等學校'.

Table listing various schools and their enrollment numbers. Includes '西大寺高女' and '岡山一中'.

Table listing schools and their enrollment numbers. Includes '岡山西山下' and '岡山東山下'.

Table listing schools and their enrollment numbers. Includes '岡山工務' and '岡山商業'.

岡山縣教育 社會教育 青少年團員數 市郡名 團數 團員數 岡山 一 11,101

Table with columns for school name, location, and enrollment numbers. Includes '倉津山' and '津野山'.

森永キヤンデスター 岡山紙屋町・岡山驛前

圖書館令の改正と共に岡山縣立圖書館は縣下二百八十六の圖書館を統制し内容の擴張充實を期し、あるが昭和十五年度末現在の圖書冊数は五十七萬六千九百六十二冊

人三、三三〇〇〇、三三〇〇〇婦人三、三三〇〇〇、三三〇〇〇其他三、三三〇〇〇 圖書館圖書冊數(除新聞) 圖書館圖書冊數(除新聞)

岡山縣勢概要

【岡山縣千種畜産】 大正十年岡山縣阿西郡十尾村に開設家畜に關して一般的調査指導を行つてゐる

此外農事試験場美作分場は津山市に新設せられ本場を準じて戦時下産業改善に努力してゐる

農業

農業に關するあらゆる施設計畫の根幹である耕地の岡山縣下昭和十五年末の現在面積は八萬八千七百八十八町二反、畑、三萬五千二百六十八町五反、計十二萬四千五百四十七反であつて是を前年末の耕地面積に比較すると三町六反の増加となつてゐる。而して昭和十五年中の農林狀況は擴張即ち新に耕地となつたもの總數百五十五町七反、畑及び干拓四十六町六反、荒地復舊百二十町九反、地目變換二十八町六反、計三百五十一町八反であつて之に反して濫墾即ち從來耕地であつたものが耕地でなくなつたもの宅地、道、溝、池、水田、河川、水路、敷地等となつたもの五千町、耕地となつたもの九千二反、地籍地目變換四十町

一反、計二百六十五町八反田が畑となつたもの十二町六反畑が田となつたもの九十七町である

耕地面積

昭和十五年度米(單位町)

岡山	一、三三、〇
倉敷	一、〇〇、八
津山	一、〇〇、八
玉野	一、〇〇、八
御津	一、〇〇、八
赤磐	一、〇〇、八
和氣	一、〇〇、八
色久	一、〇〇、八
上房	一、〇〇、八
後月	一、〇〇、八
小田	一、〇〇、八
津口	一、〇〇、八
郡津	一、〇〇、八
兒島	一、〇〇、八
川上	一、〇〇、八
阿西	一、〇〇、八
上房	一、〇〇、八
吉備	一、〇〇、八
勝田	一、〇〇、八
英田	一、〇〇、八
久米	一、〇〇、八

耕地利用別 (昭和十五年度末)

一毛作	一、〇〇、八
二毛作	一、〇〇、八
三毛作	一、〇〇、八
四毛作	一、〇〇、八
耕地利用別	一、〇〇、八

永年作 九、九七、四
 休耕地 〇、〇〇、一
 計 一、〇〇、八
 耕地所有別農畜戸數
 (昭和十六年五月末)
 一反未満者 五、〇〇、八
 一反以上六反未満者 一、〇〇、八
 六反以上十町以上者 一、〇〇、八
 以上合計 一、〇〇、八

農業教育を受けた者の現在 (昭和十六年五月末)
 小學校程度 一、〇〇、八
 中學校程度 一、〇〇、八
 高學校程度 一、〇〇、八
 大學程度 一、〇〇、八
 農事講習 一、〇〇、八

自作、小作別別別
 自作 一、〇〇、八
 小作 一、〇〇、八
 計 一、〇〇、八
 自作小作農畜戸數
 (昭和十六年五月末日現在)
 自作農 一、〇〇、八
 小作農 一、〇〇、八
 小作者 一、〇〇、八

米作付反別及收穫高

(昭和十五年度)

岡山	一、三三、〇
倉敷	一、〇〇、八
津山	一、〇〇、八
玉野	一、〇〇、八
御津	一、〇〇、八
赤磐	一、〇〇、八
和氣	一、〇〇、八
色久	一、〇〇、八
上房	一、〇〇、八
後月	一、〇〇、八
小田	一、〇〇、八
津口	一、〇〇、八
郡津	一、〇〇、八
兒島	一、〇〇、八
川上	一、〇〇、八
阿西	一、〇〇、八
上房	一、〇〇、八
吉備	一、〇〇、八
勝田	一、〇〇、八
英田	一、〇〇、八
久米	一、〇〇、八
玉野	一、〇〇、八

付面積は六萬六千八百八十八町五反、その實收高は百八十八萬一千五百六十四石である、これを前年實收高に比へば作付面積で三千八百八十六町七反五分一厘(の増加に拘らず收穫高では二萬一千三百五十六石二分八厘の減收である内譯は左の通り(△印減)



津酒外市救倉 社會式株油醬宅三

前年作付面積に比し増減
 前年實收高に比し増減
 大麥 六、〇〇、九
 裸麥 三、〇〇、九
 小麥 三、〇〇、九
 燕麥 三、〇〇、九
 しかして右の減收の主原因は冬温、多雨で發芽後の成育が著しく促進され莖葉軟弱で徒長せられたためと例年比へば病害発生多し、なほ五月上旬有風雨のため一部地方の

倒伏と局部的な霜害を見たため等と認められる、しか平年作に比へれば作付面積で七千四百六十六町五反(割五分六分)收穫高で十一萬七千六百八十二石(割一分二厘)をそれへ増してゐる、なほ都市別は左の通り

岡山	一、三三、〇
倉敷	一、〇〇、八
津山	一、〇〇、八
玉野	一、〇〇、八
御津	一、〇〇、八
赤磐	一、〇〇、八
和氣	一、〇〇、八
色久	一、〇〇、八
上房	一、〇〇、八
後月	一、〇〇、八
小田	一、〇〇、八
津口	一、〇〇、八
郡津	一、〇〇、八
兒島	一、〇〇、八
川上	一、〇〇、八
阿西	一、〇〇、八
上房	一、〇〇、八
吉備	一、〇〇、八
勝田	一、〇〇、八
英田	一、〇〇、八
久米	一、〇〇、八
玉野	一、〇〇、八

本縣の農業は經營狀態多岐にわたる爲め特殊作物の種類も實に多いが、就中關東は全國産額の五割を占め第一位、葡萄は前年で引續き第三位、薄荷は第二位、除蟲菊は第六位を占め、何れも全國屈指の産地である

反別 收穫高 價格

岡山	一、三三、〇
倉敷	一、〇〇、八
津山	一、〇〇、八
玉野	一、〇〇、八
御津	一、〇〇、八
赤磐	一、〇〇、八
和氣	一、〇〇、八
色久	一、〇〇、八
上房	一、〇〇、八
後月	一、〇〇、八
小田	一、〇〇、八
津口	一、〇〇、八
郡津	一、〇〇、八
兒島	一、〇〇、八
川上	一、〇〇、八
阿西	一、〇〇、八
上房	一、〇〇、八
吉備	一、〇〇、八
勝田	一、〇〇、八
英田	一、〇〇、八
久米	一、〇〇、八
玉野	一、〇〇、八

岡山縣勢概況

林産	杉、ヒノキ、楠、樟、榎、楓、栗、胡桃、松、柏、杉、ヒノキ、楠、樟、榎、楓、栗、胡桃、松、柏	1,500,000
食用農産物	大豆、小麦、粟、米、麦、芋、甘藷、大豆、小麦、粟、米、麦、芋、甘藷	1,200,000
畜産	牛、馬、猪、鶏、豚、牛、馬、猪、鶏、豚	1,000,000
工業	絹織物、綿織物、紙、織物、絹織物、綿織物、紙、織物	1,500,000

水産

魚類	鯉、鱈、鰻、鱈、鰻、鱈、鰻	1,500,000
貝類	扇貝、蛤、蛸、扇貝、蛤、蛸	1,000,000
藻類	昆布、海苔、藻類	500,000

工業

絹織物	絹織物	1,500,000
綿織物	綿織物	1,000,000
紙	紙	500,000
織物	織物	1,000,000

水産

魚類	鯉、鱈、鰻、鱈、鰻、鱈、鰻	1,500,000
貝類	扇貝、蛤、蛸、扇貝、蛤、蛸	1,000,000
藻類	昆布、海苔、藻類	500,000

官設工場(標準製造)
 職工、職工職男、職女、職女
 工場法適用私設工場
 (昭和十四年十一月未現在)

製糖	1,000,000
製粉	1,500,000
製紙	1,000,000
製油	1,500,000
製炭	1,000,000
製鉄	1,500,000
製鋼	1,000,000
製銅	1,500,000
製鉛	1,000,000
製鋅	1,500,000
製錫	1,000,000
製鉄鋼	1,500,000
製銅鋼	1,000,000
製鉛鋼	1,500,000
製錫鋼	1,000,000

ラヂオ・蓄音器
小西ラヂオ部
 岡山市西大寺町十字街
 電話 二二一〇四番

製糖	1,000,000
製粉	1,500,000
製紙	1,000,000
製油	1,500,000
製炭	1,000,000
製鉄	1,500,000
製鋼	1,000,000
製銅	1,500,000
製鉛	1,000,000
製鋅	1,500,000
製錫	1,000,000

特別工場	1,000,000
電気業	1,500,000
瓦斯業	1,000,000
合計	1,500,000

製糖	1,000,000
製粉	1,500,000
製紙	1,000,000
製油	1,500,000
製炭	1,000,000
製鉄	1,500,000
製鋼	1,000,000
製銅	1,500,000
製鉛	1,000,000
製鋅	1,500,000
製錫	1,000,000

司法

明治九年十一月神戸裁判所岡山支... 明治二十三年八月岡山地方裁判所を置き、その管内に岡山、片上、高梁、新見、玉島、笠岡、津山、岡山各區裁判所を置き、同時に岡山地方裁判所岡山支、高梁、玉島三支部を併せたが、翌年高梁、玉島兩支部を廢止され、同二十五年再び高梁支部を併せ同三十四年廢止された。明治三十八年三月從來大阪府裁判所の管轄に移す。大正二年四月片上、新見、笠岡、岡山各區裁判所を廢止し、その後岡山、新見、岡山を復活す。大正六年六月高梁支部を閉く、大正十一年四月岡山地方裁判所内に岡山供託局

を置き玉島、笠岡、高梁、新見、津山、岡山に各出張所を置く。昭和六年三月新見、岡山兩區裁判所を廢止したが同八年一月復活した最初の總舎は四百坪餘の建物であつたがその後數回増築して現在は敷地二千二百四十三坪二百五、建物千二百七坪の規模を有してゐる

岡山地方裁判所管内區裁判所 民事訴訟事件表 (昭和十五年度)

Table with columns for court names (岡山地方裁判所, 岡山支部, etc.), case counts (既決, 未決), and sub-sections for criminal and civil cases.

訴訟事件數 岡山地方裁判所管内の岡山地方、同支部、岡山、玉島、笠岡、高梁、新見、津山、岡山各區裁判所が受理した昭和十五年中の民事訴訟事件數は三千四百四十四件民事訴訟事件數は十四年のそれと比すると刑事事件數に於て千七百七十件の増加民事事件數に於て千七百七十件の減少となつてゐる

小作調停事件數 (昭和十五年度) 岡山地方, 岡山支部, 岡山區, 津山區, 新見區, 高梁區, 笠岡區, 玉島區, 岡山區

金庫臨時調停事件數 (昭和十五年度) 岡山地方, 岡山支部, 岡山區, 津山區, 新見區, 高梁區, 笠岡區, 玉島區, 岡山區

警察

時局下警察事務は愈々複雑多岐を極め組織的整備のためには組織兩面に涉る積極な警察網の完成を期してゐる。岡山縣の警察施設は全國中で優位を占め其活動活潑なるものがある

警察官配置

(昭和十六年六月末現在)

Table showing police officer distribution by department (警務課, 警備課, etc.) and district (岡山, 津山, etc.)

Table with columns for crime types (殺人, 強盗, etc.) and counts (発生, 検獲) for various districts.

Table with columns for crime types (放火, 窃盗, etc.) and counts (既決, 未決) for various districts.

Table with columns for fire-related incidents (火災原因, 火災件數) and counts for various districts.

岡山縣勢概観

罹物火災(十五年度)
住家(全縣)
非住家(半縣)
罹失建坪
罹害見種類
大日本消防協會岡山支部

衛生

病床十床以上を有する縣下病院は
岡山縣大府醫院のほか公立五、
私立六五、醫師總數二千三百六十七(内女醫師)
一般の衛生状態は縣民の自覺と相俟つて漸次向上してゐる

淋毒性諸病
保健施設
岡山縣岡山保健所【所在地】岡山市上伊福(設立)昭和十二年八月

岡山縣勢概観
罹物火災(十五年度)
住家(全縣)
非住家(半縣)
罹失建坪
罹害見種類
大日本消防協會岡山支部

岡山縣勢概観

院

院(公立)岡山県立会計会(岡離病)
會(二病床)三床
傳染病(昭和十五年)
添削(検査)
關チノス
ハラチノス
ガフテリフ
流行性腦脊髄膜炎

院(公立)岡山県立会計会(岡離病)
會(二病床)三床
傳染病(昭和十五年)
添削(検査)
關チノス
ハラチノス
ガフテリフ
流行性腦脊髄膜炎

本位田和枝(大井和診療所)
銀形野次郎(の施設)
國民健康保險
岡山縣下の國民健康保險事業は昭和十三年七月一日國民健康保險法の施行に伴ひ縣内の社會に於て之れが國民健康保險組合の設立指圖及監督に當つてゐるが本制度は國民健康の

本位田和枝(大井和診療所)
銀形野次郎(の施設)
國民健康保險
岡山縣下の國民健康保險事業は昭和十三年七月一日國民健康保險法の施行に伴ひ縣内の社會に於て之れが國民健康保險組合の設立指圖及監督に當つてゐるが本制度は國民健康の

軍

組台總數
被保險者總數
岡山縣兵分隊
(岡山)市(五七三)

組台總數
被保險者總數
岡山縣兵分隊
(岡山)市(五七三)

組台總數
被保險者總數
岡山縣兵分隊
(岡山)市(五七三)

組台總數
被保險者總數
岡山縣兵分隊
(岡山)市(五七三)

三石深井鐵工所

鑛山、製鐵、化學工業、耐火物製造用機械製作
岡山縣和氣郡三石町
大阪營業所
電話九番 自九番五九番
電話三番 自三番六九番
電話一四番 自一四番七九番
電話一〇七番 自一〇七番一〇番

岡山縣勢概観

岡山縣勢概観
罹物火災(十五年度)
住家(全縣)
非住家(半縣)
罹失建坪
罹害見種類
大日本消防協會岡山支部

院

院(公立)岡山県立会計会(岡離病)
會(二病床)三床
傳染病(昭和十五年)
添削(検査)
關チノス
ハラチノス
ガフテリフ
流行性腦脊髄膜炎

院(公立)岡山県立会計会(岡離病)
會(二病床)三床
傳染病(昭和十五年)
添削(検査)
關チノス
ハラチノス
ガフテリフ
流行性腦脊髄膜炎

本位田和枝(大井和診療所)
銀形野次郎(の施設)
國民健康保險
岡山縣下の國民健康保險事業は昭和十三年七月一日國民健康保險法の施行に伴ひ縣内の社會に於て之れが國民健康保險組合の設立指圖及監督に當つてゐるが本制度は國民健康の

本位田和枝(大井和診療所)
銀形野次郎(の施設)
國民健康保險
岡山縣下の國民健康保險事業は昭和十三年七月一日國民健康保險法の施行に伴ひ縣内の社會に於て之れが國民健康保險組合の設立指圖及監督に當つてゐるが本制度は國民健康の

赤	和	色	上	兒	都	後	小	後	上	吉	俊	川	阿	眞	若	勝	英	久	計
警	氣	久	道	島	高	口	田	田	月	備	房	上	哲	庭	田	田	田	米	計
三	七	〇	〇	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

【會費】百二十名(昭和十六年六月現在)
 【主要事業】軍用大訓練指導、訓練技藝、軍用候補大試験、軍用大訓練手試験、繁殖指導、軍用大鹿覽會、軍用大能力競技會、軍用大訓練演習、血統登録其他宣傳等
 社團法人大日本軍用場協
 岡山支部
 【事務所】岡山市内山下四三番見方
 【支部長】陸軍少將 石原 紀一
 【副支部長】 江原 四郎
 【本部】東京市神田區錦町二丁目九
 大日本錫礦輸入會岡山縣支部
 【事務所】岡山縣廳社會課内
 【支部長】 知事 横溝 光輝
 【本部】一七、三〇〇番
 【事業】祭祀及慰勞、會員の表彰、會員の救養指導、會員の身上相談その他
 大日本防空協會岡山縣支部
 【事務所】岡山縣廳警防課内
 【支部長】 知事 横溝 光輝
 【副支部長】 警察部長 金井五郎
 【本部】一五二、六〇〇番

【事業】防空に関する調査研究、防空知識の普及徹底、防空勤務員の養成、防空に関する設備及資材の整備獎勵、防空機關の援助、防空訓練の援助、防空功勞者の表彰、防空勤務員の慰勞その他
 岡山縣國防協會(事務所岡山縣廳社寺兵庫課内)(會員數約十八萬)(會長横溝光輝)
 大日本 殊勳會 岡山支部(事務所 兒島郡藤田町天城(會員)九百七十名(本部理事兼支會長) 巨田 幸平
 徳川軍人職業講習會
 縣職業課では四月十四日より(傷痍軍人を対象とし) 養蠶、養蠶農具、農會技術員養成、竹細工、畜産、木炭製造、機械及事務等の科目に付講習を行つた
 講習會の新體制として
 講習會の確立を旨とする同志講習會の結成運動は幾多の紆餘曲折を経ていよいよ同志的結合々大政翼賛會同盟生として昭和十六年九月二日誕生した。當初の會員三百二十六名これに衆議院議員俱樂部は解散した。新立議員團體の幹部役員次の如し

【九・一八價格存】非常時物價政策に大きな役割を演じ公定價格設定の外壁として〇俵(マルチ)の呼稱のもとに國民の一大關心事とされた九・一八價格停止規定の有効期間は昭和十六年十月十九日を以て満了することとなつたが八月十一日の總動員講習會において當分これを存置することに決した

大政翼賛會 岡山縣支部

岡山縣に於ける大政翼賛運動は昭和十五年十一月三十日全國に懸けて大政翼賛會岡山縣支部の發會式を厳肅に舉行して以來、縣民の翼賛運動に對する熱意は漸く徹底の域に達し、その中樞機關たる縣支部(事務委員會)が横溝官務委員會(理事會)を中心とする指導體に對する努力を傾け漸次躍進の一路を辿つてゐる。即ち縣支部の結成については下部組織の結成に着手し十五年十二月二十八日を以て郡市町村の各級理事が近衛總裁より委嘱され十六年に入つて本格的な運動の事務が開始された。引領する協力會議員の銜もスムーズに運び三月から四月へかけて各郡市協力會は一律に開かれ上意下達下情上通の家族的會議の成果は食糧増産確保の問題を中心に當該郡市意下で直ぐに實踐に移さるべき事項は申合事項とし、また國、縣に反映上通するべき事項は該長に於て下達事項として處理され三

月十九、二十の兩日第一回縣協力會は開かれ原議長統裁の下に之又縱横の角度より圓滑なる討論が行はれた大きな收穫を挙げたのであるが新設の頃第二次の各協力會は開かれんとする。四月十八日には横溝知事が正式に縣支部長に就任、理事制を解消して事務委員が支部長を補佐することとなり過去半歳に渉る基礎工事時代から漸く本格的軌道に乗るの狀態に進み四月十八日地方長官會議に際しては横溝知事は長くも天皇陛下より岡山縣の翼賛運動に對する縣民の心構へに關して御下問を拜するの光榮に浴した

同種支部長は十五年六月一日以來毎月各地の常會に出席して地方人と膝を混へて懇談し且つKKのマイクを通して現地放送を行ひ、知事さんの常會放送といへば縣民の期待するところとなり少から西効果を擧げてゐる

支部の機構

- 事務所 (岡山縣廳警防課内) 電話 八〇八七番
- 支部事務局職員**
- 支部長 横溝 光輝
 - 庶務部長 杉山善之助
 - 組織部長 森合 新一
 - 主事 森 哲雄
- 中央協力會議員**
- 原 澄治
 - 上田 光治
- 支部署員**
- 支部長 横溝 光輝
 - 縣協力會議長 原 澄治
 - 常務委員 橋本富三郎
 - 同 杉山八郎治
 - 同 田口 梁天
 - 同 鶴田 鏡輔

特許新案 日清支出額 商標査定 審判新事務

高松特許事務所

所長 馬場 五男
高松市兵庫町電話一七五〇番

- 同 中尾麗太郎
- 同 丸尾 行雄
- 同 牧野 勝
- 同 森合 新一
- 同 守屋 啓平
- 同 淺藤 直人
- 同 杉山善之助
- 同 難波 良藏
- 同 長谷川 肇
- 同 清水 多榮
- 同 長岡 寛統
- 同 福富 正吉
- 同 黒金 厚美
- 同 小坂 二郎
- 同 九夜 邦則
- 同 山上 岩二
- 同 高橋 義隆
- 同 岸本 恒重
- 同 岡崎 勉
- 同 國澤友次郎
- 同 守屋松之助
- 同 星島隆兵衛
- 同 榮谷藤太郎
- 同 高田美代藏
- 同 中島 琢之
- 同 瀧橋 ミツ
- 同 小松 豊子

郡市支部常務委員

- 岡山市 支部長岡田友次郎 安藤 彌夫 渡邊 宗爾 尾谷半三郎 柳山 吳太 柳 久雄 倉敷市 支部長古澤野村 森田 向二 原 澄治 三宅敏太郎 小野 正典 内田 彌八 津山市 支部長小沼敏三郎 江原猪知郎 兒島 久富 林 豊治 杉山三三郎 後藤 啓男 玉野市 支部長國盛 碩備 大塚 彌吉 片岡軍太郎 守上 正男 藤原 定吉 池田 廉三 常園 朝藏 爲員 元由 竹内三郎治 田淵 淳 木村 謙平 小山 巖 武下 良策 木村 増夫 山本 良一 大岡 忠友 藤田 治郎 笠原 宇一 倉内 勝藏 道信 雅志 船曳 龜一 井上 輝海 小島 銀治 井上 觀瀾 黒田 照太 高田 輝夫 小枝 一雄

- 御津郡 柏山八郎治 河原 一雄 江田 節男 山本 徹雄 片山 正夫 三ノ上利雄 大森 團治 小林 定哉 後藤仲太郎 重谷 竹治 赤磐郡 十井 和清 加賀美 章 藤城 勇太 片山 敦公 行本 敏太 小坂 金吾 橋 誠一 成友 正明 青山 凌夫 和氣郡 高原 次郎 花岡 義定 神崎 徳 奥田 可一 影山 潔 今田 佐吉 小原 鶴二 藤田 好一 大塚 柳平 高山 好一 色久郡 横山善次郎 高祖 鶴雄 横山 甚吉 井上 清一 今田 力治 徳田 忠義 大重孝八郎 太美 定雄 小林 壽太 菅田良三郎 上道郡 岡崎 勉 十川重治郎 光岡五郎 吉田 茂 吉田 隆 石原三三郎 平松 和雄 那須 保雄

- 児島郡 大野 正夫 永山 久吉 小橋 廣備 尾崎 謙一 高橋下嶋太 高橋三三郎 依田 隆 小原 清志 都窪郡 正保千代藏 平野 茂武 神崎 松次 中野 鶴松 柳井三鶴男 内田 善介 陶浪 敬太 三宅平十郎 杉生 學藏 江口 武藏 津口郡 中家 一郎 田中 樹士 吉田 二月 西山 英一 藤原 慎一 佐藤 恒夫 坪田 旭一 佐野辰一郎 安藤 嘉助 守安 續四郎 小田郡 平井 貞五 西本 明 岡本治三郎 木村 仲記 山本 恒治 石井 登一郎 池野 博治 妹尾 宗一 小寺 次平 仁科 耕二 後月郡 山成 愛一 東森 嘉作 大塚 龍雄 佐能安太郎 藤井 琢平 早川 謙造 藤井 圓太郎 川井治郎市

- 吉備郡 加賀尾秀忠 片山 高志 長尾 俊彦 加藤 三郎 太田福三郎 高原 茂吉 藤井 剛治 片岡 里二 井頭 康男 守谷 孝一 神崎 肇 片山 一 上房郡 東 照平 永井恒三郎 柏木 貞一 西村 晴夫 加藤 義一 横山 正美 菅野 保男 仁熊助右衛門 横山 和雄 川上郡 泉 卯助 西 茂樹 渡邊 謙 中田三三郎 柳井金太郎 丸濱啓太郎 近藤 秀造 竹内 昭照 水野 寛 原田龍石衛門 阿哲郡 十屋 源市 田中孝三郎 石垣 直人 村上 龍雄 山下 宏一 宮脇 基 光田 歳高 山本 俊藏 原 杏平 羽根盛太郎 眞庭郡 上田 光治 松田 貞一 松田 潤一 藤川 忠義 原 應夫

- 東郷 義一 池田 廉三 橋本 國盛 常園 朝藏 若田 郡 田口 梁兵 爲員 元由 寺坂 宿 竹内三郎治 牧野 英一 田淵 淳 中塚 勇平 木村 謙平 澤田久太郎 小山 巖 勝田 郡 岸本 恒重 武下 良策 福田 勝弘 木村 増夫 岩原 謙信 山本 良一 定兼 孝之 大岡 忠友 新田 治郎 藤田 治郎 英田 郡 難波 剛一 笠原 宇一 有元 治郎 倉内 勝藏 渡邊 悦二 道信 雅志 谷口 二己 船曳 龜一 石黒 周藏 井上 輝海 久米 郡 池上 眞通 小島 銀治 村上 右造 井上 觀瀾 越尾 淺治 黒田 照太 片山 輝 高田 輝夫 廣成 賢治 小枝 一雄

銅像になる表貝師幸吉
云飛鳥の翼に眼を馳せた備前八濱の表貝師幸吉が、夕人間に飛べぬ舌はないと癡り性の發願道しく翼を作つて身體に縛りつけわが航空發達史の第一頁を飾つたが當時の人は皆は徒らに此の壮志を社人と

國勢調査と人口

人口問題の再検討を強調され人口局の新設を見てゐる昭和十五年十月一日を以て全國に實施された國勢調査の結果は非常な興味を以て見られたのであつた、前回の昭和十年十月一日の調査以來わが國は支那事變に遭遇し大陸への進出氣運は一方滿洲國の健全なる發展と之が助成の爲め同國への國民移動と相俟つて人口の移行に大きな役割を演じてゐる、而も戦時態勢の下に重點主義に依る産業の統制は之重點工業地方への人口吸収顯著なるものあり人口の激増にも拘らず地方により減少せるものも少

いふかたちである
民族自決が叫ばれ東亞共榮國の確立を期するには人口の増殖こそ喫緊事であつて國家的に見て甚だ喜ばしいことであり、之を過去の調査に見て昭和五年乃至昭和十年の間に四百八十萬四千餘人、大正十四年乃至昭和五年の間に四百七十一萬三千、大正九年乃至大正十四年の間に三百七十七萬三千餘人の増加に較べて必ずしも増加率の累進傾向とはいへないが而も大陸移動と睨み合せれば決して悲觀すべき數字ではない、その中に在りて岡山縣が稍々人口の減少を示してゐることは一考を要する

府縣	人口	順位
府縣	4,741,444	一
東京	4,171,444	二
大阪	3,751,444	三
北海道	3,351,444	四
北海	3,151,444	五
兵庫	2,951,444	六
愛知	2,751,444	七
福岡	2,551,444	八
神奈川	2,351,444	九
新潟	2,151,444	十
静岡	1,951,444	十一
廣島	1,751,444	十二

國勢調査

足尾米半島東佐船岩弘宇字沼松今大福奈郡市都防高浦鏡秋入創四	利道澤田取鶴賀橋國前島山津江治垣山良山川城府岡和子田子路市
〃	〃

鶴彦石三帶藤能川徳三津熊伊岡鎌桑釜新平諫豊瀬岸飯直米明若福	岡根巻篠廣澤代越山原山谷崎谷倉名石濱塚早中戸田塚方子石
〃	〃

高島枋高唐敦八福酒倉秋	田原木山津賀濱山田敷
〃	〃



新下八川山節上松玉池	宮松代内口厩田阪野田
〃	〃

昭和十五年十月二日午前零時を以て行はれたる國勢調査の結果によれば岡山縣の人口は百三十二萬九千三百五十八人(内男六五、一九七八、女六七、八、一六一)で、大正九年の第一回調査増加の一途を辿つて居たものが、この前回の昭和十年に比し三千二百八十九人の減少を示してゐる。此の減少の主因は事變關係による最近の出生減退と死亡増加に加ふるに、同時に國境線に副ふて他府縣或は大體方面に進出したものが多數に上つたほか、平和産業就中本縣の主眼

岡山縣の地位

首熟多丸阪館海	里海見龜田山南津本崎鶴尾
〃	〃

國勢調査

德香島石富宮和火青秋岩山愛三柄岐宮山群岡熊長千鹿崎茨福長京	島川根川山崎山分森田手形媛重木早城口馬山本備粟島玉城島野都
〃	〃

下函佐札靜仙吳長八川福廣神橫京名火東市	關館保槻岡重崎幡崎岡島戸濱都屋阪京名
〃	〃

全國各都市人口

川青宇甲西姫高室高松徳大富布長豊新岡小濱岐小尾堺金麗廣龍和	口森部府宮路知蘭松山島田山施岡播瀧山槽松早倉福澤島買本山
〃	〃

別那吹水宮長火清津山一高松八長火延盛日岡戸岡前旭宇若久千福	府霸田戸崎岡津水形宮崎本戸野分岡岡立崎船生橋川宮松米粟井
〃	〃

▼**漫遊「事業」**濟世事業援助と社會事業の實施
 ▼**馬屋上村共同濟世社** 御津郡馬屋上村【設立】大正七年四月【代表者】藤井靜一【事業】村民全部を社員とし妊産婦保護巡回産婆、家政整理、善後金積立、健康相談、永安家資金積立、教化講演會その他の事業を行ひその施設の完備を全體的に有名である
 ▼**津山市濟世會** 津山市社會課内【設立】昭和二年一月【代表者】小沼敏三郎【事業】濟世事業援助、社會事業の研究調査、常設託児所の經營其他
 ▼**財團法人高梁町濟世會** 上房郡高梁町【設立】大正八年一月、昭和三年一月法人許可【代表者】池上長右衛門【事業】生活困難者に金品給與、保健、救済、兒童保護、幼兒保育
 ▼**成羽町濟世會** 川上郡成羽町【設立】大正十二年三月【代表者】原田龍石【事業】救済、妊婦、兒童保護、保健救済、託児所、生業補助保險事業
 ▼**西山共濟會** 赤松郡西山村【設立】大正八年一月【代表者】島原勇太【事業】教化、保健、兒童保護、

▼**和氣町濟世會** 和氣郡和氣町【設立】昭和五年十月【代表者】北川田朗二【事業】居民救助、農業託児所、社會教化
 ▼**生窓町濟世報德會** 邑久郡生窓町【設立】大正七年十二月【代表者】高祖彌雄【事業】妊産婦保護、貧困者救済、講話會開催、其他
 ▼**財團法人西大寺濟世會** 上道郡西大寺町【設立】昭和八年五月【代表者】岡崎勉【事業】防貧救済、兒童保護、巡回産婆、廢病並救済地方改善其他
 ▼**日比濟世會** 玉野市日比【設立】昭和十年三月【代表者】宮原秀一【事業】貧民救助、託児所、人事相談其他
 ▼**玉島町濟世財團** 淺口郡玉島町【設立】昭和三年十一月【代表者】守安藤四郎【事業】居民救助、養老施設救済、地方改良其他
 ▼**安南町濟世會** 小田郡安南町【設立】大正十二年十二月【代表者】藤田義輔【事業】防貧救済、人事相談、兒童保護、救済其他
 ▼**富家村濟世會** 川上郡富家村【設立】昭和六年十二月【代表者】藤田二郎【事業】社會教化、無利無

康相談、母性乳幼先保護、經濟保護、經濟生活指導救助
 ▼**中分共濟社** 眞庭郡河内村【設立】大正十二年十二月【代表者】本山加元【事業】貧民救助、社會教化、自作農獎勵其他社會事業
 ○日本海濱救濟會岡山支部 (岡山縣總會計課内)
 支部長 橋本 光暉
 副支部長 津田 直久
 幹事、指導 津田 久治
 特別終身會員△通電會員△六、△特別會員△△通電會員△六、△財團法人報恩種善會【所在地】岡山市津島三三二二【代表者】田淵たつ【創立】大正元年九月【事業】養老事業【事業概要】收容定員四十名創立以來收容總數二百七十二名特色は家族制度
 ▼**岡山聖心養老會**【所在地】岡山市中町一八番地【代表者】曾長聖園テレンシヤ【目的】天主教の信仰に基き窮民の救済、防貧其他の事業を實施し社會教化を爲すを以て目的とし【事業】兒童保護、教化救済救済、其他【組織】購買組織
 ▼**設立**昭和六年九月
 ▼**友愛會**【所在地】岡山市北方六十九番地【代表者】岡長醫學部木下直

▼**倉敷市厚生館**【所在地】倉敷市向山一、七九四番地【代表者】社會課長高橋道雄【組織】倉敷市會【設立】昭和十年十一月一日【目的】救済法に依る救済施設にして老衰孤獨者を收容救済するものとす【事業】養老事業【收容人員】定員三百人
 ▼**津山報恩養老院**【所在地】津山町西寺町【代表者】津川學海【事業】養老事業【設立】昭和三年十月【收容人員】昭和十四年度廣人員五人延人員五人
 ▼**岡山市共同宿所**【所在地】岡山市上伊通町【設立】昭和十二年六月【代表者】武本宗爾【事業】宿務宿泊【組織】二、五區
 ▼**岡山市社會館**【所在地】岡山市野田【代表者】岡山市社會課内【事業】法律人事【組織】三區
 ▼**天臺養老院**無利無宿所【所在地】岡山市小橋町【創立】大正十四年十二月【代表者】天臺常興
 ▼**津山市養老院**宿務所【所在地】津山市西寺町町【創立】大正十

四〇

五年七月【代表者】瀬川學海
 ▼**石井記養老院**子ホーム【所在地】岡山市門田馬路【創立】昭和九年六月【代表者】林源十郎
 ▼**軍人遺族救済會** 十五年度軍援事業の一環として岡山市下右井及び津山市に軍人遺族救済會所を開設しミシン製織の講習を行った
 ▼**方面事業研究會** 八月二十二日より三日間津山市鶴山館において方面事業研究會を開催、方面事業補助事業、救済事業及び軍事援助事業につき研究を重ねた、参加者四十五名
 ▼**軍人遺族保育所** 養成所 財團法人岡山縣社會事業協會に於ては縣の委託により軍人遺族二十名を養成し昭和館に於て保嬰養成を七月二十五日より開始した
 ▼**合同新聞社會事業會** 合同新聞社會事業會は年末同情週間における催し、書畫展の收入を次の如く救済資金として寄贈した
 金百二十圓岡山山東警察署△金三十圓友梅園△金百三十圓岡山濟世協會△金六十圓岡山西警察署△金三十圓備前縣濟世會△金百二十圓九十圓岡山博愛會△

▼**國立瀨野所長養老會** (昭和十六年八月十五日現在) 岡山縣邑久郡瀨野村長島 (瀨野町明四) に在り敷地面積三五三、二八九坪、建物棟數三四棟(八、八七二坪一七二二現在收容定員一、四五〇名、收容現在員一、五七九名男一、一〇五名、女四七四名)にして瀨野所の救済及養老を目的とし附設事業として愛牛植樹所 (患者の診察及相談)、愛牛保育所 (瀨野所を父母に持つ瀨野所の保育) を經營す附設事業に財團法人長島愛牛園慰安會あり收容患者の慰安及び救済を目的とし娯樂機關設備及び諸演藝の開催、宗教の普及と學藝の奨励、農業其他の産業の經營、賣店の經營、十坪住宅の建設等を行ふ
 ▼**邑久光明園(國立)** 岡山縣邑久

瀨野村大字由明にあり【設立】明治四十二年四月大阪府西成郡川北村大字石屋の内二萬坪の土地を買収し外島と稱する大字を新設し名稱を外島養老院と定め患者を收容せるに、その後昭和九年九月二十一日關西大風水害に遭て、建物全、倒壊流失したるを以て、昭和十三年四月二十七日現在の地に復舊移轉せり、敷地面積九萬一千七百一坪、建物棟數一一七棟、收容定員二千名、現在收容人數九百九

十五日開設以來同十五年三月三十一日までで總數救済を遂げたる數左の通りである(救済を受けるものは所屬を別記、方面事業または瀨野所内に申出診療券の交付を受けて持参すればよい) 患者實人員△瀨野所人員△八
 ▼**岡山縣立早島光風園** 保健機關の建前から昭和十二年度に建設せるものにして結核療養所としての使命に即して近代の醫術の碎を集め、内外外觀の整備を期したるもの、瀨野所早島町地内野線驛よりは爪先上りにて約二坪の丘車上に位し敷地は廣袤五萬七千二百餘坪、建物棟數三棟及び延坪數二千六百餘坪、病室總數七十五室、外氣小屋の設備を合すれば病床數三百に達し、老松亭々松籬貴俗壁を拂ひ備雨の沃野を指呼し收め風光佳絶、廢病と慰安を兼ねたる天與の適地である、職員は園長瀨野野田天外醫局局長十數名に看護婦二十餘名、主事林浦隆外事務職員其他雇入等數十名を離し人的陣容も整へ國境外國に懸命の努力を拂つて居る
 ▼**日本赤十字社岡山支部病院** (岡山市内山下)

金百圓岡山縣社會事業協會
醫療施設
フルライツ吉田萬果莊
 備前岡山東中山下 電話二六四二三番

【博覧】本社の博愛慈善の趣旨(一)軍事關係(團體補助)(二)貧困患者を救済し且つ一般患者の治療を行ふ(三)慈善事業(四)貧困患者の救済(五)慈善事業の発展(六)慈善事業の普及(七)慈善事業の奨励(八)慈善事業の振興(九)慈善事業の発展(十)慈善事業の普及(十一)慈善事業の奨励(十二)慈善事業の振興

【患者の状況】患者は外來患者延人員増進(一)延人員増進(二)延人員増進

【創立】昭和十三年十二月二十二日
【施設】敷地面積六、七坪、建築費五、六千圓、建築費五、六千圓、建築費五、六千圓

和氣郡片上町 片上醫院
小田郡等箇町 等箇看護婦會
右の三箇町に於て縣下一般肺結核患者の救済委託救護をしてゐる

四二

【設立】大正十年【代表者】中村道平【事業】貧弱者施療救護、母性及兒童保護事業、その他

【倉敷】初診 五、七人、再診 三、五人、合計 八、二人

【岡山】昭和十五年診察數 七、八五、玉島 昭和十五年診察數 三、〇九

岡山縣協和會 協和事業の擴充強化を期するに當り從來朝鮮人を對象とした任意民間團體を解散して發展的解散せしめ新たに縣單位の指導機關として岡山縣協和會を創設し縣の事業と相俟つて國民協和の實現に努めてゐる

隣保事業

岡山博愛會の創立は明治二十四年にして本邦隣保事業の嚆矢である、現在では團體數十二に於てそのうち五は都市中心に於ては離農村を中心として設置せられその事業内容は各種講談、クラブ讀書會、研究會、健康相談、生活改善、自作農造成、貯蓄の奨励、共同作業、共同購入、副業の奨励などであつて

社會教化

【倉敷】初診 五、七人、再診 三、五人、合計 八、二人

【岡山】昭和十五年診察數 七、八五、玉島 昭和十五年診察數 三、〇九

岡山縣協和會 協和事業の擴充強化を期するに當り從來朝鮮人を對象とした任意民間團體を解散して發展的解散せしめ新たに縣單位の指導機關として岡山縣協和會を創設し縣の事業と相俟つて國民協和の實現に努めてゐる

いれも相當な成績を収めてゐる事業團體の種なるものは

- 昭和館【所在地】岡山市下石井七五番地【代表者】館長大森次郎
目的本館附近住民の教化生活の向上を圖り隣保相扶の實を擧ぐるを以て目的とす
岡山博愛會【所在地】岡山市花畑三七、三八番地【代表者】濱世顯

軍事扶助

- 岡山縣軍事援護聯絡委員會【所在地】岡山市中區三丁目
和十四年五月【委員長】濱世顯
會長高橋三郎【委員】三十一名
軍事援護に關し關係團體相互の聯絡を圖り軍事援護事業の適切圓滑なる遂行を期す
恩賜財團法人援護會岡山縣支部

盲啞啞者保護

岡山縣下における盲人はその數約

兒童保護

二千、養育者約十五百と計せられこれが保護施設としては岡山縣盲啞學校のほか岡山縣盲人協會、岡山縣聾啞協會があり何れも優秀なる成績を収めてゐる

後援團體

- 社會事業後援團體としては町村濟世會のほか左の二團體がある
岡山縣聯合會【所在地】岡山市古松岡山縣立醫院校内【代表者】藤原龍男【事業】盲人開眼檢診、授産(按摩)講習、人事相談、圖書刊行
岡山縣聾啞協會【所在地】岡山市古松岡山縣立醫院校内【代表者】高橋三郎【事業】職業指導、救恤、研究調査、敬申、慰安、學業奨勵等

司法保護

昭和十四年九月十三日司法保護事業法の施行するに至つて愈々國家事業として經營されることとなつた、岡山縣に於ては従來岡山縣司法保護聯合會の下に十七箇の加照司法保護團體あり收容、一時、觀察の各保護を取扱ひ來つたのであるが事業法の制定により先づ聯合會の改組を行ひ加照團體にも亦變動あり現在收容及一時保護を日

官報週寫眞週報 岡山官報販賣所 電話二八四〇番

十五名、經費五、五〇圓【制度】家族舎制にして現在七家族
岡山縣盲啞學校【所在地】岡山市古松【代表者】妹尾龍男【事業】盲啞教育【經費】三、六〇圓
財團法人備前養育會古松園【所在地】岡山市津島【代表者】國富友次郎【事業】育兒事業
聖心養子會【所在地】岡山市古之町【設立】昭和六年十二月【代表者】聖園テレシア【事業】要保護兒童收容保護、乳幼児保育

的とする司法保護團體、觀察保護を目的とする司法保護委員會は左の通りである
岡山縣聯合會【所在地】岡山市古松岡山縣立醫院校内【委員長】岡山市地方裁判所檢察局長【代表者】岡山市地方裁判所檢察正長合川肇
保護團體連絡統制機關
備前養育會古松園【事業所】岡山市古松【委員長】國富友次郎
山田東吉松【委員長】國富友次郎
製作自修會【事業所】津山市山下【委員長】藤田守成性

- 岡山縣弘德學園【事務所】岡山市網濱(少年保護收容所)【委員長】栗寺春隆
岡山昭徳會【恩賜財團】(恩賜財團のみなを對象とす)【事務所】岡山市濱【委員長】岡山地方裁判所檢察正長合川肇
一時保護團體
岡山山明徳會【事務所】岡山市小橋町國清寺内【委員長】華山海應
御津郡明徳會【事務所】岡山市御津各團體事務所内【委員長】藤井一
赤松郡明徳會【事務所】瀬戸町各團體事務所内【委員長】渡邊寛輔
和氣郡明徳會【事務所】片上町花藏院内【委員長】山岡俊雄
兒島郡明徳會【事務所】離崎村各團體事務所内【委員長】松岡實造
阿蘇郡明徳會【事務所】新見町各團體事務所内【委員長】(缺員)
觀察保護團體指導
連絡統制機關
岡山司法保護委員會【事務所】岡山市地方裁判所檢察局長合川肇
岡山市地方裁判所檢察正長合川肇
區司法保護委員會
岡山東區【管轄】岡山市内西川以南【事務所】岡山市山科町本願寺【委員長】山内未吉【司法保護

委員(元)五名
 ▲岡山西區(管轄岡山市内西川以西)【事務所】岡山市東土松、古松園内【事務委員】榎下時次郎【配屬司法保護委員】10名
 ▲津山區(管轄津山市及吉田郡一區)【事務所】山下目修會内【事務委員】河上進【配屬保護委員】10名
 ▲郡區(管轄倉敷市及都窪郡一區)【事務所】都窪郡津村【事務委員】山崎孝一【配屬司法保護委員】10名
 ▲和氣區(管轄和氣郡一區)【事務所】和氣郡正光院内【事務委員】岡部光昭【配屬司法保護委員】10名
 ▲赤磐區(管轄赤磐郡一區)【事務所】瀧澤村瀧澤寺内【事務委員】坂邊嘉明【配屬司法保護委員】10名
 ▲邑入區(管轄邑久郡二區)【事務所】鹿角町實光寺内【事務委員】最明快廣【配屬司法保護委員】10名
 ▲下道郡(管轄下道郡一區)【事務所】草山村豐源寺内【事務委員】岡山弘善【配屬司法保護委員】10名
 ▲兒島東區(管轄玉野市兒島東區)

郡村兒島西區(管轄兒島郡西部町村)【事務所】郡月所【事務委員】松井武平【配屬司法保護委員】10名
 ▲務所【事務所】備前郡備前町内【事務委員】松岡隆徳【配屬司法保護委員】10名
 ▲津口區(管轄津口郡一區)【事務所】玉島區裁判所検事局内【事務委員】三毛喜次郎【配屬司法保護委員】10名
 ▲小田區(管轄小田郡一區)【事務所】小田町多聞寺内【事務委員】橋本光福【配屬司法保護委員】10名
 ▲後月區(管轄後月郡一區)【事務所】西江原町正徳寺内【事務委員】喜本宗仁【配屬司法保護委員】10名
 ▲吉備區(管轄吉備郡一區)【事務所】所正石村報恩寺内【事務委員】石原徹也【配屬司法保護委員】10名
 ▲上房區(管轄上房郡一區)【事務所】高倉院裁判所検事局内【事務委員】中西英一【配屬司法保護委員】10名
 ▲川上區(管轄川上郡一區)【事務所】所成羽養院内【事務委員】丸瀨啓太郎【配屬司法保護委員】10名
 ▲阿蘇區(管轄阿蘇郡一區)【事務所】新江町各種團體事務所内【事務委員】宮本達【配屬司法保護委員】10名

▲廣瀬區(管轄廣瀬郡一區)【事務所】勝山町比佐寺内【事務委員】市本惠舟【配屬司法保護委員】10名
 ▲勝田區(管轄勝田郡一區)【事務所】勝田町正行寺内【事務委員】酒本直一【配屬司法保護委員】10名
 ▲英田區(管轄英田郡一區)【事務所】林野野原寺【事務委員】森澤肇【配屬司法保護委員】10名
 ▲久米區(管轄久米郡一區)【事務所】加美醫院内【事務委員】越尾俊行【配屬司法保護委員】10名
 右の外専ら思想犯保護を目的とする官廳として岡山保護観察所がある(岡山市内) 所長神山貴一 同廳は昭和十二年十一月より設けられたもので岡山、鳥取兩縣を管轄とするの目的を以て保護観察所たる岡山昭徳會は(前田)元昭徳會岡山支部であつたものが昭和十五年四月岡山昭徳會の組織を變更したものである。犯罪少年については昭和十六年岡山少年審判所が設置されたので其の管轄區域となり縣下で二十餘名の屬託少年保護司が委嘱された。

助成金交付 秘社社會事業團體助成會金として三葉社長岩崎小彌太、木村徳兵衛兩氏より各寄附あつたので左記團體へ交付された
 岡山博愛會、岡山縣社會事業協會、津山博愛會、悲願院、鳥取上村小兒保護會、岡山濟世協會、報徳博愛會、高梁町濟世會、岡山聖心愛子會、馬場上村共同濟世社、若竹の團、長島愛牛團體、安會、備前博愛會若松園、成羽町濟世會
 功勞者表彰 昭和十五年中秘社社會事業團體功勞者として岡山縣社會事業協會より綠色感狀(銅牌)岡山長平治氏に藍色感狀を授與された
 宮内省御下賜金傳達 岡山縣では皇紀二千六百一年の紀元節を記念するに當り縣會議事堂において御下賜金傳達の傳達並に其他の表彰式を履行した
 御下賜金 岡山博愛會、岡山縣社會事業協會、津山博愛會、悲願院、鳥取上村小兒保護會、岡山濟世協會、報徳博愛會、高梁町濟世會、岡山聖心愛子會、馬場上村共同濟世社、若竹の團、成羽町濟世會、長島愛牛團體、安

會、岡山博愛會、岡山盲人協會
 高松宮家慶生資金
 (現相澤福助氏) 照田 慶
 慶祝會財成 岡山聖心愛子會
 (三三團)財團法人報徳博愛會、財團法人鳥取上村小兒保護會、津山報徳養老院(三三團)
 岡山縣知事表彰 岡山聖心愛子會(金一封)岡山市街台三、赤磐郡西山村葛城勇太、小田郡等岡田廣井作五郎、赤磐郡岡田村角南衛
 愛育事業従事者表彰 岡山縣社會事業協會では左記五氏が花紙一冊を贈り褒奨した

縣社會事業協會其他各種團體では五月五日を特別記念行事日として各種運動を履行した
 救護施設
 日赤支部救護施設
 【目的】(一)軍事關係(傷病者等)
 (二)天災事變の救護を行ひ及び平時健康の増進、疾病の療養、苦痛の軽減を圖るものとす
 【救護員の養成】目下養成中の救護看護婦は合計八十名である、採用資格は高女卒業生、年齢十六歳以上二十五歳以下、家事係累なきもの、三箇年間社會を以て養成卒業後は十二箇年間召集に應ずる義務を負ふ
 【救護材料】の整備のため毎年莫大な額の經費を投じてやつてゐるが現在では殆ど完成してゐる
 【災害救護】天災地變其他不慮の災害に係る傷病者救護のため、自發的又は要求に依り時機を失せず之れが救護に當つてゐる
 【對空襲救護】目下これが計畫につきてはその材料、醫備、救護班の編成、補助業務員等につき着々準備中である
 【結核療養院救護事業】和氣郡片上

町、小田郡安國町の二箇所に委託醫務所を置き軍人關係を優先とし一般の救護に努めてゐる
 【夏季兒童保養所】小國民の健康増進のため、大正九年來毎夏海濱および林間において實施してゐる【急救箱設置】近時交通頻繁なる加超深度的なるため或は警防訓練等のため往々事故發生の虞れあるため萬一を慮り急救處置に必要なる醫品材料を完備せる急救箱を作製し管内福屋千地十箇所及縣下各市町村に夫々一箇又は二箇を設置して居る
 日赤特志看護婦人會支部
 (事務所)内山下日赤支部内(創立)明治二十二年四月(目的)(一)陸海軍病者勤務(二)痼疾其他患者用品の製作(三)患者の慰籍(四)日赤十字社の事業を補助(會員)八百六十人(役員)支會長福澤ミツ子、副支會長遠藤千代子、事務幹事松島嘉明
 青少年赤十字團 日本赤十字社岡山支部内にありて縣下團體數區三團員數男兵、三六、女兵、九三で常時救護訓練講習等を行ひ活動を續けてゐる、昭和十四年中主なる事業は左の通りである

外國友團との通信及手藝品の交換管内優良團の表彰、青少年赤十字團女子部に於ては班長引率のもとに昭和十二年十月二十六日より交代に各團體より十三名(毎日岡山陸軍病院へ勤務奉仕を始め今日に至つてゐる)
 【役員】支部長福澤光輝、副長遠藤直人(參與)金井元彦高橋三郎、鈴木健二、三木秋義(顧問)田中文雄(幹事)佐藤龍雄、橋本一、村山平明、柴田芳助、紙谷龍雄(藤田四郎(監事)國富友次郎、津田久治(面談員)尾崎邦藏、武藤孝太郎、荻野繁太郎、原治治、中山寛、高戸郁三、十居通憲、藤田治郎、藤田聯藏(並井泰治金光文孝、長島義兵衛、佐藤敬夫、高田爲美
 高松宮家慶生資金
 拜受者懇談會
 高松宮家有栖川宮朝志尊生資受會者社會事業懇談會は高松宮家顯証天台虎之助氏を迎へて昭和十六年九月八日午前十時三十分から後樂園活春軒に開催され福澤知事以下關係者が出席したが天台氏は岡山縣の社會事業は全盛一であるとの推賞した

健康増進運動實施 全国的に展開された健康増進運動の實施に關し岡山縣でも五月一日より十日に至る間市町村、各種團體の實施事項を定めて大々的に病魔の撲滅、體位の向上を期する所あつた
 兒童愛護運動實施 第十五回全國兒童愛護運動につき岡山縣並に

社會事業

美術學藝

文化・研究

大原農業研究所

【倉敷市住吉町】
電 倉敷三五

大原農業研究所は明治四十年倉敷市大原孫三郎氏が小作人保護の一施設として小作農米品質改良を目的として創設し、ついで明治四十二年大原家と小作者との間に「大原家奨農會」なる一種の小作會を創設して技術者を置き小作地の指導改善に努め、一方農業經濟の更生に努力を凝らした。其後大正三年七月に至り大原氏は土師百町歩及び建物寄附して別に財團法人大原奨農會を設け農業の研究及びその應用による一般農業の發達に資することとした。更に大正十一年七月土師百町歩を寄附したため現在二百町歩の土地と建物二十棟九百十二坪を有してゐる。昭和四年に

名稱を變更して今日の財團法人大原農業研究所に改めた。但し同研究所で使用してゐる試験地は一萬三百坪ばかりで、その他は何れも小作或は住宅借地となしその收入をもつて經費の大部分を支辨してゐる。専ら大正十五年五月二十二日に皇太子殿下の行啓を仰ぎ且つ高松宮殿下、閑院宮殿下、梨本宮殿下、賀陽宮殿下の御成りあらせられ敷地の光榮に浴してゐる。

【事業と施設】 研究所の目的とするところは農業に關する學術的研究であつて地方的事業、目前の利害を超越して農業に關する純然たる學術的研究に従事し極めて寛大且つ自由な立場から研究調査を進めてゐる。部門は種籾、農藝化學、昆蟲、植物病理の四つに分れ、幾多貴重な研究を世界の學界に發表してゐる。所屬の圖書館は農學、生物學、理化學に關する洋書、和書十萬冊を所蔵し、就中フエツフ

ア文庫は學界の珍とされてゐる。また瑞典に本部を有する萬國種子協會に加盟してゐる。

【役員】 (理事) 大原孫三郎、近藤萬太郎 (監事) 原清吉、武内潔藏 (評議員) 古澤野藏、柿原得一、大原五一、香川忠三、林源十郎、大杉繁、大原徳一郎、板野新夫、西門義一

【職員】 (所長) 農學博士近藤萬太郎 (研究員) 農學博士西門義一、本庄益雄、吉岡重市、高橋隆平、土屋孝、山口桂三郎外十三名

【最近一箇年の業績】 米の品種鑑識の研究第一報 (石炭燻フクシンによる玄米の品種鑑識) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (米のアルカリ檢定) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (米の沃度檢定) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (乾燥不良米に生石灰を添加して三ヶ年貯藏) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (乾燥不良米を火力乾燥したる後四ヶ年貯藏) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (効率△△の短期栽培としての晩化法) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十)

第二報貯玄米の紙袋貯藏△貯藏小麦の水分含量及び貯藏温度が小麦の品質に及ぼす影響第三報△同前第四報△小麦の検査等級と品質との關係に就て第一報△二ヶ年間貯藏したる小麦の品質に就て△林木種子の貯藏試験第一報△斗科種子△種子の一〇ヶ年貯藏の例示△石灰添加による貯藏△雜草種子の研究第六報第一報△同前第七報第一報△雜草種子の發芽の研究(一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (特に發芽に及ぼす光線及び變温の影響に就きて△同前二〇種子の發芽に及ぼすシヒタケ菌の生育と樹種との關係第一報△樹種の生育に於ける實験結果△マツタケ人工増殖に關する基礎的研究第一報マツタケ菌の純粋培養分離に就いて△ボケの葉を侵襲する菌類に關する簡報△桐葉を侵襲するアルタナリア菌類に就いて△植物病原菌の性に就いて早粟米の品質につきての研究第一報△胚の位置異常なる米に就て△岡山縣下小型石油發動機普及事情△稻及米に關する邦文主要文獻目録第五輯小麦及小麦粉に關する主要文獻目録第三輯△本邦に於ける植物病害に關

する文獻目録(一九二九)

岡山醫大臨海實驗所

【香川縣仲多度郡本島村】

昭和七年敷地一萬坪の地元寄附を得て香川縣仲多度郡本島村に設置したもので岡山醫科大學の原年動物研究の機關である。海拔二千五百メートル七千坪の平地に四十人収容する宿舎を設け宿舎の下方にライト式洋館半棟一棟を建て更に二間四方の養魚貯水場を設けてゐる。經費は年額約五百五十圓で毎年夏季海を對象とした實地研究が一、二致至によつて行はれてゐる。

岡山醫科大學

三朝温泉療養所

我國における温泉は多種多様の特性を有し夙に一般に利用されてゐるが疾病の治療又は保養に關する學理及其の應用の研究は諸外國における温泉の發達に比し甚しき遜色がある。岡山醫科大學では東洋一の稱ある三朝のラヂウム含有温泉を主とし更に泉質を異にする附近各温泉に對しても研究をなし

美術・學藝

傍ら患者を收容して各症状に適應せる物理療法を施すこととなり鳥取縣東伯郡三朝村大字山田字福呂に温泉療養所を設置し内科、外科(贈來は婦人科、皮膚科を併置する予定)を置き専門的療法を施してゐる。昭和十二年度に工を起し、十五年三月完成す。施設の概要は建物棟延坪數七百一十坪餘、單獨病舎及同専用浴室等を有し特殊患者並に保護者の利用を圖つてゐる。昭和十四年七月二十八日開所式を舉げた。尚ほ三朝温泉のラヂウムエマナチオン含量はイタリ、イスキヤ温泉に次ぎ世界第二位である所長は淺見誠博士が當つてゐる。

倉敷天文臺

【倉敷市住吉町】

倉敷天文臺は同市の素封家原清治氏が大正十五年創立したもので引續き同氏の獨力により經營されてゐる我が國唯一の民衆天文臺といふべく官公立天文臺の多くか一部學徒の専有に歸してゐるに反し本天文臺は一ヶ年六七千人にのぼる參觀者を迎へて天文の民衆化に努め一面専門の觀測研究によつて學



界に貢獻するところが少くない本天文臺の位置は東經八時五十五分五〇秒(一三三度四四分一四秒)北緯三四度三十分三秒にあり主機は口径三三二センチメートル射赤道鏡望遠鏡でスライディング式のドーム中に掲げられてゐる。その他に一〇種反射望遠鏡七種屈折望遠鏡が備付けられてゐる

【事業】 平日は變光星の眼視觀測月による恒星の攝像太陽黑點觀測等を行ひ又毎月第一、第三土曜日定期公開日として夕刻から天文講習會を催し天體觀望を行つてゐる

- 顧問 名譽會長 原 澄治
名譽理事 山本 一清
名譽理事 宮原 節
名譽理事 本田 實
名譽理事 木邊 成藏

東亞天文協會

【岡山支那田水野氏方
美作支那山本慶三氏方】

【會費】 東瀛雄、大原農業研究所、大島幹造、北原定吉、倉敷天文臺、笠原光隆、坂本堅四郎、白神正信、瀧岡謙江、友澤昇、中島節夫、中藤晴義、水瀧啓天、田井重二、早藤佐中、三宅文四、三好淳七郎、森本慶三、林克巳、藤原貞尚、矢吹一、井上早苗、荒木健兒、西山昌明、原澄治、瀧岡健治、本田實、宮原節、灰佐雅夫、木村倉太

岡山文化協會

【事務所】 岡山市小橋町、岡山圖書館(庫六〇四一)

【目的】 日本精神を闡明し國民的知能の發達及び文化を昂揚する目的をもつて昭和十五年四月創立されたもので、事業として(一)講演講習會の開催(二)會誌の發行(三)年報の編輯(四)未刊書の

【副刊】(五)岡山圖書館の圖書巡覽等
【役員】(會長)國富友次郎(副會長)柳久雄、榮谷藤十郎、權本重三郎(幹事)寺岡道三郎、內田重三郎、柳澤憲二、橋山吳太、田中弘道、則武重三郎、花房和太郎、小山美登四、難波鐵太郎、山上岩二(幹事)大曾矢太郎(常任幹事)吉岡三平(幹事)家本爲一、入江勝胤、八丹幸八、林靜太、西山富佐太、岡長平、渡邊龍也、桂文三郎、河本一夫、吉田德太郎、谷口久吉、高見章夫、玉井伊三郎、武藤正治、藏知矩、安田數太、松島定一、松田幸十郎、福重正吉、小林久麿、雄、宮岸如空、森紀久男、妹尾清一郎

【十五年度事業】(一)昭和十五年五月一日より毎週水曜、商業講座を始め三ヶ月修了、聽講者八十名(二)毎月十三日文化清談會開催時局經濟と國民の覺悟(谷口久吉氏)國體大包平に就いて(藏知矩氏)最近の歐洲情勢に就いて(石川重彦氏)思想戦について(横溝光輝氏)奢侈品製造販賣及暴利取締規則の解(柳久雄氏)埋れたる岡山の

【十五年度事業】(一)昭和十五年五月一日より毎週水曜、商業講座を始め三ヶ月修了、聽講者八十名(二)毎月十三日文化清談會開催時局經濟と國民の覺悟(谷口久吉氏)國體大包平に就いて(藏知矩氏)最近の歐洲情勢に就いて(石川重彦氏)思想戦について(横溝光輝氏)奢侈品製造販賣及暴利取締規則の解(柳久雄氏)埋れたる岡山の

【十五年度事業】(一)昭和十五年五月一日より毎週水曜、商業講座を始め三ヶ月修了、聽講者八十名(二)毎月十三日文化清談會開催時局經濟と國民の覺悟(谷口久吉氏)國體大包平に就いて(藏知矩氏)最近の歐洲情勢に就いて(石川重彦氏)思想戦について(横溝光輝氏)奢侈品製造販賣及暴利取締規則の解(柳久雄氏)埋れたる岡山の

岡山縣文化聯盟

【事務所】岡山縣立圖書館内
【創立】昭和十二年二月六日
【事業】(一)我國文化進歩に地方文化に關する諸般の調査、研究並にその宣傳(二)國民の自覺發達に關する施設並に運動(三)展覽會、講演會、講習會、研究會等の開催(四)印刷物の刊行出版(五)加盟團體間の聯繫を圖り又は關係方面と協力その事業の援助(六)その他必要なる事項
【役員】會長 橋本光輝 △副會長 原保雄 △理事 須藤忠志、武藤正治、妻井一郎、新井正市郎、千輪清海、吉田貞一、船山入郎治、牧野融、正宗敦夫、福田與市、杉山榮、宮岸與三 △顧問 松本學

岡山縣郷土史學會

【事務所】岡山中山下岡山縣立圖書館、電話二、〇七五
岡山縣關係の郷土を調査研究し文化の發展に資し併せて學界に寄與する目的のもとに昭和十二年四月創立されたもので、事業としては(一)實誌「郷土史學」の發行(二)郷土圖書の刊行(三)郷土に關する會合、展覽會、研究會、講演會の開催(四)その他必要と認むる事項の四つを擧げてゐる、會員は普通特別、名譽の三つで區別され普通會員の會費は年額一圓である
【役員】會長 松本學 △副會長 橋本重三郎、牧野融 △幹事 宮岸如空、岡長平、渡邊龍也、河本一夫、小林久麿、豊田隆、吉岡三平、桂文三郎、大熊立治、藤井敏(會員)百四十名
【十五年度事業】△出版、大日本教を宣傳したる黒住宗信、五人組の歴史△祭典、吉備先哲祭典△

岡山縣聖學會

【事務所】岡山縣圖書館内
【目的事業】國體の本義に立脚し和漢先哲の學を主とし廣く東洋の文化を究明し以て國民性の涵養に資し國民的自覺を促すを以て目的とし皇典漢籍の講演會講演會會研究會の開催會誌圖書の刊行國典漢籍の蒐集等を主たる事業としてゐる、現在會員約千八百名
【役員】總理 岡山縣知事 橋本光輝 會長 岡山縣學務部長 高橋一郎 副會長 前田光壽、原澄治

岡山博物館

【事務所】第六高等學校生物學教室
岡山地方の博物學の研究團體で多く中等學校の教員が會員となり隨時講演會を開くことにしてゐる
【十五年度事業】△出版、大日本教を宣傳したる黒住宗信、五人組の歴史△祭典、吉備先哲祭典△

岡山歴史地理學會

【事務所】岡山市内山下二八、桂又三郎氏方

郷土の史學地理學を研究しその知識を普及する團體で雜誌「岡山歴史地理」を發行する
【役員】顧問 正宗敦夫、永山則三郎、藏知矩、小西謙、藤井敏、委實 桂又三郎、岡長平、佐藤信明

吉備考古會

岡山市北方一五一

【事務所】水原岩太郎氏方
【事業】郷土を中心とした考古學の研究をなし、その知識の普及を圖るの目的で、會員の宅其他便宜の地で例會を開き持ち寄り資料によつて研究或は講演會を開き、又時々考古ハイキングを行つて實地の調査などを進めてゐる尚毎年四回研究雜誌を發行してゐる
【役員】名譽會長 黒止藤 △副會長 玉井伊三郎、大本琢壽 △顧問 藤井敏、島居龍藏、妹尾敏合、池田重藏、根岸博 △幹事 長水原岩太郎 △會計 藤井政吉 △幹事 片桐專壹(岡山) 吉田謙三(都建) 赤澤節雄(淺口) 岡山義人(岡山) 藤井九一(吉備) 齋藤三郎(上道) 世良幸之助(岡山) 倉敷支部幹事 佐々木元一、西大寺支部幹事 田隆太郎、邑久支部幹事 長瀬

大阪支部幹事 尾崎雅夫、會員(岡山) 片山敬人、高原正太郎、植崎宗實、成木正志、佐藤力男、森相、高田馬治、尾崎俊藏、中川彌雄、大本琢壽、吉崎三郎、村松龍男、石井潔、沼本鹿太郎、矢吹金三郎、藤原安雄、國府島爾(倉敷) 福沢永馬、流尾益一(御津) 森本正夫、中山晋次(和氣) 山本豊太、小橋源平(赤松) 岡清一郎(邑久) 西崎武夫、一、岡崎正夫、中島東美、刈屋榮吉、長瀬彌(支部幹事) 時實敏水、赤松小太治、時實有民、大美淳(上道) 梶坂一雄、池木正衛、青江文治、松島毅美夫、奥田隆太郎、(兒島) 北島謙三、片山彌高本恭夫、河田讓二、北村増隆(都建) 巨坂孝太郎、安原秀樹、神崎金吾、吉田謙三、中村敏、土倉唯次、正保千代藏、(淺口) 大橋久吉、山本淨有、三宅捐介、實谷唯男(吉備) 難波伊藤太(真庭) 内田登次、山崎信助(吉田) 中島政雄(津山) 市島(市助) 御船泰平(上房) 莊智心、勝田(山本) 孝雄(久米) 松岡繁雄、八幡三郎(岡山) 飯田猪久三、堀川幸次郎、若林喬、梶原淳太郎、高橋

展覽會、吉備先哲書畫展 △講演會 白柳泰湖氏、黒住教長を講師として △其他座談會、役員會毎月開催

を聞く

本會は教育者、實業家其他地理學に興味を有し又は地理學を研究せんとする人々の會合であるから何人でも入會を勧奨してゐる會費は年費圓であります
【幹事】浦上宗簡、坂上長十郎、仲原龍次郎(會員)六十五名

福地化石保存會

【事務所】川上郡落合國民學校福地校舎
【事業】川上郡落合村福地に産する地質學上有名なる化石を保存するため保存會を設け保存會の承認を経て入山採取することが出来、近時學界はもとより各方面より研究資料に現地視察並採取の希望者多く本化石の學界に貢獻せんと欲からず
【役員】(會長)井村進(副會長)松平次郎、信原修一(常務理事)平松繁男(顧問)原田龍右エ門外十四名

岡山博物趣味の會

【事務所】岡山市内山下二〇、佐藤清明氏方

【事業】博物館趣味の普及を圖る目的で採集會、見學會、座談會講演會、研究會等を行ひ毎年一回博物館趣味の展覽會を開く

【相談役】井上清一、武田柱太郎、坪井近三、中野實、中野孝之介、日置茂治

【世話役】仙田正太、加藤豊、妹尾彦三郎、吉岡義氏、藤本辰三、那須煥、平井通博、備見榮治、黒田嘉男、富山俊夫、佐藤清明

リムルス學會

【事務所】岡山市内山下一〇、佐藤清明氏方

【役員】幹事佐藤清明
【事業】動植物を中心とする博物館研究團體で、雑誌「リムルス」を不定期に刊行、なほ臨時にパンフレットを發行し各地の博物館と交歓して居る

史應神山保勝會

【事務所】小田郡等岡町大磯區二六五番地

【事業】應神天皇の史蹟顯彰と歴史公園、ハイキングコースの施設
【役員】會長服部千秋、副會長小林一郎、片山啓治、藤岡鶴田義

輔、津田明導、高橋義惠、小寺治平、廣井作五郎、關藤謙治、立神清典、外五名、理事岡本浩三郎外十三名

古事を聴くの會

【事務所】岡山市門田五九〇、沼本清方

【世話人】住田燭、清水武次郎、牧野融、逢澤寛、日笠寅太、沼本清

備中高島籬神會

【事務所】本部小田郡等岡町服部千秋氏方、支部小田郡高島岡田信太郎氏方、等岡港出張所大西廻漕店

【事業】神武天皇御神祭の天神饗(神饗)の参拜並に御遺跡の巡拝案内
【役員】會長服部千秋、副會長高田利勝治、常任顧問立神勝彦、河田信太郎

岡山萬葉學會

【事務所】岡山市内山下二八、桂又三郎氏方

時々例會を開いて萬葉の講義を行ひ、なほ萬葉集の出版をなす

【講師】正宗敦夫(役員)淺羽春之、赤澤乾一、桂又三郎

吉備文書研究會

【事務所】岡山市上伊福三三三、吉岡三平氏方

郷土關係圖書を講義學上より研究する目的で機關誌發行、研究會開催郷土關係未刊圖書の發刊、其他圖書の研究に努めて居る

【役員】(顧問)正宗敦夫、武藤止治、國富友次郎、河本乙五郎、藏知矩(理事)小林久徳雄、岡長平、河本一夫、吉岡三平(常任)

津高郷々土研究會

【事務所】御津郡横井國民學校内津高郷々土の研究を目的として實地の調査及研究會の開催、調査研究發表並に調査書の作製等をなす

【役員】中山爾雄、河本一夫、吉井芳太郎、富山田徳雄、大森毅西福軍太、西崎健太、三宅郁太郎
【十六年度事業】呼法集第二巻及第六巻の發行、横井村誌第十輯之中第四輯、教育、宗廟第五輯史蹟を發行實地調査五回、研究會毎月一回開催す

備前燒研究會

【事務所】岡山市内山下二八、備前燒の調査研究及びこれが普及を目的とし毎月一回機關誌「備前燒」を發行す

【役員】(顧問)正宗敦夫、多田利吉(主幹)桂又三郎

倉敷文化聯盟

【事務所】倉敷市役所内 電二

【創立】昭和十六年四月
國府國家體制に因應し地方に於る新國民文化の創造育成を目的として結成されたもので、この種の事業目的を有する文化團體としては岡山縣下最初のものである。事業は展覽會、講演會、映画演劇の會出版その他各種の研究調査等に互つてをり、聯盟内に美術、音楽、文學、科學、教育、思想、映画演劇、茶華道、出版の九部門を置き理事制により統制されて居る。創立當初より著々事業を進め、大政翼賛會文化部の地方連絡機關となつた

【役員】會長原清治、副會長赤木元藏、金子藤一郎(常任理事)大岡龍三郎、嚴津政右衛門、岩崎平市、脇本興、多賀安郎、土屋隆、山本幸雄、三好喜喜造、水斐民

東山吟社

【事務所】岡山市四新町六番地三野野重氏方

大正十二年未創始の三野野重氏を主幹とする片山福水、大原桂雨、井上卯山、藤田金泉、都築謙海、笠井可廣、上藤龍山、三枝東田、田淵水石、吉行喜舟、吉田照彦、朝川玄堂、三宅白峰、櫻岡春潮、岡村鶴谷、直嶋春山、犬飼臥石、藤本歌堂、長谷川剛石、万波白雲、長山竹蓮、且三橋、植田秋村、宮島謙軒、藤原友右、宮島東洞、杉原直堂、外六十餘名の漢詩研究會で毎週二回漢詩及び漢詩の講義をなし春秋兩會漢詩の大會を開き斯道の發展を策し極力左記に吟社を組織し其の擴張に力をいたす

○双川吟社 和氣郡和氣町
○天山吟社 赤磐郡瀬戸町沖

岡山縣郷土館

(岡山市石關町)

岡山縣は文化早くより開け遺蹟、遺品の今日に傳はるもの夥くない天念記念物に於ても豊富である、これらの資料に依つて本縣の古代文化を知り郷土愛重の念を致から

鐵道省 指定店
日本通運保證加盟店

岡山合同運送株式會社

社長 野呂光造
専務 片山完一
代表電話 六六二番

館日數 廿日、一日平均入場者 六人

美術

事變下と雖も美術界、殊に繪畫、書道等は舊も衰退の傾向を示さぬのみか寧ろ感奮に協力しつゝ盛んなる進出振りを示して居る、昭和十五年秋には文展を紀元二千六百

財團大原美術館

(倉敷市新川町) 電 倉敷五

新設館の外廊を植栽する中にギリシヤ風の典雅な建築を見せて居る、倉敷市の篆刻家大原孫三郎氏

の創立にかゝり、昭和五年十一月五日開館す、美術の研究發達に資するため大原孫三郎氏の依頼により故京島虎次郎畫伯が蒐集の勞をとれる泰西繪畫、埃及古美術品、外邦古陶器等と同畫伯の遺作並にその遺品等を保管陳列して公開昭和十一年一月には泰西繪畫の一部を陳列替えし、ゴッホ作「アルプスの道」等重寶作品をも陳列した。昭和五年十一月には本院宮殿下、同じく朝香宮殿下、李龍公殿下の御成りあり、其後、高松宮殿下、同妃殿下、東久通宮殿下、梨本宮殿下、寶篋宮殿下等の御成りありたるのみならず、その他朝野の名士、一般美術愛好家の來觀するもの相ついでなる。同美術館は初め大原氏の個人經營であつたが昭和十年三月十六日大原孫三郎、大原總一郎、兒島城一郎三氏の寄附行爲により財團法人となつた。附行爲により財團法人となつた。昭和十四年一月より故國合國四郎畫伯の遺作十餘點を陳列し同畫伯の記念室を作つた。蓋し同畫伯は本縣出身洋畫家としてその畫業顯著なるのみならず、兼て本館設立者大原孫三郎氏及び故京島畫伯と特に親交ありしに由る。

【過去一年間の入場者其他】昭和十五年六月から十六年五月までの入館人員は普通五千六百八十七人、學生二千五百六十二人、學生團體二千六百四十一人計九千九百九十六人であつた。

岡山洋畫展覽會

【役員】理事大原總一郎、林桂二郎、武内瀧真(館長)△監事原澄治、林源十郎△評議員若石名

授賞者 知事賞 妹尾 壽治 市長賞 武内 三郎 新聞社賞 青木 正春 洋畫展覽 岩下英子、林幸彦、兒子女義、田中太、三宅章、伊木市平、池上愛子、田中太、林幸彦、妹尾壽、太田啓介、梶田忠篤、香本虎雄

【會員】岡山・石原義武(文展)、東京・池上浩文(文展、光風)、兵庫・原田直廣(二科)、東京・大森陶生、上海・小川七三三、鎌倉・大橋康邦、岡山・加藤壽夫、東京・片岡銀藏(文展)、倉敷・河原修平(文展、太平洋)、大阪・河井達海(文展、東光)、岡山・吉富朝次郎、岡山・吉田寛(文展、光風)、吉備・田中若石、久米・田中孝夫、東京・田中壽太郎、兵庫・竹内三郎(文展)、岡山・高原政孝(大欄)、出征・高谷秀次郎(文帝)、東京・高野三三男(二科)、東京・角田義(二科)、同田武昭(文展)、同中山(獨立)、同中西次郎(文展)、岡山・中田政(春風)、同難波金之助、東京・村尾榮(旺

岡山洋畫研究會

【事務所】岡山市瀬邊桑畑 岡山洋畫研究會は大正二年故京島虎次郎、吉田包兩氏が主唱者となつて組織したもので最初は縣下在住の洋畫家を會員とし月例研究會を開いてゐたが大正十四年初めて公開の展覽會を開いて會員の作品を發表した第十六回展より従来の岡山洋畫展は之れをその名稱に於て他に獨立させ同會としては自由なる研究作品のみの展覧を毎年秋期開くこととなつた、なほ毎月一回定期研究會を開いて會員の作品互評を行ひ春秋二季寫生旅行會を行つてゐる、一方會員は漸次縣外在住の岡山縣出身洋畫家を加へて大を成し郷土岡山に於ける唯一の研究團體たる面目を保持する

京都烏城會

京都烏城會は京都に在住する岡山縣出身の美術家をもつて結成した有力な團體で池田龜太郎、稻葉春生兩氏が主唱して昭和二年一月に創立した、爾來京都と岡山とで會員の作品展覽會を開くこと數回に及び、殊に郷土訪問展によつて岡山の畫壇を刺激發達するところ少なく、又會員の團體もしばしば郷土で開かれ相當な收穫を齎してゐる、最近はこの事業中研究部の新設によつて若い作家を中心とした研究機關の充實が計畫され毎月十五日洛西仙壽院に部員の作品持寄研究會を開いてゐる

カモ井の 八イトリ紙 専売特許二度使へる! 推産 茂國

- 沼本 正男 岡 金吾 加藤 壽夫 龜山 泉平 片山 浩爾 吉田 包 吉富朝次郎 吉富 繁郎 吉田 豊 田代 文雄 高原 政孝 高木 助 難波金之助 難波 正忠 野平 上 久山 章 山羽 久 山形 光壽 山崎 孝行 山口 健一

木曜會

【事務所】岡山市小橋町七八、吉田包氏方 洋畫家吉田包氏が師事する女流の洋畫團體で會員は現在二十名ある毎週一回木曜日にデッサン及び油繪の研究と練習を行つてゐる、大正十二年以降二回展覽會を開催其後公開展を行はなかつたが昭和十年會員展を復活し爾來毎年秋季に岡山市で展覽會を開催してゐる同春季寫生展覽會も行つてゐる

一三四 小林 華徑(日) 上京區柳馬場竹
 尾町下ル
 柴原 登祥(日) 左京區禰寺下
 河原町二六ノ一
 東原 方徳(日) 下鴨出雲路橋東
 諸南入
 三宅 渡(日) 右京區嵯峨野町
 分町三三
 藤田 隆(日) 右京區大森森ヶ
 西町六
 關谷 木(日) 東京區谷口園町
 一
 沼野 匡彦(日) 左京區關ヶ谷樓
 谷町四二西村方
 西田和郎(日) 右京區花園宮ノ
 上町四〇
 笹山正二郎(日) 右京區千本野瀬
 王子町二五半方
 藤島 敏之(日) 右京區龍安寺齋
 宮町藤田方 園名中
 關谷 大(日) 上京區平野馬場
 町七二
 木村 丈夫 上京區平野下町七
 七
 寺本彌太郎(洋) 東山縣二條下ル
 稻葉 登生(日) 右京區龍安寺衣
 笠下町三五
 岡本 東隆(日) 上京區相國寺東

門前町六三七
 中原 豐(日) 左京區關ヶ谷樓
 谷町
 秋山 利彦(日) 右京區福王寺
 丸瀬 大橋(日) 右京區妙心寺北
 門東
 森安 石(日) 岡山市在住

虹人社

【事務所】京都市左京區三田近衛
 町三三
 日田 英二氏方
 鳥城會の分身にして京都繪畫專門
 學校出身者及び在學中の縣出身者
 を中心として眞摯なる研究的態度
 と興趣の下に昭和十三年五月設立
 されたもので毎月一回づつ同人各
 自宅に作品持ち寄り若くは繪のあ
 る研究会開催又寫生會見學等も隨
 時決行して今日に至る
 其の成果は昭和十四年十二月郷土
 天龍閣に於て第一回展を開催し、
 翌十五年十一月合同新聞社後援の
 下にて合同新聞會館に於て第二回展
 を開催す
 【同人】(イロハ順)
 日田英二 京都市左京區三田近衛
 町三三
 友野良一 京都市上京區日蓮通下
 長者町西段二町

沼野匡志 京都市左京區北白川久
 保田町三五 中川方
 金島 隆 京都市左京區下鴨梅ノ
 木町一中央館三田方
 松岡千秋 京都市左京區北白川廿
 四町二四(入會中)
 秋山利彦 京都市左京區千本野瀬
 王寺町洪水方

關西美術協會

【事務所】岡山市富田町 高原棟
 孫氏方
 關西美術協會は明治四十三年四月
 創立された岡山地方で最も歴史の
 古い美術團體で、洋畫、彫刻の
 三部が設けられ、毎年一回岡山市
 内展覽會を開催し又時々講演會を
 主催してゐる。岡山縣下の主たる
 美術家が所屬し、郷土の美術上進
 の發達に貢献してゐる
 會長 岡富友次郎
 副會長 早崎 十倉光三郎
 【幹事】吉田 昶 矢部 樺堂
 高原 棟梁 森安 石像
 守屋 節藏
 【會員】井上 仰山 井上 齊仙
 渡多野藤雄 渡多野謙吉
 料治 十洲 岡 若陵
 太田 千瀬 大塚 殷輝
 大西 太白 脇山 傑榮

臨本 九年 河野善治郎
 河本 香谷 神崎 軒水
 吉田 包 吉富朝信郎
 高塚 松室 高木 翠軒
 田代 文雄 津田 自
 津島 藤野 中川 竹仙
 武藏 白鶴 野上 美齋
 久城 白蘭 草野 晋江
 矢部 樺堂 山崎 昭洋
 津野 芳那 有亮 吳洲
 佐瀬 豊堂 笹井 二洲
 木口 九輝 三宅 麟
 三宅 柏陵 三宅 且兼
 三宅 武輝 高原 樺堂
 人見 壽太 森安 石像
 守安 一郎 守屋 節藏
 森 六峰 妹尾 雲若
 砂田 正二 臨本 龍代
 南畫鑑賞會岡山支部
 【事務所】岡山市富田町 高原棟
 孫氏方
 南畫鑑賞會岡山支部は昭和七年六
 月岡山地方の同好有志によつて組
 織されたもので、時々展覽會、講
 演會或は技術講習會等を開催して
 南畫の普及と趣味の向上に努めて
 ゐる
 會長 岡富友次郎

保證
 責任
 岡山縣信用販賣組合聯合會

岡山市上石井二〇七
 電話代表六六九一番

(幹事)

栗井 松丘
關野 禮堂 木口 九峰
宮原 樸溪

新日本美術會

【事務所】岡山市中町四四、電
四二八八

金剛莊主金澤源永氏が中心となつて設立し有識階級を組織した美術團體で毎年春秋二回岡山市に於て展覽會を開催し、郷土の美術發展に貢献してあり

【役員】會長橋本富三郎△顧問宇垣一成、大原孫三郎、池上長右衛門、原澄治、西原金藏、星島義兵衛、土倉光三郎、時實秋雄、小川郷太郎、柏山入郎治、吉井勇、田村於菟、土島源市、津田誠次、國富友次郎、榮谷藤十郎、楠木方啓、水野賢吉、杉山岩三郎△名譽會員石井相亭、池田通那石原義武、入澤新江、伊藤小坡、腰井如眞、波多野華洋、西山翠嶺、堂本印家、小野竹齋、太田喜一郎、大原祥雨、大久保作次郎、和田英作、和田三造、片岡銀藏、川合玉堂、川村曼舟、金島桂華、吉田包、高橋秋華、田邊圭、津田白印、中村不折

岡山美術工藝協會

【事務所】岡山市橋屋町八五、佐
官研齋氏方

彫刻、漆技、木竹工の美術工藝家をもつて組織してゐる

【役員】會長林泰八△常任幹事佐佐研齋、役員東峯、太田芝山

黃薇書道會

【本部】岡山縣師範學校内

【事務所】岡山縣第二岡山中學校岡山縣下の教育關係者を以て組織し書道研究の中心機關として活躍してゐる、創立は明治四十三年

【役員】會長大原祥雨、理事中島茅海、森合金泉、三浦田堂、大館桂堂、河井青楊、室山林堂、久戸潤春洋、渡邊清園、竹原瀧水、片岡竹窓

泰東書道院支部

【事務所】岡山市岩田町一六、入
澤新江氏方

書道の振興によつて日蘭交の親善を圖り大に東洋精神の發揚に努力すべく結成、昭和十三年六月十八日午後二時より岡山市後樂園に岡山支部發會式を舉行し爾後毎年展覽會を開催す

中山嶽、長尾雨山、上村松園、上村松葉、桑原隆一、矢野和道、人、松岡壽、松原三五郎、松林桂月、正室得三郎、築本一洋、藤田嗣治、藤原龍門、藤島武三、小宮繁、小早川篤四郎、小早川秋聲、小林喜一郎、寺松國太郎、荒木十畝、赤松麟作、赤松雲龍、柳原香山、佐藤一章、菊池翠月、北澤藏、柚木久太、岡本金一郎、南藤造、平橋田中、東原方傳、人見少華、森安石象△理事藤津政右衛門、吉田包、栗井一郎、矢野樸堂、宮原樸溪△常任幹事金澤源永△會員二百餘名

有香社

【事務所】岡山市岩田町一六入澤
華陸方

有香社は岡山市津島の南書家波多野華陸女史を中心とした南畫の團體で社中には縣下知名の士が多く且つ女流會員の多いのも特色である、毎年春季に岡山市で社中の公開展を行つてゐるが、會員中には日本美術協會の幹部や入賞入選作家も多い

【會員】伊原木花琴、入澤 華陸

原 華橋、岡崎 華陽、岡岡 花陵、三木 森尊、岡本 隆雲、宗田 翠堂、武藤 福華、神谷 牧堂、坪井 茂文、星島 花江、其他十數名

無聲會

淺口郡玉島の南書家柚木玉郎氏を中心とし南畫研究をなした傍ら文雅に關する研究にも努めてゐる同地方風流人士の團體である

【會員】柚木玉郎、藤田嗣清、二宮悟堂、中塚正清、大野江東、住友玉溪、仁科杏齋、高越杏村、澤田江雲、河合操城、龜山柳東、牧玉洲、西山松軒、渡邊三生、佐藤杏園、江木卓堂、渡邊吾生、山本屋繁、岡本湖山、巽樂堂玉輝

桃邨風光會

【所在地】岡山縣小田郡新山村

【創立】昭和七年四月
【組織】桃の花咲く新山には村内に新ける書、畫、詩文の同好者を以て風文會を組織し毎月一回團體聚會に會合し詩畫書の博覧研究合作批評鑑賞をなし或は作品展覽會並に郷土名士の遺墨展等を催

【役員】支部長 柚木 玉郎
副支部長 入澤 新江
顧問 守原松之助
時實秋雄、星島義兵衛、波多野華陸△評議員木畑三郎、高城最太郎、大野友松、田中貞夫、松岡謙介、松坂相信、關野庫太、吉田貞一、松村見二、渡邊春之△理事山崎孝行、渡邊好男、立石柳次郎、竹原武夫、三浦末吉、その他會員百名

岡山市縣廣坂 東京商業興信所岡山支所
結婚信用調査 岡山興信所
電話四三二八七 所長佐藤力男

中央刀劍會

岡山支部

【事務所】岡山市下之町、小林
次氏方

岡山縣在住の支部會員を以て組織したるもので昭和十一年十二月兼秋會支部會派して刀劍團體となつた、又大正十五年には本部の認定を得て一躍權威ある刀劍團體とな

つた、同支部は刀劍並に附屬品の研究と保存及び愛刀觀念を地方に普及し一面本部に對して會員の便宜を圖るのが目的で毎月第二十日に鑑定研究會を開き、又年一回總會を開き本部から要員を招聘して、鑑定或は有益なる講話を催し當日は刀劍に關する相談に應じてゐる

支部長 林 長倫
代表幹事 小林 櫻次

【庶務幹事】杉野一太、堀止二郎
【會計幹事】上原次郎、岡本會我太郎
【幹事】田中繁三郎、難波民之助、伊原木晋一
【評議員】尾崎定、水口照夫、水谷清三郎、進藤忠義
【顧問】國富友次郎、岡崎謙、尾坂義博、深澤隆義、鳥越一太郎
【會員】森川小八郎、枝廣善夫、

して地方文化に貢献す
【會員】高木栗軒、小藪白江、佐藤白華、木山北邨、津島繁雲、森山繁石、木山青堂
【顧問】津田白印、栗井一洲、高山樗牛、山本竹韻

岡山縣工藝協會

【事務所】岡山市南方、工業試験場内

【顧問】金島茂、浦上時次郎、林泰八、吉田包
【役員】會長縣經濟部長三木秋義△副會長縣西工課長寺本敦△常任理事縣工業試験場長田中六郎△理事西工課神崎榮一郎、秋山喬、太田尚簡、縣西工課勸業長守屋福市、縣工業試験場長井基四郎、高木敏太郎、田代忠、門倉清一△書記本重正岡堀川健一△評議員江一郎治、福田耕一、小池寅次郎、柴田實則、丸山久八、岡本謙一、金島石、渡邊一雄、田中甲日庵、小野廣石、渡邊一雄、田中甲日庵、中川竹仙、佐官研齋、木口九峯、島本松明、後藤喜美榮、山本信太、木村實一、納所浩、神崎照治、大野喜三郎、郷原隆義組合、木村兵次

文藝

歌壇

縣下の短歌研究團體とその主な所屬會員は左の如くである。
あさひこ岡山支社(岡山市兎島町一七、山崎方) 山崎二郎、山崎千代子、武川鶴、西方一則、泉喜久枝
岡山アララギ會(岡山市北方湯淺町) 杉崎太郎、近藤敏、末富九州男、長崎津矢子、杉山富美子
岡山青垣會(兒島郡山田村後原伊東第天方) 紺原麟作、大野定、鳴坂政、植田秀作、稻毛健三
國民文學岡山支部(岡山市中出石町一四八、生咲方) 生咲義郎、川野弘之、三戸康實、大西壽、黒江直志

水嶋岡山支社(岡山市山田屋ヶ
兵一六、藤原方)津山支社(津
山市北町、野村方)藤原義太、野
村元六、井上喜下、藤原隆、竹内
久雄

蒲岡岡山支社(下道郡藤多村藤
原、古家野方)古家時雄太郎、松
野友治、喜多行儀、守時高樹、前
原みよ子

多岡岡山支社(御津郡一宮村、
小林方)小林貞男、島崎英彦、萬
岡史郎、長安隆

他に(岡山市藤井藩町、島村
ひろ子)短歌人(岡山市北方中井、
片山有喜、黒田朋美)晚鐘(後口郡
六條院町、秋田秋良)あり、また
短歌詩人(下道郡藤多村藤田)さわ
らび(久米郡西川村通合、三戸康)
蒲岡岡山支社(岡山市北方中井、片
山有喜)等がそれらに發行されて
ゐる。

俳壇

昭和十六年における岡山縣俳壇は
さしたる活動を見せてゐない。
花 廿二日ゆく春句會を發行
所へ歸へ、定額二千五百、發行所

岡山市東中山山下四一丈氏方、關の
花發行所(電話二〇三三)

白道 石橋翁台日香古、長尾輝
水氏その他の人々により毎月例會
を開き研究に餘念ない、發行所岡
山市上伊福三七〇長尾氏方、岡山
石橋俳句會(電話六、五一六)

さきり 平松指大氏主宰、毎月
例會、吟行を催す、定額二千、發
行所小田郡等陶町、狹霧會

山彦 月次集として藤岡、山梨
縣の俳誌諸世に倚り富田兼々氏お
よび西村兼々氏の指導を受く、發
行所津山市大京町一七竹久岡町氏
方山陽吟社(電話津山二九三)

岡山ホトトギス會 時々大阪上
り山茶花同人等を招き句會、吟行
を催し研究を怠らない、又在岡山
連中により他に新俳壇を組織して
ゐる事務所岡山市内山下三〇ノ八
笠井藤彩氏方(電話二六九〇)

瀧口俳句會 明治の末期河東碧
梧陽氏新俳句主唱當時主島に
て創立、大正初年中途一變藤比玉
島在郷の頃新俳壇の中樞をな
し全盛を極む、事務所後口郡龍方
町長川寺吉川規道氏方
東井俳句會 吉田寸草、笠井緒
乙、東馬野氏その他の若き人々に

より毎月例會を開き研究、會費を
發行してゐる會費十錢、岡山市藤
井八六五兒童藝秀方、岡山東炎俳
句會

白萩句會 片平天城、大月秀雨
氏その他の人々により毎月例會を
開き研究を續けてゐる、岡山市内
山下七七、片山天城氏方

松籟句會 飯橋軍人岡山廣齋所
に歸業中の勇士により昭和十五年
八月組織され毎月一回例會を開き
西村兼々氏の指導を受け松籟を發
行してゐる

香藤俳諧略史 霜永年間より慶
應に至る吉備俳壇の動きを略叙し
たもので七月岡山縣藤千史學會報
に掲載頒布された

詩壇

大東亞英學園の確立に向つて、國
歩は堂々と進められてゐる。應酬
體でない國情體の只中で、我輩
は儼然として不動である。征馬大
陸に對してより既に五年、われら
大和民族の正義の旗は、聖戰の目
的を達するために、陸に海に、はた
めき進む。一國の文藝もとより
國家とともに發展し、飛躍する。

如白衣」等あり、今秋刊行決定の
ものに「海軍歌人傳」長篇小説、南
瀬洲道詩集、龍巖は世界をゆく
ぶる」等がある。小田郡出身の木
山操平氏が創作に轉身以來中央に
於て縣出身中堅詩人を代表しての
石原廣文氏の活躍の活動こそ、題
して候べきものがあらう。一童
話、童謡を通じて兒童の精神鍊成
に十年一日の活動を續ける下米文
男氏また本縣小田郡の出身で東部
神田で「小國民の友社」を經營し「童
話文化」を編輯發行し、近く童謡
集を世に問ふことになつてゐる。か
氏は木山史郎の筆名を各乗れば詩
民謡の兩刀使ひとして独自の詩風
を編はれてゐる。一備中松山城下
出身の往年の放浪詩人藤原博史氏
は現在、日本青年詩人聯盟「日本
國民詩協會」等に屬し、中央との
絶えざる連繫の下に背水の陣を布
いて、他日の活動に備へる一方、
農村讀書會等刊行を期して雄伏の
日々を消しつつある。一眞庭郡出
身の伊達知典氏(筆名白雲翁)は
現在召されて大陸の戦野にあり、
文字通りペンを劍に代へて奮闘中
とさく赤鷲郡出身の永瀧清子氏は
中央にありて本縣唯一の闊秀詩人

として、その活動めざましいもの
がある。現在は日本詩人協會に屬
する紅一點としてその將來性を期
待されてゐる。氏の近業の一端は
「現代詩」春季季版(河出書房版)に
收められてゐる。一宮脇紀雄氏
(岡山市出身)また中央にあり、主
に兒童雜誌に寄稿してゐる。一倍
現在縣下より發行されてゐる詩誌
としては岡山市の堀玉陽氏主宰の
「曙」なるものであらう。曙詩
社は十餘年の歴史を有し「中國詩
人選集」等を刊行したこともある
一なほ本年六月に内田止規氏(上
道郡龍神村)を編輯者として創刊
された「清風」がある。本誌は毎月
發行で、時を中心し俳句、短歌、
隨筆等を掲載し、特色としては長
島愛年園の玉木愛子氏が加盟し
てゐることである。とにかく相つ
ぐ誌誌の休刊、廢刊の折衝折角の
奮闘を祈る。以上の他「博浪社岡
山支社」を總つて井上二郎氏の
の新進隊があるが、出發後、日な
ほ淺くここでは決斷的論及を避行
今後の活動に候つ。一本壇で逸し
てならぬのは既に古典的存在たる
藤田直實、人見東明の二詩人を元
老格とし、現役の最古參者として

今なほ青年詩人に劣らぬ活動を
おける正當注洋氏があり、現在川
下郡平山村に詩人村長として悠々
自適の日を送る赤松月船氏、また
住居(鎌倉の華)一巻を掲げて華々
しく登場し、活躍した阿部郡出身
の段塚青一氏がある。一段塚氏は
現在郷里近くでチャナリストとし
て活躍中その他現在の作品活動は
ともかく岡山詩壇興「史を彩つた
存在として大塚雪、古本哲夫、金
光聖、東條文雄、林止三、垂井秀
雄、高橋重雄、尾原放浪の諸氏が
ある。一終りに九月二日に刊行さ
れる現代愛國詩集(東京・山雅
房版)執筆者中の岡山縣人として
正當注洋、石原廣文、藤原博史の
三詩人の名を擧げて、この稿を結
ぶ。(昭和十六年八月記)

民謡壇

民謡はゆ上樓閣的存つた存在で
は斷じてない。民謡は絶えの香に
黄色い腫のやうに氾濫するレコー
ド歌謡の如きものであつてもなら
ない。そのことの是非はここでは
云はぬ。われは「民謡」に没々た
る一部藝文詩人群の横行をみると

かゝるとき「民族詩」「國民詩」の提
唱が澎湃として起ることはむしろ
當然である。詩の高低優劣はただ
ちに千條の興「を知る晴雨計であ
るといふも過言ではなく、歴史を
それを證明して餘さぬ。今こそ詩
人は右顧左眄するの秋ではない。
末梢的な詩派、系統に拘泥せず打
つて一丸となり詩文藝の大道を
邁進せよ、そこに詩人の職域奉公
も存するのだ。新しき日本の躍進
の笛を先づ詩人みずからの手で東
亞の天地に吹き鳴らすべきである
その氣魄、その信念、然してその
矜持なくして、古今未嘗有の超非
常時に處する詩人と書はれやうか
。昭和十六年八月は十五年八月から
十六年八月に至る一ヶ年間の縣在
住及出身詩人の動向と詩壇の情勢
を覗いて見やう。現在最も活躍中
の現役詩人として岡山市出身の石
原廣文氏を擧げることが出来る。
その關係雜誌は「青木玄論」「童謡
文化」等多數であるが、現に田中
宗毅堂の出版部長、主婦の友社獨
評、文明社編輯たるほか日本青年
詩人聯盟に屬し、独自の詩風はす
でに定評あるもの。著書に「は
みあん・よろふの」「雨」「還り

き、眞の民謡詩人上起てと言はざ
るを得なくなる。小手先のやかま
しもので一世を風靡した時代は過
ぎた。もつと野の聲、土の叫びを
盛りあげるべきではないか。食糧
増産奉仕等こらに生きた民謡の
生命たるものを何故感じないのか
と極言したい。一犬養賢、中村
甲陽、田原路兒、曉詩郎、英玲二
らのすくれた農民詩人が身をこつ
て示した農村民謡の輝しい足跡に
對して、後進者はいま少しく責任
ある歩みを辿つて貰ひたい。さて
現在の縣下民謡壇を展望するとき
「城を月いたすにやゆ」の端
を禁し得ない。嘗て縣下民謡壇
にその覇を争つた石井健江(津山)
吉澤勝(倉敷)の兩氏とも沈黙すべ
に久しく、勝田郡出身大津現住の
鳥越強氏の孤軍力戦振りに、僅か
に盛んなりし昔月の名残りも止む
るのみ。一ここで云ふ敢て云ひ
たい。チャナリズムが民謡を纏子
扱ひにするといふ聲をきく。それ
はその通りである、いまや郷土研
究史的足踏のみが殘された唯一の
進路であるといふ一般人の觀方に
へこたれる位なら、またその機關
紙が廢されて歸點かないからと云

よならペンを折つて、深く陣營を去るべし。だ。民謡は民とともある。思ひをこに致せば、道自ら拓けるのである。...

川柳

縣の柳勢は昭和十六年度を迎へてもやはり立脚川柳下には記録らしいものを認めなかつた。

農業諸團體

昭和十六年七月に無休百號の記録出版を遂へ、中樞協力人として井上天人、山岡國生、佐藤敏郎、植田天夢坊、下野哲人、深山旅松、城山曉天、石井不倒翁、中岡慶沙、詩の諸氏があり、會員百名である...

農會

岡山縣農會 (各町農會は都庁大觀中に夫々掲載す) 岡山市中之町二二三 員二、一〇四 星島義兵衛

岡山縣農會

副會長 中塚 一郎 幹事 三宅 武平 技師兼幹事 關見 邦治 庶務課長 書記 岡本 三好...

玉島川柳會 津田耕水氏外 岡山川柳會 岡野吞吐氏外 一箇年の記録 全國柳壇の注視の中に第二回立脚川柳會は恒例に依り十六年一月...

山上 三好 淺野 開雄 書記 岡本 三好 技師 大森 盛次 技師 矢吹 龍男 石井 辰市...

【各町駐在技手】(秋石)西浪武 喜雄(大野)池上盛(今)三澤孝二 (若田)宮崎勝次(白石)片岡隆雄...

御津郡農會

會長 江田 節男 副會長 海野 藤吉 幹事 重谷 竹治 人見眞志雄...

赤磐郡農會

會長 十井 和清 西(吉岡)亦五郎(津賀)太田義次 安井正夫(長田)仁枝定(圓坂)藏...

岡山米穀株式會社

副會長 加賀美 章 幹事兼技師 延藤 勲明 技師 岡本 賢平 技師 十井 守太 大森 聰...

和氣郡農會

武野勲也(瀬瀬)友實一政 會長 今田 佐吉 副會長 高原紀次郎 幹事 小野 鶴二

邑久郡農會

會長 島村 西吉 副會長 小林 壽太 幹事 野田 仁 技師 土井 武良...

農業者團體

鶴山那須三千夫(美和) 島村剛
(國府) 德田康雄(行幸) 光信禎仲
(幸) 吉田廣郎

上道郡農會

(上道郡西大寺町)
(電) 西大寺 七五

會長 森 誠
副會長 那須 保雄
幹事兼技師 三宅 義也
技師 角田 長男 井口 圭男
平松 定和 石原 強
(書記) 橋本 勇 出井 五月
【各町村駐在技師】(高島) 柏木鏡
(財田) 小原伴夫(古郡) 岸本孝
(平島) 橋山修(角山) 駐輪茂(雄神)
(粟山) 角山(浮田) 野中(中) 西
大寺(河合) 實雄(西大寺) 石原多喜
天(原) 谷中(機) 片岡三千夫(沖
田) 原廣男(津田) 角雨次郎(九
平岡) 保夫(御休) 清水敬

兒島郡農會

(兒島郡離輪村)
(電) 離輪 一〇

會長 大野 正夫
副會長 高橋不樹太
幹事 尾崎 墨三
技師 尾崎 要
(駐) 尾崎 墨三

技師

(駐) 三村 晋作
山口 信郎 和氣 光平
平尾 墨策 岡田 實志
(駐) 中川 運(書記) 藤田 德夫

【各町村駐在技師】(味野) (書
記) 吉田大(一) 赤崎(書記) 中村高
三郎(下) 井(書記) 江原茂(本庄)
(駐) 十堀起(一) 同(書記) 岩田 謙
松井章子(福田) (駐) 小池文治
片山誠道 田中豐(書記) 國枝千萬
原(江) (駐) 植木敏子(書記) 小
原角一(勝) (駐) 山崎雄一 田
中新(書記) 本山隆(勝) (駐) 茅
野邦弘 三澤國吉(書記) 小林正志
(調) (駐) 橋本隆次 同(調) 技
櫻川知雄 夫野田勇 同(書記) 森
田亮清(勝) (駐) 岡田大三 同
(書記) 可兒助一(離輪) (駐) 木
村敏夫 同(書記) 若林高志(駐) 內
(駐) 健助孝 浦邊純平(書記) 小
橋博(八) (駐) 技多田新 藤原光
男(書記) 立石泰夫(甲浦) (駐) 藤
原繁(書記) 橋本利信(小串) (書記)
山本昇 中川車(駐) (駐) 杉場
武士 樋口嘉隆一 同(書記) 藤原
文子(岡上) (駐) 技多實利一 松本
敏行 同(書記) 中元茂太郎(山田)
(駐) 近藤俊三郎 同(書記) 柴崎
實(零浦) (駐) 小林政夫(書記) 原

敏太郎(兒島) (駐) 片山光保(書
記) 三宅 誠

都窪郡農會

(倉敷市旭町)
(電) 倉敷 四九一

會長 正保千代藏
副會長 三宅平十郎
技師 (駐) 三宅 義夫
技師 (駐) 板野 隆
技師 水野 信秀
技師 (物農會) 中家 謙夫
技師 栗坂 信夫 今宮 太郎
(書記) 七村 時雄
町村駐在技師 (印) 技師
町村 駐在技師 倉橋增廣技師
加茂 定廣 兒島 黒住 京一
吉備 (三) 雲 坪井五四夫
坪井 茂樹 赤木 正夫
中庄 龜山 誠一 大森 忍一
墨洲 高田 正志 守山 桂二
茶屋 三宅 宿 宮原 謙
早島 右原萬壽二 林 金一
妹尾 平松 岸太 山本 一郎
福田 森 勝太 坪井 賢一
菅江 三垣 藤原 條次
菅生 難波 昇 今宮 好雄
中洲 上津 敏三 岡本萬壽一
清音 福光 富一

常盤 坪井 櫻平 渡邊 爲一
山手 友野 誠
三須 難波 眞一

淺口郡農會

(淺口郡玉島町)
(電) 玉島 四五

會長 中家 一郎
副會長 三宅 千秋
技師 武和 三郎
技師 (駐) 在須水 剛
技師 (縣) 駐在 小谷 剛
技師 (縣) 駐在 板野 忠孝
技師 平松 泰一 荒木 次郎
中野 照市(書記) 原田 武市

【各町村駐在技師】(玉島) 赤田彰
白神重隆(津島) 龜山萬次郎(西阿
知) 難波國男(船) 水山清彦(長
尾) 田邊榮一(富田) 木下勇(金光)
間田勇(福) 吉川高島(里) 藤岡
源(大島) 飯田武(仁科) 正直(香島)
原田 彌生(六條) 清水武雄(黒
柳) 太田政夫

小田郡農會

(小田郡新町)
(電) 新町 四九

會長 平井 貞一
副會長 妹尾 宗一
技師 小川 眞一

技師 (備) 花本 春平
技師 (備) 藤原 清正
(備) 藤原 辰三 片山 隆久男
森谷 駒治 山縣 庄一
(書記) 松浦 和子

後月郡農會

(後月郡井原町)
(電) 井原 一九

會長 早川 謙造
副會長 笠原 誠一
幹事兼技師 藤原 粒三
技師 藤田 又二
技師 樋口 修一 藤枝 安男
宇那木 勇志 早川 謙造
大塚 保夫

【各町村駐在技師】(高島) 山下次
郎(藤岡) 森田(山田) 井上久男(吉
田) 正義(縣) 丸尾幸男(藤井) 敬
(木) 子(橋本) 在(原) 井上正夫
多賀志郎(西) 江原(孫) 元勇(大山) 郡
志夫(山) 野上(三) 村義夫(武田) 實
(書) 野(仁) 城(誠) 一(三) 宅(齋) 夫(井) 原
大津(平) 三(若) 井(寺) 岡(誠) 誠(妹) 尾
正(口) 明(治) 小(谷) 豐(大) 上(藤) 三(共
和) 友(國) 五(月) 夫(橋) 本(藤) 一(三) 原
吉本五十男

吉備郡農會

(吉備郡新井町)
(電) 新井 二三

技師 (備) 藤原 清正
(備) 藤原 辰三 片山 隆久男
森谷 駒治 山縣 庄一
(書記) 松浦 和子

會長 長尾 俊藏
副會長 太田 龍三郎
技師 三垣 隆造
技師 小野 信一 齊藤 知
定廣 友一 窪田 秀夫
赤木 芳雄(書記) 川村 賢二

【各町村駐在技師】(備) 藤原 清正
(備) 藤原 辰三 片山 隆久男
森谷 駒治 山縣 庄一
(書記) 松浦 和子

破京(一) 福合(大) 西(久) 夫(河) 田(壽) 司
(岩) 田(中) 津(實) 郎(日) 近(誠) 幸(大)
井(片) 岡(萬) 壽(夫) 定(守) 寺(萬) 壽(敬)
長(岡) 保(岡) 田(谷) 義(夫) 山(邊) 萬(貴)
一(郎) (二) 万(岡) 萬(壽) 平(松) 二(郎)
(岡) 井(田) 孝(康) 美(代) 男(萬) 壽(房) 治(吳)
妹(琴) 竹(萬) 武(本) 芳(雄) 範(田) 三(村)
藤(藤) 藤(原) 富(美) 男(國) 水(川) 武(夫)
林(茂) 新(本) 水(田) 藤(一) 兼(田) 藤(藤)
(山) 田(藤) 藤(二) 代(代) 酒(井) 助(田)
藤(藤) 助(下) 倉(藤) 藤(藤) 太(郎) 水(内) 藤

岡山明治製菓賣店
菓子 喫茶
良事 佳會

本市男 橋山隆一(養) 沼本 敏
野友則(神) 在(孫) 信(時) 太(郎)

上房郡農會

(上房郡高野町)
(電) 高野 四三

會長 水井恒三郎
副會長 菅野 保男
幹事兼技師 仲田 金一
技師 川上 康松
教 治良 岡田 幸四郎
森 清

【各町村駐在技師】(高野) 若原 謙
(津) 川(平) 尾(健) 一(川) 面(山) 崎(幸) 治
(巨) 尾(佐) 木(毅) (有) 德(高) 石(博) 平
(上) 竹(莊) 藤(井) 繁(夫) (藤) 野(十) 井(隆) 之
(下) 竹(莊) 藤(井) 繁(夫) (吉) 川(長) 合(山) 勇
(中) 井(井) 平(秀) 志(中) 津(井) 三(村) 慶(一)
(野) 野(野) 松(山) 喜(義) 上(水) 田(加) 百(悅)
筒(水) 田(塚) 塚(塚) 助

川上郡農會

(川上郡新町)
(電) 新町 一

會長 羽島盛太郎
副會長 (缺) 眞中
技師 石垣 眞人
技師 藤内 政美
技師 石川 十郎
技師 田井 亮輔
技師 田村 光造

阿哲郡農會

(阿哲郡新町)
(電) 新町 五三

會長 藤田 龍右衛門
副會長 泉 加助
技師 古菜寬一郎
技師 赤木 亥九二
技師 坂田 美夫 古前 謙市
清水 剛二郎

【各町村駐在技師】(成羽) 鎌藤 手
末(市) 誠(實) (日) 里(重) 信(孝) 太(郎)
(手) 莊(原) 正(大) 實(三) 宅(隆) 進(高)
(山) 三(村) 裕(介) (富) 家(赤) 木(武) 雄(平)
(川) 武(雄) 佐(一) (藤) 野(村) 上(正) 喜(吹)
(尾) 誠(實) 中(子) 治(小) 坂(悅) 次(郎) (中)
十(田) 藤(藤) 藤(藤) 藤(藤) 藤(藤) 藤(藤) 藤(藤)
野(野) (落) 合(色) 東(照) 二

水(書記)一夫(丹波部)技手(真谷
專(刑部)技師(田中)英雄(下)刑部(書
記)石村(美男)千屋(書記)村邊(昇一
(官年)技手(河原唯雄)觀(色)技手(近
藤)藤(上)市)技手(宮永)始夫(新郷)
書記(時田)二男(矢神)技手(松本)隆治
(野)技手(田)澤(男)新(郷)書記(山
口)廣(男)高(慶)技手(本)田(孝)本(郷)
書記(妹尾)重(石)重(郷)書記(三)下(武

眞庭郡農會

(眞庭郡勝山町)
會長 上由 光治
副會長 白石 高左衛門
幹事 藤井 潤一
書記 岡田 孝子
技師 美香 一三
技手 高岡 福治 川添 辰五郎
高橋 元司 牧 利政
書記 友金 寛一 原 兼夫
【各町駐在技手】(勝山)影山虎
男(郷)樋口(照)天(久)世(伊)達(賢)(郷)
福(本)武(一)治(色)巳(佐)田(重)男(郷)藤(久
重)一(津)田(丸)山(登)治(木)山(岡)本(寛
美)山(原)田(傳)一(郷)原(永)田(清)治
(美)甘(佐)伯(謙)次(新)庄(吉)田(重)美
(番)本(田)章(衛)二(川)手(島)泰(川)七

苫田郡農會

津山市山下
電話三三九
會長 田口 梁兵
副會長 保田 德三郎
幹事 香山 敏郎
技師 武田 秋倫
技手 堀小 賢平 木村 由友
栗木 猶好 久永 統治
井家 上 榮
書記 加野 美智子
【各町駐在技手】(若野)竹内武
夫(大野)早瀬(野)之(小)田(田)淵(明
(泉)小(原)貞(一)羽(田)松(本)敏(夫)上
廣(原)田(淵)美(千)國(田)色(青)井(秀)朝
(香)々(美)北(雄)波(直)止(神)庭(影)山(登
夫)高(倉)山(口)和(正)高(田)石(原)隆(一
(加)茂(藤)田(重)西(加)茂(稻)内(義)隆
(上)加(茂)山(本)重(貞)中(谷)牧(田)公(宣
(富)中(山)武(夫)久(田)光(井)孝(一)宮
(松)尾(正)德(香)南(田)淵(泰)夫(高)野(松
水(登)東(加)茂(赤)田(隆

勝田郡農會

勝田郡勝田町
電話二二七
會長 額田 治郎
副會長 安東 權二郎
幹事 石川 義一 下山 克巳
書記 河野 義久(郷)石川 義一
(郷)山(形)一(郎)郷(安)東(林)平
技師 橋本 要一郎 山下 隆志
【各町駐在技手】(新野)河本基
(植)月(鶴)塚(友)市(勝)田(竹)久(次)郎
(勝)田(山)本(種)次(湯)野(佐)々(木)重
(一)勝(加)茂(淺)野(藤)一(公)文(青)山(孝
(南)和(氣)林(田)隆(北)和(氣)郷(中)村
榮(一)河(邊)原(田)隆(廣)野(井)上(泰)二
(北)吉(野)郷(郷)上(原)良(一)豐(田)未(田
克(一)豐(野)上(俊)雄(龍)尾(香)山
章(高)取(綱)澤(守)美(主)吉(野)竹(内)藤
(飯)岡(竹)久(次)郎(大)崎(萬)代(精)(廣
戸(菅)原(一)吉(野)高(橋)一(萬)橋(世
福(井)唯(志)

英田郡農會

英田郡英田町
電話三三九
會長 有元 豊治郎
副會長 三原 宇一
幹事 鈴木 恭一
技師 植田 寛

久米郡農會

會長 池上 眞通
副會長 石川 四郎
幹事 佐伯 閑一
技師 堀外 隆三
池上 守衛 加治 武志
金井 巧 山崎 雅倫
【各町駐在技手】(大井)西(綱)澤
厚(大)井(東)今(井)春(人)大(佐)水(田)數
高(久)米(添)次(小)男(三)保(岡)田(藤)雄
(打)六(小)島(藤)次(安)西(藤)原(末)男
(後)文(祇)貞(西)川(大)政(井)和(小
高)常(也)大(井)和(藤)田(納)夫(藤)田(滿
野)重(夫)三(郎)秋(實)血(美)山(本)昇
(稻)田(南)平(尾)朝(氏)龍(山)森(尾)澤(作
(福)渡(賀)賀(豆)片(岡)天(公)福(夫)

養蠶組合

岡山縣養蠶業組合聯合會

(岡山縣養蠶業區内)
會長 三木 秋義
副會長 中里 純
同 小島 銀治
幹事 河原 一雄 中塚 一郎
仲田 季雄 松田 貞
田口 梁兵 原 宇一
余山 佐吉
技師 北川 重治 清野 良久
技手 杉山 登 成平 于登
書記 杉本 仁作 二階堂 茂
副書記 安東 代良 望月 嘉和次
顧問 橋原 始太郎 小林 梅吉
顧問 古原 野橋 久山 淳一
河原 一雄 土井 和清
今田 佐吉 島村 西吉
那須 保雄 大野 正夫
三宅 十郎 中塚 一郎
高月 敏一郎 早川 謙造
太田 三郎 長尾 俊

津山市養蠶業組合

會長 久山 淳一
副會長 須見 勇雄
幹事 竹本 義道
技師 梁山 茂夫
技手 尾 定正
書記 小澤 龍四郎
【各町駐在技手】(津山)羽田 義
仁(龍)助(右)衛(門)仲(田)季(義)
羽(塚)盛(大)郎 上(田)光(治)
松(田)貞 田(口)梁(兵)
藤(田)忠(四)郎 登(本)博
原(宇)一 有(本)郷(治)郎
小(島)銀(治)

赤磐郡養蠶業組合

會長 土井 和清
副會長 國 運太
技師 岡本 賢平
技手 角田 正 池田 辰夫
【各町駐在技手】(長取)上(森)川
東(南)野(野)若(林)三(次)伊(岡)長(尾
廣)一(助)也(江)木(久)夫(山)方(西)村(清
一)七(堀)佐(藤)義(五)城(因)田(孝)九
郎(佐)伯(松)島(保)(石)生(野)井(庄)一
(豊)田(國)近(方)一(湯)澤(松)本(壽)忠

上道郡養蠶業組合

會長 那須 保雄
副會長 野崎 瀧太
技師 角田 辰男
技手 佐藤 虎二郎
西崎 茂
石原 福
【各町駐在技手】(福)田(繁)治
友(光)東(作)嶋(今)城(小)坂(竹)太(大
高)太(伯)幸(島)朝(日)山(崎)春(夫
(行)幸(國)府(美)和(木)谷(藏)一

○山口郡農業組合

後口郡玉置町 (電話三五五)
組長 中塚 一郎
副組長 武和 三郎
幹事 須永 大
技師 岡山縣農林技師 須永 大
技師 須安 隆雄
書記 原田 武市

○小田郡農業組合

小田郡吉備町 (電話四四九)
組長 高月 毅一郎
副組長 高原 富男
幹事 小川 真一
技師 藤原 清正
技師 高本 十
書記 藤松 和子

○後月郡農業組合

後月郡井原町 (電話七三三)
組長 早川 謙造
副組長 伊 寛市
幹事 藤岡 粒三
技師 三宅 圭三
技師 宇那木 勇志
技師 片山 舜而
技師 藤井 三夫
書記 藤本 速夫

○上房郡農業組合

上房郡高梁町 (電話四二二)
組長 仁藤 助右衛門
副組長 中山 良太郎
技師 岡田 幸四郎
技師 森 清
技師 岡村 幸
書記 三好 保夫

○川上郡農業組合

川上郡成羽町 (電話一)
組長 原田 龍右衛門
副組長 仲田 季雄
幹事 古來 寛一郎
技師 安藤 一男
技師 清水 彌三郎
書記 清水 彌三郎

○阿蘇郡農業組合

阿蘇郡新見町 (電話五二二)
組長 羽場 盛太郎
副組長 村上 龍雄
技師 原 杏平
技師 田村 光造
書記 三好 保夫

○吉田郡農業組合

吉田郡山田町 (電話三三九)
組長 田口 梁兵
副組長 藤波 隆太郎
技師 武田 秋衛
技師 平井 丁治

○御津郡農業組合

御津郡御津町 (電話二七四六)
組長 柏山 八郎治
副組長 重谷 竹治
技師 小林 定哉
技師 小谷 剛治
技師 酒井 常太
技師 花房 盛
技師 金光 秋子

組長 岡田 萬四郎
副組長 香本 博
幹事 桑村 卓一
技師 山田 勝二
技師 山本 正毅

○各町村駐在技師 (關西田伊東)
(湯島) 則本 祐三郎 (公文) 妹尾 虎一郎 (和南) 大井 明二 (北和) 荒木 實 (大崎) 杉山 義正 (大崎) 橋本 護 (橋本) 井上 忠義 (勝加茂) 渡野 實 (吉野) 下山 繁 (勝田) 富坂 雅二 (豐田) 橋本 裕士 (梶原) 藤原 正

○英田郡農業組合

英田郡林野町 (電話三三九)
組長 笠原 宇一
副組長 小林 一郎
技師 鈴木 恭一
技師 水井 三郎

○久米郡農業組合

久米郡加美町 (電話四)
組長 久米 加美

組長 小島 銀治
副組長 石川 四郎
技師 妹尾 光義
技師 小坂 鶴男 (書記) 山本 健子

○各町村駐在技師 (大井西)
大井 東、久米、池田 久志 (大崎) 橋本 夫 (三保) 打代 兵衛 (後文) 西川 赤須 次夫 (井和) 土井 佐雄 (大井)

岡山縣三石局私書函第五號 (和氣郡三石町)

三石耐火煉瓦加藤合資會社
電話 番 號 五
電話 番 號 力レ
電話 番 號 一五〇七六番

組長 中島 龍藏
副組長 竹原 貞治
技師 光岡 龍二
技師 荒牧 孝次郎
書記 神寶 恒二
技師 長藤 巖市

○久米郡農業組合

久米郡加美町 (電話四)
組長 久米 加美

組長 上田 光治
副組長 松田 實一
技師 近藤 潔治
技師 三宅 正

○赤松郡農業組合

赤松郡赤松町 (電話一)
組長 土井 和清
副組長 道光 龍雄
技師 渡邊 右三郎
技師 山本 政元

○和氣郡農業組合

和氣郡和氣町 (電話一)
組長 今田 佐吉
副組長 小原 健二
技師 淺藤 龍三
技師 矢部 章夫
技師 吉田 六藏
書記 能勢 正文
技師 竹内 豊治

○色久郡農業組合

色久郡色久町 (電話四七三)
組長 橫山 泰造
副組長 林 善八
技師 野田 正志

○赤松郡農業組合

赤松郡赤松町 (電話一)
組長 土井 和清
副組長 道光 龍雄
技師 渡邊 右三郎
技師 山本 政元

農業團體

○上直郡畜産組合
高津 末雄
(上直郡西大寺町)
(電話 西大寺七五)

○小田郡畜産組合
(小田郡西町)
(電話 西町四九)

○古備郡畜産組合
(古備郡西町)
(電話 西町三三)

○真庭郡畜産組合
(真庭郡西町)
(電話 西町三三)

○勝田郡畜産組合

(勝田郡西町)
(電話 西町三三)

家畜保險組合

(組合長氏名)
岡山、倉敷、和氣、上道、玉野

煙草・木炭

岡山縣煙草耕作組合聯合會

會長 三木 秋藏

農子供服
由良へ
上之町店 電話五六四六
下之町店 電話五二〇三

○兒島郡畜産耕作聯合會

(兒島郡西町)
(電話 西町三三)

岡山水産

- 岡山縣物産組合
- (岡山大供養) 岡澤 修作
- 岡山縣自動車修理加工業組合
- (岡山大供養) 藤波乙次郎
- 岡山縣通運業組合
- (岡山西田町電燈) 森田 源二
- 岡山縣糸織業組合
- (岡山西田町電燈) 加藤市三郎
- 中國タイヤ再興業組合
- (岡丸鹿町電燈) 大野 豊二
- 岡山縣織造業組合
- (岡上井福電燈) 大久保佐十郎
- 岡山縣銅合金鑄物業組合
- (岡山下右井電燈) 中島 善一
- 岡山縣天鰯防水布業組合
- (岡丸鹿町電燈) 藤原保次郎
- 岡山縣印刷業組合
- (岡丸鹿町電燈) 吉岡 義夫
- 岡山縣醤油業組合
- (岡上井福電燈) 久山 淳一
- 岡山縣味噌業組合
- (岡上井福電燈) 安達 秀吉
- 岡山縣漆器業組合
- (岡上右井電燈) 滝見 卯吉
- 岡山縣農具業組合
- (大供本町電燈) 佐藤庄次郎
- 岡山縣織造業組合
- (岡上井福本町電燈) 出雲 剛

- 岡山縣物産(佐倉)業組合
- (岡山西田町電燈) 加藤市三郎
- 岡山縣綿織物洗滌整理業組合
- (岡山西田町電燈) 加藤市三郎
- 岡山縣清漆利用製器業組合
- (岡山下右井電燈) 岸 武次
- 岡山縣木工業組合
- (岡山西田町電燈) 別荘重三郎
- 岡山縣煉炭業組合
- (岡丸鹿町電燈) 佐藤昌三郎
- 岡山縣織造業組合
- (岡上井福電燈) 堀井 榮一
- 岡山縣釣針具業組合
- (岡上井福電燈) 長谷川 繁一
- 岡山縣カラ紡織物業組合
- (岡丸鹿町電燈) 坪田 公一
- 岡山縣織造業組合
- (岡上井福電燈) 川崎 三市
- 岡山縣セメント瓦業組合
- (岡上井福電燈) 藤澤 寛
- 中國製織維業組合
- (岡上右井電燈) 柏山 八郎吉
- 岡山県高裁縫製器業組合
- (内山下) 西本 毅
- 岡山縣石灰業組合
- (岡上右井電燈) 大澤 敬夫
- 東瀬川高裁縫製器業組合

- (岡上井福電燈) 馬場 留男
- 岡山縣煉乳業組合
- (岡山西田町電燈) 板野 勝次
- 岡山縣織造業組合
- (岡上右井電燈) 谷淵 登十郎
- 岡山縣織造業組合
- (岡上井福電燈) 池田房之進
- 岡山縣石灰業組合
- (岡上井福電燈) 藤澤 寛
- 岡山縣花畑業組合
- (岡上井福電燈) 林 泰八
- 中國製織維業組合
- (岡上井福電燈) 田口 健次
- 岡山縣武道具業組合
- (岡上井福電燈) 金田 國太郎
- 岡山縣清漆業組合
- (岡上井福電燈) 巖 岩男
- 岡山縣和紙提燈業組合
- (岡上井福電燈) 藤原 修平
- 岡山縣新織物業組合
- (岡上井福電燈) 熊夫
- 岡山縣農具業組合
- (岡上右井電燈) 田中 弘道
- 岡山縣製糖業組合
- (岡上井福電燈) 友吉
- 岡山縣土木建築業組合
- (岡上井福電燈) 藤澤 寛
- 岡山縣織造業組合
- (岡上井福電燈) 山崎 泰助

- 岡山縣油紙業組合
- (岡山西田町電燈) 角倉 勲一
- 岡山縣金網業組合
- (岡山西田町電燈) 山本 伸太郎
- 岡山縣花畑加工業組合
- (岡山下田町) 巨田 鹿治
- 岡山縣穀粒業組合
- (岡上井福電燈) 林 泰八
- 岡山縣野葛業組合
- (岡上井福電燈) 三宅 千秋
- 岡山縣足袋業組合
- (岡上井福電燈) 三宅 保正
- 中備國機械器具業組合
- (岡上井福電燈) 貝原 宇平
- 備前國木工業組合
- (岡上井福電燈) 大倉 一藝
- 倉敷市高裁縫製器業組合
- (倉敷市高裁縫製器) 中桐 佐太郎
- 津山縣機械器具業組合
- (津山縣) 幸地 順太郎
- 岡山縣紙製糖業組合
- (津山縣) 刈田 興隆
- 美作國木工業組合
- (津山縣) 日下 惣六郎
- 岡山縣手漉和紙業組合
- (津山縣) 牛末 近夫
- 美作市高裁縫製器業組合
- (津山縣) 安藤 香苗

〇〇



天下一品!
一家一瓶!

電撃的に
ライトは伸びゆく
世界の果てまで……



(大瓶 小瓶 各種……)
全国の文具店にあり

用筆年萬

2オンス入 30セソ

ライト

東京 藤崎インキ製造株式会社

廣 告

18

- 津山木履工業組合
- (津山一町) 飯田 龍一
- 中国産耐火煉瓦工業組合
- (和氣三町) 三石町電三 神崎 徳
- 宇治産機織器具工業組合
- (邑入津牛宮町電三) 岡千代造
- 岡山縣木造船工業組合
- (邑入牛宮町電三) 岡 千代造
- 東備産機織器具工業組合
- (上道西大寺町電三) 深井 伸治
- 備前産機織器具工業組合
- (上道大寺町電三) 西江宗二郎
- 児島産機織器具工業組合
- (児島津町電三) 尾崎 隆一
- 備前産機織器具工業組合
- (児島津町電三) 岡田 義平
- 岡山縣衛生器工業組合
- (児島津町電三) 尾崎 隆一
- 岡山縣金網工業組合
- (児島津町電三) 永井 慎夫
- 児島市片敷機織器具工業組合
- (児島津町電三) 片山 光夫
- 備前産機織器具工業組合

- (児島津町電三) 多胡 福
- 岡山縣工業組合
- (児島津町電三) 木村真平治
- 中備産機織器具工業組合
- (児島津町電三) 木村真平治
- 岡山縣輸出花織工業組合
- (後月西河町電三) 戸田 隆治
- 後月西河町電三工業組合
- (後月西河町電三) 榎村 隆一
- 岡山縣製糖工業組合
- (後月津島町) 渡邊 萬一
- 中備産機織器具工業組合
- (小田安岡町電三) 石井 省三
- 備前産機織器具工業組合
- (小田安岡町電三) 松尾比佐治郎
- 小田津町片敷機織器具工業組合
- (小田安岡町電三) 大塚 幸一
- 日本ストロー工業組合
- (小田安岡町) 柳原 幸三郎
- 岡山縣製糖工業組合
- (小田安岡町) 大久保 隆治
- 岡山縣中備産機織器具工業組合
- (後月高岡町電三) 向原 卯一
- 岡山縣中備産機織器具工業組合
- (後月高岡町電三) 向原 卯一
- 備前産機織器具工業組合
- (後月高岡町電三) 向原 卯一
- (後月高岡町電三) 猪原 隆藏

- 岡山縣備中織物出稼機織器具工業組合
- (後月西河町電三) 青木 正
- 岡山縣製糖工業組合
- (後月西河町電三) 坂本 萬一
- 岡山縣製糖工業組合
- (三備津町電三) 江口 武雄
- 吉備津町電三製糖工業組合
- (三備津町電三) 堀井 良二
- 備前産機織器具工業組合
- (上房高岡町電三) 水垣井三郎
- 備北製糖工業組合
- (上房高岡町電三) 渡邊 勝雄
- 備前産機織器具工業組合
- (真庭勝山町電三) 早瀬 八九郎
- 作東産機織器具工業組合
- (早瀬八町電三) 堀尾 卯作
- 岡山縣製糖工業組合
- (田原町電三) 神寶 光次
- 岡山縣製糖工業組合
- (小橋町電三) 安田 猪馬一
- 大日本織物工業組合
- (岡山七日市) 渡邊 宗爾
- 相織物工業組合
- (岡山七日市) 難波 頼男
- 備前産機織器具工業組合

- (倉敷津町) 吉田馬太郎
- 日比製糖工業組合
- (玉野日比) 小橋 米治
- 備前産機織器具工業組合
- (玉野日比) 藤原 三郎
- 和氣製糖工業組合
- (和氣和氣町電三) 由良 喜貞夫
- 西大寺織物工業組合
- (上道西大寺町) 三郎 三郎平
- 備前産機織器具工業組合
- (兒島津町電三) 今城 豊
- 岡山製糖工業組合
- (兒島津町電三) 坊寺 謙一郎
- 備前産機織器具工業組合
- (兒島津町電三) 武藏 和夫
- 阿津織物工業組合
- (兒島津町) 小野新太郎
- 泊川織物工業組合
- (兒島津町電三) 宮崎 伯兵衛
- 上小川織物工業組合
- (兒島津町電三) 中塚 龍次
- 大同物産工業組合
- (兒島津町電三) 尾崎 重三郎
- 小川製糖工業組合
- (兒島津町電三) 城本 昌徳
- 東備産機織器具工業組合
- (兒島津町電三) 山本 隆四郎

- 備前産機織器具工業組合
- (兒島津町電三) 岡田 義平
- 備前産機織器具工業組合
- (後月津島町) 小野 福一
- 備前産機織器具工業組合
- (小田安岡町) 矢野 正吉
- 備前産機織器具工業組合
- (小田安岡町) 大塚 幸一
- 入船織物工業組合
- (後月津島町電三) 田中 喜平
- 備前産機織器具工業組合
- (後月津島町) 山名 善治
- 中備産機織器具工業組合
- (後月津島町) 大山 龍
- 西備産機織器具工業組合
- (後月津島町) 田邊 明
- 岡山縣備中織物工業組合
- (後月津島町電三) 土肥 志郎
- 吉備産機織器具工業組合
- (後月津島町) 藤井 一郎
- 大和物産工業組合
- (上房高岡町電三) 石川 榮

漁業組合

岡山県産物

岡山県漁業組合

昭和十三年三月二十二日設立、漁業用資材並に給濟用品の購買、事業、生鮮魚介類の販賣事業、資金の貸付、貯蓄業務、漁業経営に對する指導指導

會長 高草 美代藏
理事(第1) 太田正三郎、西川 眞
理事(第2) 近藤 隆一、
監事 直田七三郎、那須 正俊、
山本 寛一

職員(主事) 田野 勇、藤原 敬夫
藤井 真砂、中田 孝太郎、藤原 千代大、難波 治、安田 壽志、佐野 利三郎、難波 萬里子、安井 澄江、血井 幸子、安井 登美子、中山 美保子、松田 清次郎、吉野 平太郎、平井 松太郎、平井 惣次郎、坪井 三代治、古田 三郎、吉野 貞雄、黒田 元吉、澤藤 次郎、藤原 英輔、石井 万壽男、土屋 寛義、森新 一、植田 増次郎、清水 忠治、海野 幸次郎、直田 正六、佐藤 定雄、向山 壽、橋原 善吉、難波 亮、坪井 重平、今村 健一、次田 善吉、藤

- 岡利太郎、三宅 四郎、神谷 雄合、地豊、中村 武夫、平井 嘉三郎、高橋 豊造、川口 正雄、前田 隆、高カネ、淺田 マスエ
- (無) 福河村 東村 神太郎
- (無) 日生 那須 正俊
- (無) 浪 森金 太郎
- (無) 片上 高島 早
- (無) 虫 明 太田 正三郎
- (無) 瓦 海 水野 権郎
- (無) 牛 窓 山本 寛一
- (無) 鹿 忍 藤原 堅藏
- (無) 朝 日 小橋 隆藏
- (保) 金 岡 松井 敬兵衛
- (保) 九 岡 中村 三三郎
- (保) 升 田 宮崎 十二郎
- (無) 光 政 佐藤 敬太郎
- (保) 沖 田 保住 隆五郎
- (無) 三 備 窪田 謙太郎
- (保) 福 濱 片山 次太
- (無) 今 保 武南 茂
- (保) 妹 尾 浦田 豊平
- (無) 宇 野 藤原 伊三吉
- (保) 日 比 關 隆藏
- (保) 西 園 坂本 祐太郎

- (無) 八 濱 坂崎 誠一
- (無) 甲 浦 近藤 隆二
- (保) 小 串 藤原 幸治
- (無) 岡 上 西川 眞一
- (保) 津 田 伊藤 義三郎
- (保) 引 網 清坂 隆一
- (保) 大 畠 永山 克巳
- (保) 田 浦 桑野 徳衛門
- (無) 大 津 井 朝明 和吉
- (無) 本 庄 原 猪之太
- (保) 呼 松 田中 植太郎
- (保) 福 田 新 田 山崎 久治郎
- (保) 乙 馬 瀧澤 兼太郎
- (保) 柏 崎 中塚 一
- (同) 黒 崎 村 眞田 七三郎
- (同) 寄 島 村 平方 三郎
- (同) 大 島 黒住 隆二
- (無) 横 江 高森 才市
- (保) 内 浦 伊藤 文吉
- (無) 神 島 宮地 兵衛
- (同) 白 石 島 山本 繁太郎
- (保) 北 木 島 奥野 文七
- (無) 眞 鍋 島 元平 千代太
- (保) 笠 岡 高橋 義蔵
- (同) 西 濱 塚本 謙平
- (無) 生 津 濱 藤井 茂四郎
- (同) 茂 平 高田 敏治

市場

日本米穀株式会社

岡山米穀市場

(岡山市上石井)
(電話三〇三八)

日本米穀株式会社は資本金三千萬圓(全額拂込)半官半民の特殊國策會社として昭和十四年七月設立、本社を東京市に、支店を大阪神戸、名古屋、下關、臺北出張所市場は全國三十二箇所あり、理事長は松村眞一郎氏である、現在の營業は米界非常時であるので取引は皆無であるが、糯米、外米の大麥、裸麥の扱ひ國內穀物需給の調整、配給の調整に活躍してゐる

岡山米穀市場 日本米穀株式會社
岡山米穀市場取引方法は舊來取引當時の通算取引に代つて現物、未着物の二つであるが米、麥國策管理のため國內無現在の配給事務を可つてゐる

副組合長

- 伊原亦十郎 鈴木久太郎
- 古淵眞之助 酒野 佐之
- 谷淵金十郎 片山 實吉
- 藤本善三郎 松岡兵太郎
- 金光 龍藏 佐藤 虎治
- 金城 勲一 藤原 恒夫
- 西田 春吉 小野 宗一
- 岡崎洋五郎 笠原 保
- 成田 努 神坂 正平
- 高木 孝男 多田 利吉
- 高島林三郎 藤島 龍男
- 上西 泰一 山上 兼吉
- 矢吹林太郎 藤田 卯助
- 藤原 幸吉 藤原 益男
- 藤原長次郎 小橋 一太郎
- 小松原基四郎 青江 秀一
- 廣田 房吉 祇園 敬二
- 三宅隆三郎 祇山 茂男
- 平松 亮一

青物市場

(金額は昭和十四年中の取引高)

- 岡山中青果株式會社
- 岡山、山内下 5,000,000圓
- 津山青果市場
- 津山、小田中 5,000,000圓

魚市場

(金額は昭和十五年中の取引高)

- 岡山魚市場株式會社
- 岡山、川橋町 2,300,000圓
- 關井鮮魚部
- 倉敷新川 2,000,000圓
- 瀬戸魚市場
- 赤野、瀬戸 1,500,000圓
- 日生漁業協同組合共同販賣所
- 和氣、日生 1,200,000圓
- 片上漁業組合共同販賣所
- 和氣、片上 1,000,000圓
- 福河村漁業共同組合
- 和氣、福河 1,000,000圓
- 牛窓町漁業協同組合共同販賣所
- 色久、牛窓 1,000,000圓
- 由明漁業組合共同販賣所
- 色久、長田 1,000,000圓
- 勝島魚市場
- 色久、勝島 1,000,000圓
- 西大寺生魚株式會社
- 上道、西大寺 1,000,000圓
- 魚問屋〇千
- 上道、九國 1,000,000圓
- 宇野生魚株式會社
- 玉野、宇野 1,000,000圓

- 呼松魚市場
- 兒島、福田 1,500,000圓
- 小串魚市場
- 兒島、小串 1,300,000圓
- 本庄漁業組合共同販賣所
- 兒島、本庄 1,000,000圓
- 玉生魚株式會社
- 玉野、日比 1,300,000圓
- 津高生魚同業組合市場
- 淺口、津高 1,000,000圓
- 香島漁業協同組合共同販賣所
- 淺口、香島 1,000,000圓
- 玉島魚市場
- 淺口、玉島 1,000,000圓
- 丸五魚市場
- 淺口、玉島 1,000,000圓
- 正廣魚市場
- 淺口、大島 1,000,000圓
- 等間生魚株式會社等間魚市場
- 小田、笠岡 1,500,000圓
- 同會社笠岡市場
- 小田、金浦 1,000,000圓
- 西濱漁業協同組合共同販賣所
- 小田、金浦 1,000,000圓
- 作西魚市場
- 小田、金浦 1,000,000圓
- 廣庭、久世 1,000,000圓

常設家畜市場

岡山 常設 (岡山市上石井)

貴・衆・縣議員・觀光

宮ノ市常設 (吉田郡一宮)
津山 常設 (津山市小田中)
定期市場は縣下に三十二箇所あり
夫々活躍してゐる

貴・衆・縣議員

- 貴族院多額納税者議員
- 御津郡野合村 板野 謙太郎
- 岡山市二日市 山上 岩二
- 衆議院議員
- 東宮市日置區自由ヶ丘八二 久山 知之
- 東宮市野町區永田町二丁目三一 岡田 忠彦
- 兵庫縣武庫郡鳴尾村 行吉 角治
- 東宮市大森區北千束町四二七 黒田 壽男
- 岡山縣和氣郡片上町 玉野 知義
- 東宮市中野區山崎町三二 小川 郷太郎
- 東宮市四谷區南町八八 犬養 健
- 東宮市小石川區名荷町五五 星島 二郎
- 岡山市西田町一七 小谷 節夫

倉敷青果市場

- 倉敷、新山町 3,000,000圓
- 津山青果株式會社
- 津山、田町 2,000,000圓
- 牛窓青果市場
- 色久、牛窓町 1,000,000圓
- 株式會社西大寺青果市場
- 上道、西大寺町 1,000,000圓
- 呼松共同市場
- 兒島、福田村 1,000,000圓
- 廣江青物市場
- 兒島、福田村 1,000,000圓
- 玉島新庄青果市場
- 淺口、玉島町 1,000,000圓
- 楠木青果市場
- 淺口、玉島町 1,000,000圓
- 花田青果市場
- 淺口、玉島町 1,000,000圓
- 小西青果市場
- 淺口、玉島町 1,000,000圓
- 淺原青果市場
- 淺口、玉島町 1,000,000圓
- 中藤青物市場
- 小田、笠岡町 1,000,000圓
- 等間青物市場
- 小田、笠岡町 1,000,000圓
- 高梁新農會農産物販賣所

縣會議員

- (長) 八幡長(副) 八幡長(參) 八幡長
- 參事議員
- 吉田郡入田村 牧野 英一
- 御津郡大野村 粕山 八郎治
- 色久郡鶴山村 横山 善次郎
- 都窪郡比村 難波 誠一郎
- 小田郡笠岡町 鶴田 義輔
- 色久郡牛窓町 高祖 鶴松
- 英田郡林野町 笠原 宇一
- 和氣郡伊里村 大塚 熊吉

山形屋洋服店

別國民服・協和服
岡山市泰瑞町通り

- 眞庭郡勝山町 上田 光治
- 兒島郡福田村 佐野 實松
- 岡山市下田町 (參) 林 泰入
- 吉備郡岡田村 加藤 三郎
- 岡山市東区松 霜山 健一
- 淺口郡玉島町 守安 賴四郎
- 淺口郡六條院町 佐藤 恒夫
- 玉野市日比 關 碩藏
- 上房郡高梁町 柏木 貞一
- 久米郡加美村 (參) 小枝 一雄
- 赤松郡瀧瀬村 (參) 土井 和清

觀光

岡山縣觀光協會

(岡山縣廳一課内)

【創立】昭和十一年四月
【事業概要】(1)觀光廳の普及

観光地の宣傳及施設並観光客の接遇等に關する連絡統制車に於指導...

【役員】(會長)岡山縣知事(副會長)...

岡山縣瀬戸内海 國立公園協會

加入區域 山久郡牛窓町以西瀬戸内海沿岸町村等

大日本婦人會生る

昭和十四年度岡山縣内所の取扱額は左の如くであるが、特に瀬州、北中支方面の客を相違なく取扱つてゐる

取扱費額 20,000 切符發賣枚數 100,000 切符發賣金額 3,000

するところは同一であるので活動の系統を統一せしめる爲めに大日本婦人會として統合することとなつた、而して國籍、一般婦人會に...

軍軍援護に關する事業としては、軍人遺家族生活扶助を始とし、全縣下の遺族に對し、徳小章文書、靖國神社寫眞及絹線などを贈り、...

酒の岡山縣

岡山縣は全國的に知られた酒造地である。酒造組合の盛衰として明治四十年頃備前中津を區域として岡山縣酒造組合聯合會を設立したが、さらに大正六年...

岡山縣酒造 組合聯合會

事務所 岡山市上ノ町二 電話 岡三八三三五

- 理事 都市組合長 川崎 政木 岡山組合長 武藤 泰太...



才版活 才版活 第一印刷 岡山市紙屋町電話三六三三番

- 眞庭組合長 堀 英太郎 美作中央組合長 牧野 英一...

- 吉岡義夫 初日(兒島町) 萩野 肇 山盛(岡山酒造株式會社)...

- 御津鶴(御津牧右) 小野 太郎 中國錦(同金川) 武藤 泰太...

酒の岡山

味尾清次郎 (同) 若狭徳二郎 (同) 藤澤藤左衛門 (同) 組長 赤澤精平治 若狭旨次郎 小田、後月郡酒造組合 小田郡酒造町 小田郡酒造町 電話 笠岡四五二

山乃井 (芳井) 渡邊一節 山成 節 藤乃水 (明治) 橋本 昌吉 蓬 菜 (三原) 吉岡 準太 上房川上郡酒造組合 上房郡高梁町 事務所 上房郡高梁町

(成羽) 野田徳太郎 副組合長 藤邊 貞次 八重 柳井 多市 柳止宗 (同) 柳井 多市 柳止宗 (同) 柳井 多市 柳止宗 (同) 柳井 多市

眞庭郡酒造組合 眞庭郡久世町 (仁枝) 電久世四〇 久世酒造合會社代表者 三ツ井 正宗 (同) 杉 貞治 朝日酒造 (同) 株式会社本店 御前酒造 (同) 株式会社 萬悦 (同) 株式会社 互福 (同) 株式会社 萬福 (同) 株式会社 萬福 (同) 株式会社

酒の岡山

美和酒造株式会社代表者 喜久正 (美和) 植山 民男 美和 美作中央酒造組合 事務所 津山市京町 電話 山一四六

岡山縣和氣郡三石町 加藤礦山事務所 電話 三石八番 菊川 (久田) 廣川 一子 五十鈴 (同) 組合長 友保半治郎 源 泉 (下瀬原) 田淵 義憲 美作正宗 (同) 西村 圭計 大橋 隆 (久米大橋) 神谷 貞正 神子 (大井惠) 神谷 厚徳

櫻川 (弓削) 墨田 敏正 千歳 鶴 (神目) 坂田 美好 玉 娘 (同) 坂田 右衛門 神の泉 (同) 下瀬神酒造合會社 玉 光 (同) 資會社 廣 水 (同) 御船 剛太 谷 風 (同) 江原喜久藏

玉川 (栗井) 神田 東一 菊川 (同) 原田 敬三 旭 鶴 (同) 原田 保 白 鶴 (同) 松本 伊作 白 梅 (同) 須田 秋三郎 東 郷 (同) 須田 秋三郎 喜久 娘 (同) 山本 大治郎 光 露 (同) 山本 大治郎 香正 宗 (同) 山本 大治郎 那岐 隆 (北野) 藤取 忍一 吉野 川 (同) 井戸 雲子 福正 宗 (同) 福原 留五郎 旭 川 (同) 影山 三郎 加茂 五葉 (同) 組合長 藤田 酒造株式会社代表者 神力 正宗 (同) 山下 傳一 (同) 山下 傳一 (同) 山下 傳一 (同) 山下 傳一 (同) 山下 傳一

のがある、古く興った芸術文化を
紹介し、郷土藝術に藝術的価値を
會方面への呼びかけに、新時代の
尖端を進み大政宣の道を切り拓
いてゐる外、香川縣方面の放送も
引き合ひてゐる關係上、香川方面はな
かなか複雑多岐である。

岡山放送局管内設置
昭和十六年七月一日現在
岡山放送局
岡山市瀬原赤坂ノ上
(電二〇五)

岡波敷 三〇キロサイクル
放送開始 昭和六年二月一日
局長 成瀬 正一
事務局長 藤原 新一
放送局長 藤原 新一
アナウンサー 伊藤、瀧澤
技術部長 瀧口 秀夫
岡山放送局ラジオ相談所
岡山市内山下相半町
(電四九六六)

岡山ラジオ電機商會
岡山市内山下相半町三〇 組合
長平松、△副組合長花房二郎
△津山支部長田澤志、△兒島
同山本繁雄、△備中向矢吹常太
中級俱樂部
(昭和十二年九月創立)
事務所岡山市内山下三〇ノ二中國
銀行内(電二八〇一)
幹事 岡本 弘 佐藤 隆
高松實業俱樂部
(昭和十五年四月創立)
事務所岡山市中之町二六四小寺洋
家食店內
幹事 小寺春太郎 河田 隆
鳥羽俱樂部
(昭和十五年四月創立)
事務所岡山市中之町二二五岸本
夫方
幹事 岸本 隆夫
五原會
事務所岡山市中之町五編松二部
方(電二七九六)
幹事 編松二部 林 彰
津山投影會
(昭和十二年九月創立)
事務所津山市藤前通石川薬方(電
呼五六〇)
幹事 石川 隆
備前グループ
カメラ

町掛ノ町片岡電機商會△岡山同
平松會 組合員二五〇名
岡山放送局ラジオ相談所の外に管
内各地に放送局の技術検定試験に
合格した主任技術者に對し指定
ラジオ相談所を左記の場所開設
させて設備受信機の検査修理を
行ふ

【指定ラジオ相談所】 岡山市富田
町電機商會△大供二丁目新
興ラジオ電機商會△紙屋町花房
電機商會△小橋町放電社ラジオ
部△西大寺町電見ラジオ部△備
前町仁科ラジオ部△下右井管井
ラジオ製作所△岩田町アメリカ
ヤラジオ商會△津山市富岡町竹
内電機店△岡町玉置ラジオ部△
倉敷市日ノ出町佐々木電機商會
△笠岡大野ラジオ商會△稻荷町
備前ラジオ商會△笠岡村上笠加
吉田ラジオ部△大宮村植毛原
ラジオ電機商會△邑久村豊安興
田ラジオ部△古郡村末甘立花ラ
ジオ部△香登町大内友光ラジオ
部△瀬戸町下高松電機部ラジオ
部△琴浦町下村井ラジオ商會
△福渡町福渡丸藤支店△吉岡村
久米木田時計店ラジオ部△久世
町久世長谷部ラジオ部△西大寺

カメラ

町掛ノ町片岡電機商會△岡山同
田中ラジオ部△備前美川村長尾
時計ラジオ部△備前長尾町長尾
ラジオ部△備前高松町虎尾ラジ
オ部△笠岡町桑田ラジオ部△サ
キガケヤラジオ部△備前所△アサヒ
ラジオ商會△井原町矢吹電機店
△井原町山本ラジオ部△成羽町
耕美堂△高松町大機ラジオ部△
矢掛町中西ラジオ部△西大寺町
藏内電機店△落合町津田ラジオ
部

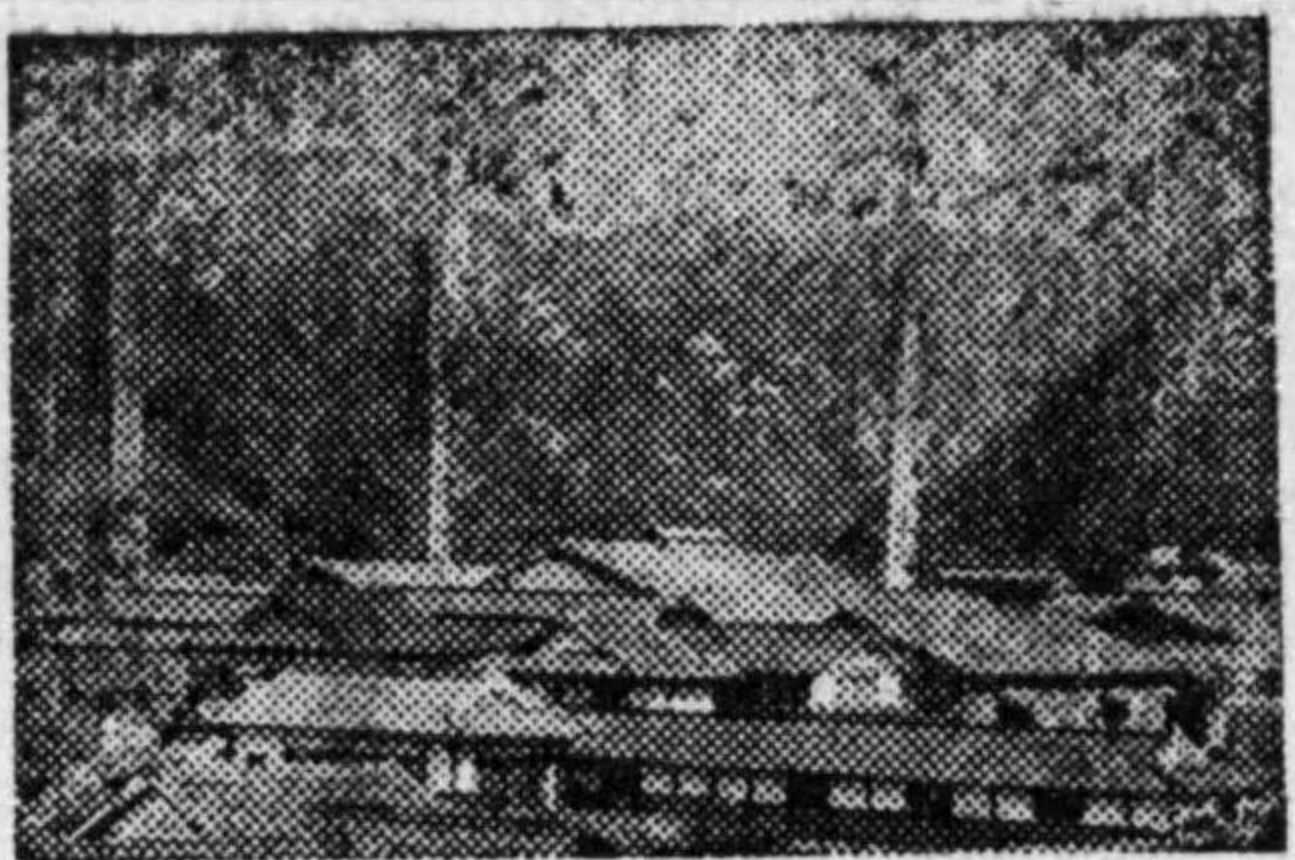
カメラ

置いて一切の各機關が従来の舊體
制を破壊し大同團結を達成して戦
時下における國家的の感奮精神
關にまで躍進しつつあり。従つて
各人としてまた、團體的躍進會
等においても感奮は自然の姿をた
だ正確にまたは藝術的に寫さうと
いふだけではなく、寫眞を寫すこ
とに依つて國家社會に、より以上
何を貢獻せんとするかといふこと
を先づ定めて進むといふ風に風潮
な研究と態度に變つて來たことは
注目すべき傾向といへり
【カメラ團體】
全日本寫眞聯盟岡山縣支部
事務所岡山市東中山下朝日新聞岡
山支局(電二八三九・五四八五)
支部長 坂井敏太郎
岡山さくら會
(昭和十四年四月創立)
事務所岡山市中之町アサノ寫眞店
内(電二七三三)
幹事 山田 一夫 入野志加一
岡山愛光會
(昭和九年四月創立)
事務所岡山市天龍院町九一興山
正香方(電呼二七五二)
幹事 興山 正香

ONPS

(昭和十四年四月創立)
事務所岡山市中之町アサノ寫眞店
内(電二七三三)
中級俱樂部
(昭和十二年九月創立)
事務所岡山市内山下三〇ノ二中國
銀行内(電二八〇一)
幹事 岡本 弘 佐藤 隆
高松實業俱樂部
(昭和十五年四月創立)
事務所岡山市中之町二六四小寺洋
家食店內
幹事 小寺春太郎 河田 隆
鳥羽俱樂部
(昭和十五年四月創立)
事務所岡山市中之町二二五岸本
夫方
幹事 岸本 隆夫
五原會
事務所岡山市中之町五編松二部
方(電二七九六)
幹事 編松二部 林 彰
津山投影會
(昭和十二年九月創立)
事務所津山市藤前通石川薬方(電
呼五六〇)
幹事 石川 隆
備前グループ
カメラ

(昭和十五年一月創立)
事務所玉野市玉二九二河村俊助方
(電五五四)
幹事 河村 俊助 高島久太
聖光俱樂部
(昭和十二年六月創立)
事務所玉野市和田中村博方(電五
三二)
幹事 中村 博
聖光會
(昭和十五年一月創立)
事務所兒島縣津島町引續橋松社内
(電二二七)
幹事 渡辺 喜一
聖光會
(昭和十五年三月創立)
事務所上道郡西大寺町藤井洋器店
内(電二二八)
幹事 藤井 敏太
聖光會
(昭和十五年八月創立)
事務所上道郡光波村光輝園會一
方(電九六二)
幹事 岡野 敏一



町石三縣山岡
所業工火耐石三☆

番九二・番五三話電

港生日縣山岡
社會株式瓦煉火耐生日◎

番八四話電

運馬光書研究会
 (昭和十年一月創立)
 事務所山口郡運馬町松林正五方(電三五)
 幹事 松森 正五
 金陵俱樂部
 事務所上道郡西大寺町西江廣方
 幹事 西江 廣方
 白南風會
 (昭和十二年六月創立)
 事務所小田郡笠間町今城弘方
 幹事 今城 弘 瀬戸 元市
 作州實業趣味の會
 (昭和十二年七月創立)
 事務所勝田郡勝田町朝秋方
 幹事 朝秋 池 幸正
 新光黨團
 (昭和十五年一月創立)
 事務所倉敷市落田町三宅進一郎方(電五二二)
 幹事 三宅進一郎
 金光黨友會
 (昭和十五年四月創立)
 事務所倉敷市大谷森山克太方
 幹事 森山 克太
 朝陽クラブ
 (昭和十四年四月創立)
 事務所岡山市東中山下朝日新聞支局(電四五八五)

幹事 坂井敏太郎 佐藤 久雄
 葛光山(A組)
 (昭和十四年十月創立)
 事務所和氣郡三石町三村芳泉方(電五)
 幹事 三村 豊二
 深山光栄クラブ
 (昭和十四年十一月創立)
 事務所真庭郡八束村富田一夫方
 幹事 富田 一夫
 光と影の會
 (昭和九年七月創立)
 事務所岡山市廣瀬町一〇二高田福太郎方

幹事 高田福太郎 櫻坂 彰治
 久木實業同好會
 (昭和十五年一月創立)
 事務所久米郡吉岡村久木野崎憲志方
 幹事 野崎 憲志
 岡山醫科大學實業同好會
 事務所岡山市南田徳吉町高原方
 幹事 徳久 克巳
 柳影會
 事務所 岡山市下石井四條合茂太方(電四九三三)
 幹事 藤合 茂太

合同新聞社 増産奨励賞と文化賞

合同新聞社合併五周年記念事業として昭和十六年度から増産奨励賞と文化賞を創設した。これは別項に奨励賞と一環をなすもので、即ち増産奨励賞は高度國防國家建設への原動力たる産業擴充運動の助長發達に資與して綜合増産の向上推進をはかるため岡山縣下を區域とする増産の業績顯著なる地方單位團體および個人を表彰す

るものであり、文化賞は主として郷土一般文化の向上育成に貢献したる文化功勞者を表彰するものである。いづれも合同新聞社内には審査會を設置し、橋本同社社長會長となり同社内より専門家を委員として構成する

文化賞規程
 一、合同新聞社は合併五周年記念事業の一として文化賞を創設するものとする。
 二、文化賞は主として郷土における一般文化の培養發達を推進するを以て目的とする。
 三、文化賞は岡山縣に關係ある學術發達その他發明發見等地方文化の向上育成に貢献し又は郷土の優れた文化を廣く普及開通顯彰したるものを選び左記該當者を表彰す。
 (一) 多年に亙りその功績顯著なるもの。
 (二) 前年中特に大なる業績ありたるもの。
 一、被表彰者は文化賞給與委員會において給與の上決定す。
 二、文化賞給與委員會は合同新聞社内におき會長(合同新聞社長)および委員若十名を以て構成す。委員は社内外より専門家をその他を委嘱す。
 一、文化賞給與委員會は必要に應じ學識名家を顧問に推戴す。
 一、被表彰者の範圍は一ヶ年二回以内とし毎年秋一回表彰す。
増産奨励賞規程
 一、合同新聞社は合併五周年記念事業の一として増産奨励賞を創設するものとする。

一、増産奨励賞は國家の奨励に應じて産業擴充運動の發達に資與し綜合増産の向上推進を圖るを以て目的とする。
 二、増産奨励賞は岡山縣下を區域とする各種の増産確保奨励施設を基礎とする業績顯著なるものうち左記該當者を表彰す。
 (一) 増産確保に貢献したる地方單位團體および個人
 (二) 産業團體役員として増産に功勞ありたるもの但しこの場合は所屬團體長の推薦を要す
 一、被表彰者は増産奨励賞給與委員會において給與の上決定す。
 一、給與委員會は合同新聞社に置き會長(合同新聞社長)および委員若十名を以て構成す。
 委員は社内外より専門家をその他を委嘱す。
 一、増産奨励賞給與委員會は必要に應じ學識ある人を顧問に推戴す。
 一、被表彰者の範圍は一ヶ年二回以内とし毎年秋一回表彰す。

本社の奨励運動・在外縣人送金額

在外縣人送金額並人數

米	國	員	送金額
アルゼンチン	10	1,110	
パラグアイ	3	330	
ボリビア	3	330	
歐洲諸國	4	440	
シンガポール	4	440	
蘭語印度	3	330	
英語印度	3	330	
合計	27	2,790	

林源十郎藥店

脚氣の新藥グラベリン
 種々の牌劑ビククラ
 フタバ印純良藥品發賣元

ハワイ	員	1,230
カナダ	員	3,360
ヒリッピン	員	3,360
メキシコ	員	3,360
ブラジル	員	1,110
チリ	員	1,110
合計	員	14,850

本 店 岡 山 市 紙 屋 町
 支 店 倉 敷 市 本 町
 製 藥 工 場 岡 山 市 北 方 町

東 洋 管 内	1	110
西 川 野	1	110
宇 野 野	1	110
西 野 野	1	110
味 野 野	1	110
宇 野 野	1	110
西 野 野	1	110
牛 野 野	1	110
瀬 野 野	1	110
和 野 野	1	110
玉 野 野	1	110
笠 野 野	1	110
矢 野 野	1	110
井 野 野	1	110
總 野 野	1	110
新 野 野	1	110
高 野 野	1	110
成 野 野	1	110
倉 野 野	1	110
津 野 野	1	110
勝 野 野	1	110
加 野 野	1	110
林 野 野	1	110
合 野 野	1	110
計 野 野	1	110

開業歴なき町村
 無町村 出張診療所
 〇〇〇〇町村

(昭和十五年未現在)

辯護士名鑑

長谷川、副は訓
岡山市、常任
岡山市、常任

- 岡山(常任) 石井 準一
- 一井 重雄 井上 守三
- 波多野隆助 濱田效三郎
- (常) 花房和太 林 水之
- 西原 力雄(剛) 西村 基次
- 藤田 秀男 竹馬 昌一
- 藤本 佐市 岡崎 五郎
- 尾谷 恭二 岡 照太
- 藤田 誠一 笠原 房夫
- (剛) 藤田 武夫 吉岡 繁久
- (常) 三澤 周一(常) 多賀 寛一
- 田部 茂 名和 剛
- (常) 中江 一也 山村利幸平
- 藤田 和孝 藤原 光三
- 藤井 萬吉 小山美登四
- (長) 小島 芳一 有岡 啓三郎
- 赤堀 龍雄 安藤 茂富
- 佐藤 重政(常) 坂本 方一
- 藤原 憲一 富士木 胤
- 津山 玉野代治郎 淀川 正充
- (常) 平尾 賢治 栗田 治
- 栗 柏木 貞一

米・麥・繭の作柄

戦時下生産確保に血の滲むやうな努力を續けつゝあるとき、昭和十六年の岡山縣は如何に生産の成果を挙げ得たか? ここには抽象的に米、麥、繭の概観を挙げて置く。昨年、本年は揃って多雨であつた。昨年は一昨大旱害の後をうけて薄池にして福水したものは少く従つて早稲昔年の状態であつたが本年は昨秋からかけて挿秧前の降雨が多量であつた爲めに各薄池は悉く福水の有様で挿秧の薄池は超満満であつた。努力不足の概はあつたが増産に關する熱意はこれを征服して限から限まで水田にして秧を播きこむものはないのみならず果樹、桑、西瓜其他の不熟作物の栽培を廢して米の作付を行つたものも多く、ひた走りに増産へ走りつゝけた。然るに七月に入りても梅雨状態が打ちつき記録破

甘藷馬鈴薯會社

岡山出張所開設

甘藷馬鈴薯會社が九月十一日から實業補助給付制が九月十一日から實施され、甘藷、馬鈴薯はこのほど創立された日本甘藷馬鈴薯株式會社が一手で買受け配給を行ふことになるので岡山縣へも同會社岡山出張所が設置されることになつてゐるところ九月八日附令井雅人氏が出張所長に任命されたので九日から岡山市白之町の縣農産物検査所内へ開借りして店開きした。

岡山縣食肉小賣商組織

食肉等配給統制要綱でもとつき岡山縣下の小賣業者も配給統制の監視下に置かれ、一團とする商業組合を組織すべく計畫中のところ九月九日午後一時から縣下の業者代表者が岡山商工會議所で組織擴充の懇談會を開催、種々協議の結果、既設の岡山縣食肉小賣商組合を食肉と改めこれを母體に縣下一團を地團とする組合に擴充することになつた。現在縣下の業者は食肉小賣業者を合めて四百名近くある。

松茸出荷統制

九月九日岡山縣告示を以つて松茸出荷統制を行ふこととなり出荷額を指定した。

都市大観



岡山市

【市役所】東山下

電代表六、八二一

位置及地勢

岡山市は岡山縣南部御津、上道兩郡の間に介在し南は兒島灣を臨んで兒島郡に對す、東西二里二千八百五十二間、(極東慶子粒江、極西方成子虎井)南北二里二千一百四十三間、(極南海岸通二丁目、極北津島子福居)面積四八、〇五八平方科、東緯百二十三度五十四分、北緯三十四度四十分に在り、地勢東北より南西に傾斜し、旭川の清流は市の中央を貫通南下して旭東旭西の二部に分れ、旭東は十三箇町、旭西は百十四箇町を合

岡山市大観(岡山市)

て百二十七箇町に劃してゐる。

- 旭西 弓之町、石橋町、下出右町、中出右町、上出右町、上之町、東中山下、西中山下、中之町、下之町、榮町、紙屋町、川崎町、内山下、西大寺町、橋本町、船着町、天瀬、新西大寺町、廣瀬町、小畑町、兵衛、一番町、二番町、三番町、四番町、五番町、六番町、七番町、八番町、難波町、龜本町、下市町、富田町、岩田町、萬町、丸龜町、山崎町、柿屋町、野田屋町、桶屋町、上西川町、東山町、下西川町、西田町、野崎町、下田町、鷹屋町、仁王町、常盤町、大工町、尾上町、鷹砂町、櫻町、濱田町、七軒町、大雲寺町、瓦町、片瀬町、細屋町、久山町、上内田町、兒島町、瀬尾町、油町、小野田町、平野町、小原町、藤野町、高橋町、山科町、船頭町、二日市町、下内田町、新道、南方、上伊福、上右井、下右井、桑田町一丁目、桑田町、二丁目

沿岸

岡山市はその昔大島と稱し吉備内海中の孤島であつたが滄桑の變を経て遂に陸地の一部となり三箇の岡阜を形成しこれを岡山、石山、天神山と呼んでゐた、その岡山と云つてゐたのは舊本丸即ち現第一岡山中學校附近であり、石山は舊西丸即ち現内山下小學校の邊、天神山は岡山神社、縣廳附近の纏稱であつた、岡山城は正平中名和比の一脈、上神高岡が兩朝に仕へ乘いたにはじまり幾多の變遷を経て池田氏三十一萬二千五百石の居城

土地

官有地 第一種地(神社地)分町を二二種地(各官用地)三三町を三三種地(山林、川、道路

井一郎、原野英爾、西山富佐太、高杉清、馬場保太、小山潔、佐藤龍吉、津崎新藏、渡邊孫太郎、犬飼栢太郎、高岡静太、小林薫、西尾三郎、安宅照、谷山一夫、妹尾清一郎、大林孫治、片山眞五郎、潮野隆、田中重次、草野春平、金谷朝、高原壽雄、梶原吉、井元正、清水隆一、吉川忠雄、久保清太郎

【平議員】入江勝胤、小島武、西藤元、小幡高藏、立神憲治、武居魁助、河本乙五郎、赤澤乾一、光岡萬次、藤内兼藏、杉原石郎、齋藤卯佐太、岡田善太郎、松村貞二、宇野博、千田虎男、大守勇、大月泰四郎、神田田平、石井喜彌太、廣井常吉、花房豊、小原芳夫、北井喬、能勢頼俊、山田得四郎、森勢大、片岡幸助、大田亮一、加藤榮

商工業

【役員】會頭【梁谷勝十郎】副會頭【渡邊英爾、岩越總次郎】常議員【岩田

喜三郎、石原甚吉、林善三郎、神崎慶次郎、中野健造、上原和一、久保善次郎、松田壯三郎、寺岡龍一、岸正藏、理事【寺岡剛、議員【部實則】

商業部【部長】更井久止【理事】近藤倫雄、岩田喜三郎、磯貝若男、太田友七、吉田憲一、小坂孝治、逢澤寛、岸正藏、木村國次

理財部【部長】水野賢吉【理事】中野英一郎、岩越總次郎、林善三郎、片山吉吉、門野猪太郎、吉原信長、中野健造、寺岡龍一、梁谷勝十郎

工業部【部長】尾谷生三郎【理事】小松原甚四郎、岩田八十藏、原田輝夫、櫻村淺吉、渡邊完爾、則武重三郎、松田壯三郎、福田萬吉、鹽見孝太郎

交通部【部長】村上周治【理事】吉岡義夫、石原甚吉、岡精二、神崎傳次郎、上原和一、久保善次郎、江口新吉、阿部彌次郎、島岡太郎

岡山實業組合聯合會

【會長】梁谷勝十郎【副會長】更井久正、武藤泰太

【各組台長】商業組合(岡山市鐵道製食品小賣、更井久正、岡山中學學校、製糖(淺澤一、次)岡山洋販(熊澤榮

男)岡山洗染クリーニング(吉田興吉)岡山食糧中小賣(寺岡健三郎)岡山獸肉小賣(森山彦一)岡山鮮魚仲買小賣(逢澤寛)岡山蒸物(出水伍一)岡山雜類卸賣(赤澤榮七)岡山豆腐(逢澤寛)岡山漬物(寺岡健三郎)岡山水卸(藤野忠次)岡山古織(松原壽男)岡山水材(津下仙太郎)岡山履物小賣(逢澤寛)岡山新炭(花房柚太郎)【工業組合】岡山織上機械(行吉角治)岡山水工業具(小寺彌三郎)【商業組合】岡山穀物小賣商業組合(林善三郎)岡山酒造(武藤泰太)【準則組合】岡山綿布商(龜山政三)岡山小問物化粧品商(三宅慎吉)岡山酒類商(久保善次郎)岡山菓子商(則武重三郎)岡山漬物製造業(磯貝若男)岡山餅乾果實商(藤井佐次郎)岡山糖業(小川清)岡山印刷業聯合會(吉岡義夫)岡山印刷商(田中健一)岡山水產物商(黒田壽太郎)岡山果物商(龜井厚大)岡山果實屋(岩田喜代吉)岡山西質屋(淺沼貞一)岡山東旅順(吉原信長)岡山東料理業(神谷健三郎)岡山西料理業(前田宗平)岡山製豆腐(豊崎義光)岡山海産物卸商(藤原淺吉)岡山生花商(不二三太郎)岡山市呉服外賣商

(若林章雄)岡山青果問屋(畠田村一)

岡山商工協會

【理事】松島定一

産業組合中央會岡山市部會

(岡山市産業課内)

【會長】國富友次郎【副會長】湯見章夫【評議員】岡山市民會館、岡山市相互金庫、岡山市信用組合、福澤信用組合、岡山縣乾欄農業倉庫(幹事)飯塚仲平

岡山縣信用組合協會

【會長】福岡天造【副會長】實兼父八【評議員】田中田造、井上憲太郎、杉實次、木村嘉太郎、上原敏、仁枝茂登治、津山信用組合、新見信用組合(理事)松島定一

市 場

【公設市場】野田屋町、旭東

【諸種市場】豆橋魚市場、二百市魚市場、岡山常設茶店市場、岡山青物市場、蓮島寺市場、瓦町麻賣市場、網濱廣賣市場、野田屋町私設市場、稻荷市場、中央小賣市場、春澤町市場、兒島町市場、岡山市場

商家戶數人口

戶數三、八〇九 △人口(男) 12,000 (女) 11,011

農 業

岡山市農會(市役所内)

【會長】國富友次郎【副會長】片山忠次【幹事】飯塚仲平【幹事兼技師】杉山政美【技師】石原成孝【技師】横溝整一【技師兼書記】山形綱男【技師】西村久美【雇】高丸文子、小林敏子

水 産

岡山市水産會

(岡山市産業課内)

【會長】幸岡健三郎【副會長】阿部國次郎【評議員】小合登光、用中弘道、岡上権佐衛、藤原保次郎、妹尾文七郎、竹岡利喜太、西尾元治郎【主事】飯塚仲平【書記】武本方龜太

岡山市觀光協會

(岡山市産業課内)

會 長 國富友次郎

副會長 梁谷勝十郎

伊原木彌平

【顧問】井上友一、中島信吉、石松若子、松野友治、黒田壽太郎

【幹事】吉原信長、柚木賢作、神

カモ井の 越年力効

リボソ 年越

ハイトリ 証保効

社第百銀行岡山支店△同岡山西支店△不動貯蓄銀行岡山支店

普通銀行預金及貸出

一ヶ月預り金 一、五〇〇、〇〇〇圓

同 貸出高 一、〇〇〇、〇〇〇圓

農工銀行貸付金

(昭和十五年申買出)

年賦 △三〇〇 一、〇〇〇圓

定期 △三三三〇〇 五、〇〇〇圓

貯蓄銀行預金

一箇年預り高 三、三三三圓

同 拂戻高 三、〇〇〇圓

手形交換所手形交換高

岡山手形交換所

枚數六、三枚金額八、三三三圓

不渡手形 枚數 五、三三三圓

枚 數 五、三三三圓

振替貯金

(岡山市支店)

昭和十五年申取扱口數金額

【受入】口數 1,000,000口

金額 100,000,000圓

【補出】口數 1,000,000口

金額 100,000,000圓

昭和十五年度未現在

口數 三、三三三口

現在高 一、〇〇〇、〇〇〇圓

日本銀行岡山支店

預金及貸出

昭和十五年申預り高

同貸出高 一、〇〇〇、〇〇〇圓

無 盡 金 融

岡山市に本店を有した興業無盡、別所無盡及び食數市に本店の多うた食數無盡の三株式會社に統合の檢運熟し昭和十六年二月二日から三和無盡株式會社として新發定し資本金も舊來の三社の資本金額を合計して三十萬圓とし營業區域は全縣下となつて金融界の一重要部門を分擔するに至つたが後其の社屋も東中山下電車通りに移轉、契約高千五百萬圓に達せんとする盛況であるが庶民金融機關として眞に有用視されるか否かは統合後無競争状態となつた今日會社幹部の方針如何に存するところを注目にすべきである

都市大觀 (岡山市)

岡崎 委員

花房佐實治 三澤 佐平 山本ハルミ 櫻野 敬次郎 西村 好男

市會議員

市長 寺岡健三郎 副市長 山田善次郎 議員 山上 岩二 櫻島 品造 則武 三三 竹岡 利喜太 小林 健二

町内會長 深根 學區

Table listing district names and their respective chairmen (e.g., 東町 會長 氏名, 西町 會長 氏名).

Table listing various locations and their associated names or figures (e.g., 東田町 藤原 鐵太郎, 西田町 高橋 博直).

Table listing various locations and their associated names or figures (e.g., 大塚 會長 氏名, 山本 正治).

都市大觀 (岡山市)

三石クレー製造所

岡山市 三石町 岡山縣三石町 岡山縣三石町 岡山縣三石町

Table listing various locations and their associated names or figures (e.g., 西平井町 山崎 啓祐, 網井町 前田 信次郎).

都市大觀(倉敷市)

收穫高	價格	作付別	收穫高	價格
100,000圓	100,000圓	100,000圓	100,000圓	100,000圓
...

計	出荷組合	計	出荷組合
...

乳製品 1,200円 5,500円
 倉敷商工會議所
 昭和十六年度總務課
 特別會計 三,九〇〇
 【會頭】 藤田向三(副會頭) 三宅平
 左衛門、岡田義平
 【常務員】 田邊昌一、三宅熊七、
 小野増一郎、大倉一義、佐分利政
 一、光畑哲吉、日下八吉
 【議員】 鴨井榮一、田邊昌一、板
 谷市、藤原孝太郎、内田彌八、
 三宅熊七、原盛、植村俊二、加藤
 清一郎、小野増一郎、大倉一義、
 白福篤四、佐分利政一、安田三美
 人、西藤末吉、渡邊盛二、平松長
 光畑哲吉、森俊夫、森田源二、平
 野新一郎、田邊重平、日下八吉、
 貝原彌作、中桐佐太郎、白神進一、
 伏見哲吉、岡田義平、三宅平左衛
 門、藤田向三
 【事務局】(理事) 照橋勝男
 (書記) 林源次郎、東内直一、吉
 本良平、藤田盛雄
 (庶務) 白神進一、丸川千代子

商業組合(代表者)
 備前石炭産出組合 山田 運雄
 倉敷白米商業組合 藤原 幸吉
 倉敷衣町商業組合 田邊 榮治
 倉敷織物工業品小賣商業組合
 倉敷洋服商業組合 植村 俊二
 倉敷卸産木材商業組合
 倉敷食料品小賣商業組合 吉田正次郎
 倉敷雜物小賣商業組合 森 茂夫
 倉敷陶磁器小賣商業組合 三宅 熊七
 倉敷紙文具小賣商業組合 光畑 哲吉
 倉敷紙文具小賣商業組合 須原 一男
 工業組合
 中備鐵工機械器具工業組合 貝原 宇平
 備前菓子工業組合 大倉 一義
 倉敷竹帛織物工業組合 中桐佐太郎
 備前家具器具工業組合 西藤 末吉
 岡山縣足袋工業組合 三宅 保正
 各業種組合 代表者
 團體名 中桐佐太郎
 服裝組合

粘りだ
 朱白りだ
 山天竹貝だ

伊豆椿

ドーマホ

昭和十六年

都市大観 (食数市)

21 警防費	三〇金	特別會計	天、三金
22 基本財産造成費	三〇金	公益施設	三、三金
23 財産費	二〇金	資金基金積立金	三、三金
24 清掃及負擔	二、二金	前節十節區別整理費	三、三金
25 何種施設	一、一		
26 公取取扱費	一、一		
27 選挙費	一、一		
28 雑支費	一、一		
29 雑費	一、一		
計	一〇〇金		
出			
1 土木費	六、六	水道	大井、三、功、功、大、位、9
2 教育費	六、六	水源	伏流水
3 水道費	六、六	配水池(一)	五、五、米
4 水道施設費	六、六	配水池(二)	五、五、米
5 都市計費	六、六	給水	給水戸數専用、三、三、戸、共用計費
6 都市計費	六、六	給水	三、三、
7 自治振興費	六、六	△料金表、表、欄	給水量 一、一、〇、〇、〇、米
8 自治振興費	六、六	消水栓 公設 三、六、私設 一、〇、五	
9 自治振興費	六、六		
10 公債費	六、六		
11 運用使入	六、六		
12 寄附金	六、六		
13 補助金	六、六		
14 雑費	六、六		
15 雑費	六、六		
16 雑費	六、六		
計	六、六		

市長	古野野橋	市議員	武内 孝平
助役	金子藤一郎	市議員	山本 見
収入役(會計課長)	森本 九平	市議員	味野 豊
主事	二宮 丈太郎	市議員	保津 運天
財務課長(兼團長)	三澤 勇	市議員	高橋 豊
教育課長(兼團長)	佐藤 重功	市議員	田村 隆雄
衛生課長	村岡 豊次	市議員	小西 熊夫
戸籍課長	高橋 道雄	市議員	小川 登吾
産業課長	梶谷 泰平	市議員	大橋 英男
技師	高野 幹治	市議員	高橋 正二
土木水道課長	内藤 岡一	市議員	吉澤 市二
市議員	岩崎 平市	市議員	馬場 博次郎
市議員	守谷 公平	市議員	宇野 左門
市議員	安田 隆元	市議員	平松 隆太
市議員	丸川 實	市議員	小畑 隆市
市議員	水山 喬	市議員	渡邊 高次郎
市議員	高野 幹治	市議員	石原 明雄
市議員	内藤 岡一	市議員	文谷 樞太
市議員	岩崎 平市	市議員	加藤 興一
市議員	守谷 公平	市議員	大森 隆之祐
市議員	安田 隆元	市議員	池原 良一
市議員	丸川 實	市議員	金谷 一郎
市議員	水山 喬	市議員	近藤 敏男
市議員	高野 幹治	市議員	島越 晋

栃木 圭一 岸田八千代
 ○公益施設 (前町、電話七七)
 ○婦人會相談所 (住吉町、電話四七)
 ○診療所 (新山町、九二二)
 所長市野 新井 保重
 市野 松尾 節司
 ○葬務部 (新山、電二〇六)
 管理人 牛田多喜次

○新築部 (新山町、電話三八)
 取組人 藤澤 敏夫
 ○厚生館 (向山) 平松 啓一
 ○荷揚部 (御船町) 藤澤 敏夫
 管理人 藤澤 敏夫

神社一覽
 足高神社 井上 泰雄
 阿智神社 井上 榮夫
 照野神社 井上 泰雄
 春日神社 坪井 萬吉造
 御船神社 同
 八幡神社 藤井 敏次郎
 春日神社 小畑 丈夫
 御前神社 岡部 武男
 三社宮(八王寺) 藤井 敏次郎

寺院一覽
 地藏院(古義言)阿知町 松井 愚戒(副)原田 定哉
 觀龍寺(古義言)本町 村田 隆雄
 敬善寺(真宗本派)船倉町 千葉 正樹
 華嚴院(大德寺)寺門町 三宅 玄榮
 誓願寺(淨土宗)本町 鳴谷 圓明
 本榮寺(日蓮宗)本町 安井 敬毅

岡山縣和氣郡片上町



品川白煉瓦

株式會社岡山工場

片上電話 五二二六番 三二六番 三三八番

都市大観 (食数市)

都市大観 (津山)

Table with financial data for the city, including '統計' (Statistics), '歳入' (Revenue), and '歳出' (Expenditure) with various sub-categories and amounts.

市職員

Table listing city employees (市職員) with their names and positions, such as Mayor (市長), Councilors (市議員), and various department heads.

津山

Table listing members of the Tsuyama Chamber of Commerce and Industry (津山商工會議所) and other local organizations.

津山商工會議所

Table listing members of the Tsuyama Chamber of Commerce and Industry (津山商工會議所), including names and titles.

市農會

Table listing members of the City Agricultural Association (市農會), including names and positions.

警防團役員

Table listing members of the Police and Defense Corps (警防團役員) across various districts.

青少年團

Table listing members of the Youth League (青少年團) across various districts.



Table listing members of the Youth League (青少年團) and other youth-related organizations.

都市大観 (津山)

婦人會

西田分會長 和田 藤
 副分會長 池上 幸子
 理事 藤田 健二
 西田分會長 池上 幸子
 副分會長 藤田 健二
 理事 池上 幸子
 西田分會長 池上 幸子
 副分會長 藤田 健二
 理事 池上 幸子
 西田分會長 池上 幸子
 副分會長 藤田 健二
 理事 池上 幸子

青年會

西田分會長 和田 藤
 副分會長 池上 幸子
 理事 藤田 健二
 西田分會長 池上 幸子
 副分會長 藤田 健二
 理事 池上 幸子
 西田分會長 池上 幸子
 副分會長 藤田 健二
 理事 池上 幸子
 西田分會長 池上 幸子
 副分會長 藤田 健二
 理事 池上 幸子

教育

津山第一 (教員) 元 (兒童) 二
 津山第二 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第三 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第四 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第五 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第六 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第七 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第八 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第九 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第十 (教員) 五 (兒童) 二

津山第一 (教員) 元 (兒童) 二
 津山第二 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第三 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第四 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第五 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第六 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第七 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第八 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第九 (教員) 五 (兒童) 二
 津山第十 (教員) 五 (兒童) 二

産業

津山物産株式會社
 津山物産株式會社
 津山物産株式會社
 津山物産株式會社
 津山物産株式會社
 津山物産株式會社
 津山物産株式會社
 津山物産株式會社
 津山物産株式會社
 津山物産株式會社

工業之部

日本紙業株式會社
 岡山紙業株式會社
 津山紙業株式會社
 津山紙業株式會社
 津山紙業株式會社
 津山紙業株式會社
 津山紙業株式會社
 津山紙業株式會社
 津山紙業株式會社
 津山紙業株式會社

無煙炭礦部
 石灰部
 佐久間産業
 岡山縣阿哲郡石蟹驛前
 佐久間種吉
 炭礦 廣島縣神石郡來見村坂瀬川炭礦
 工場 岡山縣阿哲郡石蟹驛前
 電話 正田大番

Table of financial data for the city, including sections for '歳出' (Expenditure) and '歳入' (Revenue) with various sub-categories and amounts.

Table of '水道' (Water Supply) statistics, including '日比' (Daily) and '宇野' (Ueno) data for various water supply points.

Table of '市政' (Municipal Administration) personnel, listing positions like '市長' (Mayor) and '市議員' (City Council Members) with names.

Table of '市職員' (Municipal Employees) listing various roles such as '市長' (Mayor), '市議員' (City Council Members), and other staff members.

Table of '名勝舊蹟' (Famous Sites and Old Relics) listing various locations and their associated figures or historical significance.

Table of '市役所' (City Office) and '市山福' (City of Fukuyama) information, including '村社' (Village Societies) and '寺院' (Temples and Shrines).



市山福

Textual information related to '名勝舊蹟' (Famous Sites and Old Relics), including specific site names and descriptions.

Textual information related to '市役所' (City Office) and '市山福' (City of Fukuyama), including details about local administration and geography.

Textual information related to '市職員' (Municipal Employees), providing details about the municipal staff and their roles.

Textual information related to '名勝舊蹟' (Famous Sites and Old Relics) and '市山福' (City of Fukuyama), including historical and geographical context.

大賣、麻尾、瑞穂の三嶺あり東西に長く南北に短し市街を構成し氣候極めて温暖にして雨量適度殊に市街一帯山水の景に優れ天然の地勢に呼應し一大公園の觀あり往古より水路交通の要衝に當り本土から四國伊豫方面の連絡の門戸をも承つて海産物資の集散場として知られてゐる大賣山は天正年間杉原元經の城を構へた舊蹟、山腹の千光寺は眞言宗の名刹で内海の展望により春の櫻は殊に有名なり

昭和十六年度設計總算 八八五圓
同特別會計 三六九圓
水道費 三六九圓
公債費 四一、五七圓
明徳商業學校基本財産 五、八四圓
同右學校費 一〇、二〇圓
海産費 一、三〇圓
乗台自動車費 三、一〇圓
山波區有林 二〇圓
市長 土屋 寛
助役 中山茂太郎
収入役 田中 誠
【職員】(職務)村山嘉治(産業和
田俊策(土木)岸研次郎(都市計
畫)土木課長(事務)守安(水
道)賴繁(保健)木倉時太

【職務】(職務)尾崎直一(白鷺兵衛)吉
井清次郎(厚生)日藤兵衛(市長
職務)運輸(玉川實登)橋本所長
丁藤謙人(厚生)事務局長(見好
秀三)

(市會)議員定員三十八名
議長 藤原 光三
副議長 石堂 順助
【職員】神田吉次、金谷廣一、八
木立吉、山中善一、松浦庄太郎
井原金次郎、美藤一郎、堀田民
之助、中堀彌太郎、堂本政太郎、
津山仙三、村上政松、山本止樹
住吉繁一、朝野隆吉、世羅政之
助、小田真吉、天野隆三、村田
重三郎、松谷勝、井上豊之、上
原吉吉、井上幸藏、川本幸一、
山田敏雄
【各種團體】
農會 十區 電田 又一
農防 富永 買一 川口秀一
在郷 小西 準三 中野 隆三
軍友 平田 福藏 藤本 善太郎
青年 隊 員 守安 了
女青 隊 員

國防 備本トヨコ
愛國 土屋ヒロ
中野 隆三
尾崎 直一
吉井 清次郎



三原市

【市役所】三原市役所
電話三六、三六
【區劃】旭町、東町、館町、城町
本町、南町、西町、宮浦町、香
野町、宮野町、團一町、櫻山町
中之町、駒ヶ原町、西宮町、西
野町、網走町、八坂町、大畑町、
糸織町、木原町、鉢ヶ峰町、明
神町、田野浦町、寺町、宗町、和
和町、日野町、須波町、須波
西町、沖浦町
【世帯】八、七五(人口)男〇、三〇
人、女三、三〇人、計三、〇〇人
【概要】三原市は廣島縣西部の
西端にある海濱で昭和十一年十一
月に市制を施行した新興都市であ
る。天正年間小早川隆景が此の地

に築成して以來廣島西部の要衝と
して發達して来たが近時セメント
工業、麻絲紡績工業、人絹工業、
機關車並に空氣動力機工業等大規
模の工場が設置され又山陽本線
り分岐して與市に通ずる三原線は
昭和十年十一月に全通し、近代都
市として隆々たる繁榮を約束され
るに至つた市街の中央にある山原
城址は現に石垣、濠等一部の舊蹟
を存しつゝ、一帯を公園地と化し、
八幡神社も古來有名である。なほ
同市より北二キロを距てた久井
は昔から牛馬市をもつて知られて
ゐる

【主要物産】人造絹絲、ステープ
ルファイバー、セメント、麻絲、
人造絹絲、生絲、酒類、米、麥、
飼料、除蟲菊、玉葱、ラケキ
十六年度設計總算 五三、三〇圓
同特別會計 六、九〇圓
市長 八原 昌照
助役 渡邊 周一
収入役 仁井本勘五郎
【職員】(文書兼社會)大野隆男
(職務兼總務)橋本三郎(社寺
兵衛兼衛生)兼植産(小林良一
西)牛田繁百(兼井原)松
野田(水道)渡邊周一(職
務)吉岡三(土木)小林隆

【市會】議員定員二十名

議長 森 三郎
副議長 小林 憲一
【職員】(職務)播磨一雄
永井嘉太郎 吉川 勝
元木 秀作 渡邊 健吉
森 顯次 川崎 玉次
竹原 米一 松野 慶夫
徳水 義人 花岡 芳夫
小見山義夫 森 三郎
高仁 忠雄 竹本卯太郎
津川 定市 徳永 武夫
大地 松夫 小林 憲一
黒瀬 宗一 兒玉 定次
三好 啓義 兒玉 岩吉
村上 昌隆 小松 益吉
三藤 恭治 安田 秀樹
富田俊一郎 桑木 健一

【名産】清酒、味噌、やつと饅頭
浮城せんべい、梅の實羊羹、梅
の實餡子、鯛酒、洋燭
○市會(本町)
電話 四〇
十六年度設計
【職員】定員二十名
議長 大藤 真平
副議長 森 顯次
副議長 湯河 正志



【各種團體】
農會 原田 實吉(中米)石橋門
聖防 宇都宮泰藏 富田俊一郎
郷軍 片山 雄 相澤 昭
軍友 隊 三郎 相澤 昭
青年 八原 昌照(吉岡)三
國婦 渡邊 キミ(山根)クニ

【職員】(課長(職務)) 櫻谷 春夫
(指導)谷倉郎(組合)木川政人
○資本金五萬圓以上會社
合名會社 廣島商店
建築材料製造加工販賣
糸織製粉株式會社
粟水粉製造業
糸織倉庫土地株式會社
動産不動産の所有販賣業
三原合同運輸株式會社
國海運業
株式會社 糸織水産市場
日東運輸商株式會社
運送及運送取扱業
合名會社 中野物産研究所
警備消防販賣業
三原貨物自動車株式會社
物販運業
三原青果株式會社
青果委託販賣



廣島市

【市役所】廣島市國壽寺町
電話代表中三、三〇

【區劃】矢野町、長尾町、愛宕町、
荒神町、大須町、二葉の里、
若草町、松原町、穂積町、大
洲町、東盤里町、西盤里町、南
盤里町、段原町、段原大畑町、
同米廣町、段原町、段原中町、
同新町、同山崎町、同 町、
同日出町、同木町、比治山本町、
比治山公園、比治山町、的場町、
土手町、松川町、稻荷町、鷹
町、京橋町、金屋町、東雲町、
廣町、菅野町、丁目一三丁目、
出汐町、旭町、翠町、宇品町、
元宇品町、仁保町、似島町、牛
田町、白島中町、白島西中町、
白島東中町、白島北町、白島九
軒町、東白島町、橋本町、石見
屋町、上柳町、山口町、銀山町、
東島町、新島町、上流町、下
流町、八丁堀、鶴崎町、鶴
崎町、下柳町、田中町、櫻井
堀、平塚町、彌生町、竹園町、
二丁町、南竹園町、富士町、
同新町、平野町、廣町、鶴見町、
同新町、平野町、東島町、
同新町、平野町、同新町、
同新町、新川町、同新町、
同新町、同新町、同新町、
同新町、同新町、同新町、

進し今日の大泉市を實現したが、昔では安藝郡の一角利庄町山田村、宮原村、二三町の四箇町村として存在し明治廿三年頃までは軍に與浦と稱し半農半漁の海邊に過ぎなかつた、吳鎮守府は明治十六年第二海軍鎮守府候補地として測量せられたに始まり、十七年七月には有栖川宮威仁親王殿下の御視察あり、更に十八年八月には明治天皇親しく御極分遊ばされ、明治十九年五月勅令をもつて決定同年十一月着工五箇年の歳月を費して空前の大工事を成し遂げたのである、明治二十三年四月再び明治天皇臨幸遊ばされ莊嚴なる鎮守府開闢式に御舉行、優渥なる勅語を賜つた。かくて軍港都市として仰しき第一歩を踏み出し明治三十五年には市制を施行し爾來躍進を遂げて今日の大泉市を築きあげた。

- 特別會計水道費 天合、三三圓
同 水道修繕費 三三圓、三〇圓
同 公設衛生費 八八圓
都市計畫費 〇圓、三三圓
市長 水野英次郎
助役(教育部長職務) 中川 滋治
収入役(會計課長職務) 池田 壽一
【部、課長】(土木部兼水道部)
兼水道橋部長) 長崎 敬吾
(文書)小田福松(振興)收入役兼務
(庶務)角谷治郎(産業)守武機雄
(社會)神崎真剛(保健)堀安之進
(戸籍)久原茂市(兵事)陣崎唯夫
(稅務)山田芳信(學務)幸野吉人
(社會教育)中野勇(管理)中村一幸
(土木)市坂吉(都市計畫)石田昌平
(警備)池田勉(經理)小林孫一
(用度)中野末吉(工務)中島 貞一郎

- 【市會】議員定員四十四名
議長 宇野 宇助
副議長 佐藤 正人
(議員)出野 繁人 佐藤 正人
中野 善春 久保半代一
長原 俊雄 池田 義勳
山崎 健松 三宅伊之助
齋藤 聖助 中野元三郎
岡部 六助 澤田 勲市
池田 金三 川上 健一

- 六下藤四郎 細田 忠太郎
宇野 宇助 山崎 貞松
齋藤 太郎 廣岡 貞近
廣岡 龍彥 杉山 龜一
谷 千秋 八木 辰藏
長原 榮太郎 廣岡 興
栗山 利雄 松岡 松市
小泉重三郎 勝田 友彦
野間 吾三 足利 覺一
尾崎 靜一 岡崎 逸太郎
渡邊 洋吉 二神 逸三
後藤 信雄 中本 晴造
船木 勝市 今田利一郎
松若幸太郎 森井 勇
杉岡 順一 山本 龍一

【市會】議員定員四十四名
議長 三宅清一郎
副議長 佐々木龍藏
(議員) 佐々木直
(議員) 水野英次郎 川津 祐圓
山崎 健之助 宮尾 松藏
高島 潤三(水産會社代表)
桑名 新助 足利 覺一
海田千代松(海防會代表)
谷 千秋 平野 繁松
藤田 義雄 松岡 輝雄
助野 輝雄(吉浦海陸運輸)
藤田 末吉(富士屋本店代表)
徳田 一朗(水野組代表)
藤村 三郎 山崎 隆松
梶山 高夫 土谷 龍藏
岡野善右衛門 實森 作平
徳永 一郎 藤井 龍八
山本吉彦 善西 敬人
馬場 萬吉(馬場組代表)



高松市

【市役所】高松市五番町
電話代表 四三三
【區劃】内町、西内町、西ノ丸町、
講町、上横町、丁町、本町、魚
屋町、内膳屋町、玉藻町、北濱
町、鶴屋町、通町、東濱町、新
材木町、井口町、新通町、新鹽
屋町、鹽屋町、福岡町、片原町、
百間町、大町、梅屋町、野方

原 利市 佐藤 正實
橋本 林市 小泉 逸次
淺海 信一 上田 作一
永井 定一 小池 虎雄
【職員】 理事 上田 繁
庶務課長 田和 進
會計課長 金子 正訓
西村 清市 大林 正夫
業務課長
【名産】 清酒、萬年鱈、砥石、鱧、金へ
ん、鱧パン、墨紙

宮脇町、鹽塚町、兵衛町、新築
町、二丁目一四丁目、瀧ノ下、
西新通町、西横新町、幸町、昭
和町、瀧町、木蔵町、西通町、中
野町、栗林町、講町、花ノ宮町、
上ノ町、松島町、花園町、築地
町、朝日町、勲使町、田村町、
上美町、三條町、東ハセ町、

岡山縣和氣郡三石町
三石星煉瓦株式會社
電話三石一二番

人 女三、男三人計三、〇〇人
【概要】高松市は香川縣の中央部
に位し東は源平の古戰場尾山を
望み南は讃岐の紫雲山下に名園栗
林公園あり、西は香東川の清流に
接し北は備前瀬戸の風光を控へた
四國の關門である、高松は平安朝
時代から初めて築城地として現はれ

鎌倉期に入つて大覺寺の莊園とな
つた。ついで天正十六年豊田秀吉
の百年駒止が講政に封せられこ
の地を瀬浦に臨んで築城、高松城
と命名し、地名も亦高松と改める
に及んで一躍飛騨な城下町となつ
たのである、生駒氏四代の後寛永
十九年松平頼重(徳川光圀の兄)が
常陸より此地に封せられ親意封
内の産業開發に努めたため町は次
第に繁榮し、且高松藩は幕府の領
藩として中國四國の監察の役目を
承つてゐたから政治的にも重要な
位置を占め爾來松平氏十一世二百
廿七年を経て明治維新に至つた。
明治二十三年市制を機として城下
町より經濟都市に躍進し、漸次隣
接町村を合併今日の大を成した。
本土四國の中樞たる岡山縣宇野港
と相對し海陸交通の要衝として四
國四縣の關門であり、一面瀬戸内
海國立公園の中心地的觀光都市と
して市勢は日を送つて發展してゐる

【主要物産】
紡績綿絲 三三圓、七九圓
和紙 一〇、四六、六六圓
漆 一、三六、〇〇圓
木製品 七、〇〇〇圓
日傘 一〇、〇〇〇圓

都市大觀 (長谷)

機織員 三三三〇〇〇
 七メソ下製品 一〇九八五〇
 十六年度設計機織 一、三三、八〇〇
 特別設計水通費 三六、〇〇〇
 同 設計費 一〇、〇〇〇
 同 公債費 六、五〇〇
 同 授産所費 〇、五〇〇
 同 地籍整理事業費 四、五〇〇
 同 購買資金 三、五〇〇
 市長 富塚 政市
 助役 兼水通部長 林 平七
 収入役 會計課長兼 京極 粹吉
 庶務課長

田中周一 田村 專
 高橋 敷岡 中村 又吉
 中村善四郎 中野 幸次
 夏目 重一 植松 良直
 國東 照太 目下 善吉
 山本金四郎 松田春次郎
 堀田新七 藤尾清次郎
 藤本 慶一 木村 久吉
 三木 又吉 水野 政一
 水野 正義 廣瀬 昌平
 森 力蔵 平野市太郎
 森 義正 森岡雄太郎
 林 雪次 小川 政市
 森繁新之助 岡 保一
 杉山榮太郎 矢野 虎太
 内井市太郎 天野 早太
 森田 忍吉 原田 剛

高松(機織)機織員(機織員)加島
 次太郎(東條)厚本茂一郎(東北)
 秋田文三郎(藤原)藤田忍吉(古
 高松)伏見米次(木下)山根尚三
 (大田)富島多助(藤尾)内井市太
 郎
 男女青年 富家政市 [林 平七
 富家 ツネ 大西郡二郎
 國 富家 ツネ 十川 文子
 愛 富家 ツネ 寺田千代子
 婦人 松平 昭子 富家 ツネ
 【名勝蹟】栗林公園、玉藻城(高
 松城)石清水八幡神社、石船橋石
 塚、石船塚、屋島神社、屋島寺、
 附近には八栗神社、六方寺、志度
 寺、津田の松原、國幣中社田村神
 社、鹽江涌泉等あり
 ○資本五五萬圓以上會社
 (氏名代表、重役)
 株式會社高松十四銀行(三三萬
 圓)
 銀行業 藤田伊三郎
 讀肥料株式會社(〇萬圓)
 肥料製造業 藤波 清平
 高松電氣軌道株式會社(〇萬圓)
 運輸業 西本政次郎
 朝鮮富業株式會社(〇萬圓)
 金銀業 藤田勝太郎

高松製紙株式會社(六萬圓)
 製紙業 北村 吾吉
 株式會社あいや卓飯店(〇萬圓)
 吳服販賣業 大崎久米太郎
 高松製糖株式會社(〇萬圓)
 濱崎、銀行 森 和二郎
 株式會社坂田屋見商店(五萬圓)
 製糖販賣業 滝見 常郎
 株式會社高松製糖印刷所(五萬圓)
 印刷業 香西榮太郎
 株式會社讀肥貯蓄銀行(〇萬圓)
 銀行業 郡崎發太郎
 高松市街バス株式會社(〇萬圓)
 運輸業 目下 善吉
 株式會社高松魚市場(〇萬圓)
 魚市場 中村新一郎
 高松製水産株式會社(〇萬圓)
 製水業 中村新一郎
 株式會社十全商賣(〇萬圓)
 豆炭販賣業 根本 内記
 翠平電機株式會社(五五萬圓)
 運輸業 大西虎之助
 株式會社高松食糧卸賣市場(三
 萬圓)
 果賣市場 小田 榮次
 讀信託株式會社(〇萬圓)
 信託業 細谷次郎
 高松合同運送株式會社(〇萬圓)
 貨物運送業 藤澤 宣輝

香川第一無糖株式會社(〇萬圓)
 無糖業 堀川 忠文
 株式會社藤田商店(〇萬圓)
 化粧品販賣業 藤田豆之助
 下津織寸株式會社(五萬圓)
 織寸製造販賣 下津 櫻一
 平井銀行株式會社(五萬圓)
 銀行業 平井輝太郎
 丸一運送株式會社(五萬圓)
 運輸業 堀田 保平
 高松製糖株式會社(五萬圓)
 株式業 田中 逸馬
 高松臨海倉庫株式會社(〇萬圓)
 倉庫業 藤波 清平
 株式會社讀肥競馬俱樂部(〇萬圓)
 競馬場買賣 今井 傳太
 株式會社高松百貨店(〇萬圓)
 百貨賣場 國東 照太
 鬼ヶ島遊覽株式會社(五萬圓)
 土地建物管理 森 久太郎
 株式會社高松中央市場(〇萬圓)
 唐物市場 夏目 重一
 株式會社タマモホテル(五萬圓)
 ホテル營業 青木 政一
 株式會社中村商賣(〇萬圓)
 紙販賣業 中村 藤藏
 關西福徳商事株式會社(五萬圓)
 金銀業 大澤 章吉
 大成株式會社(〇萬圓)
 都市大觀 (廣島市)

登錄 大楠公 學生服



商標 兒島織物株式會社 岡山縣兒島町

郡市大観 (廣島市・高松市)

高松材木株式會社(2萬圓) 大山 勳
木材業 木村業 株式會社(2萬圓)
漆器販賣業 坂本 榮
合資會社(2萬圓)
高松元寶製元合資會社(8萬圓)
鹽元寶製 濱田 六藏
小西木材合資會社(2萬圓)
木材業 小西 龜吉
合資會社(本舖) 宮本和太郎
合資會社(香川) 三々自動車商會
自動車販賣修繕 離波 清平
合資會社(川六旅館) 萬九千七百圓
宿屋業 西山 櫻
合資會社(合資會社) 五萬圓
株式業 辻野鶴三郎
合資會社(村上天) 一兩店(2萬圓)
新設業 村上米一
合資會社(井筒) 萬圓
自動車販賣修繕 井筒長太郎
池田合資會社(2萬圓) 池田伊三郎
酒造販賣 福西 政一
土木建築業 福西 政一
合資會社(小竹組) 三萬圓

土木建築業 小竹宇三郎
【名産】 彫刻漆器、日傘、瓦煎餅
カラスミ、鯛の漬物、平家蟹、
理平焼、厚島、玩具獅子頭、保
多織、磐石



丸龜市

【市役所】 丸龜市地方官
【區劃】 十番(南部)十番(北部)
御所町、北本山町、瓦町、風
袋町、藤町、米田町(松原町)
屋町(平古町)西平山町(南部)西
平山町(北部)通町(新町)濱
町、本町、通町、高松町、藤
町、南藤町、地方(北部)地方
(南部)中府、中府津波、津
津波、今津、藤屋、新田、上金
倉、下金倉、藤屋(新橋)藤屋
(前橋)
【世帯】 六二二人口男五、婦五人、
女五、嬰兒八、計三、六一

【概要】 丸龜市は高松に次ぐ香川
縣第二の都市で、多度津港と共
に讃岐平野の門戸として古來繁
津であった。慶長七年生駒一正
がこの地龜山に築城してから丸
龜と稱し其後山崎、京極氏が相
次で居城してから西讃岐の城
下町として榮え、又土佐侯參勤
交代の途上となり、なほ金龜羅
の豪客が夥しく出入するに至つ
て丸龜の名は四方に宣傳されて
來た。特産團扇骨は京極家の足
輕が江戸屋敷にふる頃他藩の者
に學び歸藩して團扇の骨割を
副業としたのに始まり全國の産
額の約八割を占めてゐる。市内
の名所龜山には丸龜城址がある。天
守閣を残して城址一帯が公園と
なつてゐる。又神功皇后の傳説
のある土居の清水、井上通女の
墓(法皇寺)孝子田宮坊太郎の分
骨塔(法皇寺)京極家の別墅(高松
園)等有名である

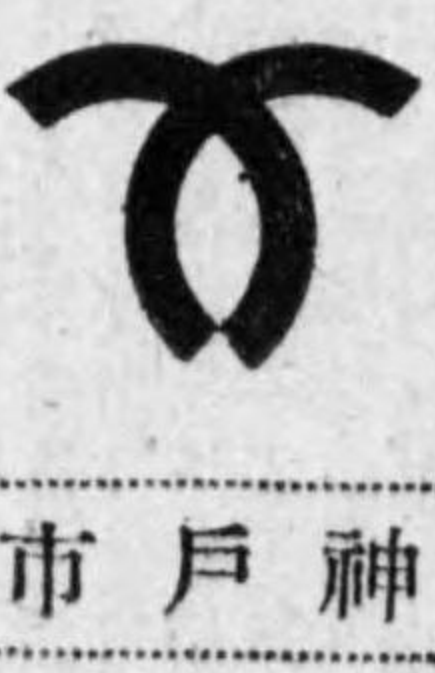
足袋 3000圓
清酒 3000圓
同 特別會計 3000圓
市長 大柏清三郎
助役 山地 茂直
市役所 石川 金助
【部長】 (職務) 山地 健児(戸籍)
別枝 專太郎(兵學) 樋口 伊八(學務)
社會) 石井 元六(產業) 高木 喜八郎
(土木) 神崎 始正(衛生) 山地 茂直
(稅務) 藤原 善男(會計) 石川 金助
(水道) 三谷 七三三
【市會】 議員定員 三十名
議長 鹿谷 實治郎
副議長 芥 官五郎
【職員】 藤原 與吉 香西 重夫
三谷 依市 尾池 七郎
村岡 喜久 大井 樹久太郎
佐竹 彰一 大北 善四郎
平田 義治 富羽 健兵衛
福井 俊治郎 大久保 應一
岡部 光治郎 竹本 彌治郎
大藤 清一 宮本 隆
櫻浦 義明 池上 利一郎
松浦 善吉 西山 留吉
富長 七郎 増田 正太

長谷川 慶三郎 新名 榮吉
栗合 彌治郎 塚本 半四郎
【名産】 長 副
農會 官武 七郎 芥 官五郎
警防 大柏清三郎
郷 專 富田政衛門
軍友 長岡 三郎
青年 藤間 晴太郎
國婦 大柏清三郎
愛婦 三原 スエ
前谷 ウメ
○丸龜商工會所
米屋町(電話二六〇)

山陽線吉永驛前
藤原 京商店
電話吉永一七番

丸龜酒造株式會社(2萬圓)
酒造業
おふく足袋製造株式會社(3萬圓)
足袋製造業
株式會社丸龜製粉(5萬圓)
麵粉製造業
株式會社丸龜製糖(5萬圓)
製糖業
株式會社丸龜製茶(5萬圓)
茶業
株式會社丸龜製紙(5萬圓)
製紙業
株式會社丸龜製油(5萬圓)
製油業
株式會社丸龜製塩(5萬圓)
製塩業
株式會社丸龜製糖(5萬圓)
製糖業
株式會社丸龜製茶(5萬圓)
茶業
株式會社丸龜製紙(5萬圓)
製紙業
株式會社丸龜製油(5萬圓)
製油業
株式會社丸龜製塩(5萬圓)
製塩業

合資會社秋山眞吉商店(2萬圓)
製菓業
合資會社阿波商店(2萬圓)
魚類販賣業
合資會社丸川本店(2萬圓)
酒類販賣業
【名産】 團扇、保多織、おふく足
袋、乃木直樹、玩具花籠、小鳥
籠、藤細工、柱餅、松屋人形、
坊太郎餅、坊太郎羊羹、坊太郎
餅、井上前餅、カラスミ
【市役所】 神戶市役所
電話二二〇
【區劃】 (神戶) 天城通一八丁自
赤坂通一八丁自赤坂通一三
丁自赤坂通一四丁自赤坂通
一五丁自赤坂通一六丁自
赤坂通一七丁自、入船町上野
上野通一八丁自、鳥嶋通一
一三丁自、大石、五毛通一四
一六一



丁目、櫻田町二五丁目、篠原
御前町、新在家、新在家北町一
丁目、新在家中町一五五丁目、
新在家南町一五五丁目、篠原北
町一四四丁目、篠原本町一五
丁目、篠原中町一六六丁目、篠
原南町七丁目、城之内通七丁目、
通ノ下通四丁目、下河原通一
五丁目、將軍通一四四丁目、水
車新出水通一六六、千日通一
四四和町、一三三丁目、高
羽、辰中町一三三丁目、高尾通
一四四丁目、都賀、櫻井、櫻井町
一五五丁目、友田町二五五丁目
水手町一五五丁目、藤北通一
一〇〇丁目、藤南通一六六丁目、
中原通一七七丁目、中郷町一
五五丁目、原田、花園町、畑原、
畑原通三丁目、濱田町一五五
丁目、原田通一六六丁目、神戶町
一三三丁目、藤南町一三三丁目、
日尾町一三三丁目、藤南町二
五五丁目、日出町一四四丁目、深
田町二五五丁目、船通一六六
丁目、通住通一八八丁目、御手
町、鷹取山、味泥、味泥町一
三三丁目、菅通一四四丁目、都
通一五五丁目、宮山町一三三
丁目、森、森後町一三三丁目、八
幡、藤通一四四丁目、山田町

二三三丁目、大和町一五五
丁目、八幡通一四四丁目、弓木町
一五五丁目、舞臺通一五五丁目、
通八丁目、生田町一四四丁目、
目、藤通一四四丁目、小野瀬
町、小野瀬通一八八丁目、龍池
通一七七丁目、上筒井通一八
八丁目、神倉通一七七丁目、北本
町通一六六丁目、霽井通一八
八丁目、熊内町一六六丁目、熊内
橋通一七七丁目、琴之橋町一
五五丁目、御幸通一八八丁目、坂
口通一七七丁目、神戶寺通一
一〇〇丁目、東雲町一六六丁目、大
日通一七七丁目、霽井町一三
三丁目、中島通一三三丁目、中尾
町、二宮町一四四丁目、布引町
一四四丁目、野崎通一八八
丁目、藤通一七七丁目、藤通
一八八丁目、八幡通一五五
丁目、日野通一六六丁目、舞合
町、真砂通一三三丁目、宮本通
一七七丁目、宮本町通一六六
丁目、八雲通一六六丁目、割塚通
一三三丁目、臨海通一三三
丁目、一三三丁目、若菜通一七
七丁目、神戶區明石町、伊藤町、江
戶町、海通一六六丁目、海通

通、加納町一六六丁目、曹海
地方、京町、北長狭通一八八
丁目、北野町一四四丁目、三宮町
一三三丁目、榮町通一七
七丁目、下山手通一九九丁目、新港
町、中山手通一八八丁目、浪花
町、西町、橋町、花隈町、波
止橋町、東町、東長狭町、櫻天
町、前町、元町通一七七丁目、
山本通一五五丁目(養老區)相
生町一五五丁目、帯田町一四
四丁目、上通一四四丁目、備前
一八八丁目、古渡通一四四
丁目、多聞通一八八丁目、備前
一六六丁目、中町通一六六丁目、
東川崎町一七七丁目、福原町
(養老區)石井町一五五丁目、石井
村、梅元町、上福町、鳥原
村、上三條町、菊水町一五
五丁目、備前町、備前町一五
五丁目、五宮町、山手町一三
三丁目、下三條町、神田町、下福
町、大岡町一五五丁目、千鳥町
一四四丁目、都田町一三三
丁目、馬場町、平野町、水釜町一
一〇〇丁目、鶴町、湊川町一
一〇〇丁目、湊山町、矢野町、雪
御前町、夢野町、夢野町一四
四丁目(兵庫區)藤原通一六六
丁目

目、今出在家町一三三丁目、磯
之町、入通一八八丁目、島崎
町、江川町、水澤町一四四
丁目、會下山町一三三丁目、大
井通一三三丁目、小河通一九
九丁目、上通一八八丁目、鹽治
町、川中町、山崎町、北宮内
町、北通川町、北通町、四戸
町、小物屋町、佐比計町、藤原
町、新町、藤原町、下通一
七七丁目、島下町、神戶町、新在
家町、住吉通一四四丁目、須佐
通一八八丁目、關通町、大開通
一〇〇丁目、匠町、藤本通一
一八八丁目、出在家町、戸塚町、
富原町、中道通一九九丁目、西
柳原町、西宮内町、西仲町、西
出町、濱通一四四丁目、兵衛
町、羽波通一四四丁目、兵衛
地方、東山町一四四丁目、
東出町一三三丁目、東柳原町
船大町、松屋町、松本通一
一六六丁目、松原町一七七
丁目、藤通川町一三三丁目、湊
町一四四丁目、宮内町、宮前町、
三川町一三三丁目、水通一
一〇〇丁目、南仲町、門口町、
和田町(林田區)他田村、
田村、他田上町、今和野田、
廣町、池田寺町、一三三

一五五丁目、一里山町、梅ヶ香町
一三三丁目、駒崎町一三三
丁目、鶯町一四四丁目、大道通一
一五五丁目、大丸町一三三丁目、
大塚町一九九丁目、重池町一
二二二丁目、大橋町一〇〇丁目、
大池町一四四丁目、羽邊通一
八八丁目、羽邊通一三三丁目、
川西通一五五丁目、笠松通一
一〇〇丁目、上庄通一五五丁目、
磯崎町一六六丁目、片上町一
五五丁目、海邊町一九九丁目、北
町一三三丁目、金澤町一三三
丁目、久保町一三三丁目、源
平町、御所通一四四丁目、廣
野町一四四丁目、小松通一六
六丁目、五番町一八八丁目、磯
ヶ林町一六六丁目、高島町一
三三丁目、材木町、三番町一五
五丁目、正慶町、庄田町一四四
丁目、鹿松町一三三丁目、菅原通
一三三丁目、高松町、龍谷町一
三三丁目、大日町一三三
丁目、千歲町一四四丁目、長者
町、寺地町一三三丁目、常盤町
一四四丁目、遠矢町一三三
丁目、長田村、中村町、中庄通一
三三丁目、長田天神町一三三
丁目、長田町一九九丁目、名倉町
一五五丁目、浪松町一八八

町、長邊町一九九丁目、西尾池
村、西尾池町一五五丁目、一三
三丁目、野田町一四四丁目、一四
四丁目、野田町一九九丁目、藤
池町、池添通一八八丁目、
藤通一六六丁目、濱山通一
六六丁目、濱中町一三三
丁目、林山町、花山町一三三
丁目、秋乃町一三三丁目、東虎池町一
一〇〇丁目、東虎池村、東丸山
町、巨野町一三三丁目、七番町、
柳川町一三三丁目、二番町一
一〇〇丁目、細田町一七七丁目、
屋王寺町一三三丁目、本庄町一
九九丁目、堀切町、堀切町、前
原町一三三丁目、丸山町一四
四丁目、御崎町、三石通一四
四丁目、御崎通一五五丁目、御崎通
一三三丁目、宮前町一九九
丁目、御崎町一三三丁目、御崎本
町一三三丁目、明泉寺町一三
三丁目、明治通一三三丁目、明和
通一四四丁目、吉田新田、四番
町一八八丁目、吉田町一三三
丁目、六番町一八八丁目、和田
山通一三三丁目、和田宮通一
一三三丁目、岩松町一三三
丁目(須磨區)板橋、稻葉町一
七七丁目、板橋町一四四丁目、一
六六丁目、成町一六六

丁目、水釜町一三三丁目、大池町
五五丁目、粟山福町、大手、大手
町一九九丁目、大田町一八八
丁目、大谷町一三三丁目、御園敷
通一三三丁目、上細邊町、象
通一三三丁目、上羊崎町一三
三丁目、川上町一三三丁目、上中
島町一三三丁目、衣掛町一六
六丁目、築池町一三三丁目、北手
崎町、車、小寺町一四四丁目、
細現町一三三丁目、五位ノ池町
一三三丁目、櫻木町一三三
丁目、下細邊町、白川、下
細邊町、下細邊町、下寺田町、
下寺田町一四四丁目、下中島町
一三三丁目、庄山町一四四
丁目、神戶町一五五丁目、藤原
町一五五丁目、須磨本町、須磨
寺町一五五丁目、須磨通一
六六丁目、藤原寺町一三三
丁目、藤原町一三三丁目、外通一
五五丁目、櫻町一七七丁目、
多井地、櫻町一四四丁目、大
黒山町一五五丁目、高倉町一
二二二丁目、千守町一三三丁目、月
見山町一三三丁目、月見山本町
一七七丁目、寺田町、寺田町一
三三丁目、天神町一五五丁目、月
夜町一四四丁目、飛松町一五

丁目、戸崎通一三三丁目、長池
町、中寺田町、西代、西寺田町
西須磨、西代通一四四丁目、東
細邊町、東須磨、東寺田町、平
田町一五五丁目、東須磨北町一
三三丁目、東須磨南町一三三
丁目、古山町一四四丁目、霞田町
一三三丁目、前池町一六六
丁目、松崎通一四四丁目、松崎町一
七七丁目、水野町、妙法寺、明神
町一五五丁目、水釜通一六六
丁目、行幸町一四四丁目、村崎町
一三三丁目、山崎町、山下町一
一四四丁目、藤原町一三三
丁目、藤原町、藤原町一三三
丁目、藤原町一三三丁目、
若宮町一六六丁目

【世帯】三三三(昭和十五年八月
一日現在)市況調査(人口)三三三
昭和十六年度統計(世帯)三三三
特別調査(町) 三三三(世帯)
内 詳
本女子校下御崎町記 一四四
念學業公會定規程記 一四四
都市計畫事業費 三〇六、三三三
警署事業費 六、六六六
水道費 三、三三三
中央卸賣市場費 六、六六六
市民病院費 八、八八八

